

# 国補 市営住宅返目団地24-2号棟全面改善 機械設備工事

図面NO.	図 面 名	縮 尺	
		A1	A3
M-01	機械設備工事特記仕様書 (NO.1)	—	—
M-02	機械設備工事特記仕様書 (NO.2)	—	—
M-03	案内図・配置図	1/200	1/400
M-04	凡例・換気計算書	—	—
M-05	衛生器具表・機器表	—	—
M-06	衛生設備系統図	—	—
M-07	衛生設備 1 階平面図	1/100	1/200
M-08	衛生設備 2. 3 階平面図	1/100	1/200
M-09	衛生設備 4. 5 階平面図	1/100	1/200
M-10	給水・給湯・ガス設備 1 階平面図	1/50	1/100
M-11	給水・給湯・ガス設備 2 階平面図	1/50	1/100
M-12	給水・給湯・ガス設備 3 階平面図	1/50	1/100
M-13	給水・給湯・ガス設備 4 階平面図	1/50	1/100
M-14	給水・給湯・ガス設備 5 階平面図	1/50	1/100
M-15	排水設備 1 階平面図	1/50	1/100
M-16	排水設備 2 階平面図	1/50	1/100
M-17	排水設備 3 階平面図	1/50	1/100
M-18	排水通備 4 階平面図	1/50	1/100
M-19	排水設備 5 階平面図	1/50	1/100
M-20	既設受水槽機械室改修設備図	1/50	1/100
M-21	既設受水槽機械室自動制御設備改修図		
M-22	換気設備 1 階平面図	1/50	1/100
M-23	換気設備 2 階平面図	1/50	1/100
M-24	換気設備 3 階平面図	1/50	1/100
M-25	換気設備 4. 5 階平面図	1/50	1/100
M-26	集中検針設備系統図	—	—
M-27	集中検針設備 1 階平面図	1/100	1/200
M-28	集中検針設備 2. 3 階平面図	1/100	1/200
M-29	集中検針設備 4. 5 階平面図	1/100	1/200
M-30	昇降機設備図 (NO. 1)	—	—
M-31	昇降機設備図 (NO. 2)	1/30	1/60
M-32	昇降機設備図 (NO. 3)	1/30	1/60
M-33	排水・給湯器設置断面参考図	1/50	1/100
M-34	施工要領図		
M-35	工事区分表		

特記仕様書  
 1. 工事概要  
 1. 工事場所 長野市三輪二丁目

2. 建物概要

建物名称	構造	階数	延べ面積 (m <sup>2</sup> )	消防法施行令別表第一	耐火構造	備考
共同住宅	RC	5	1994.62	5項 口	耐火	増築改修
24-2号棟						

3. 工事種目 (●印を付けたものを適用する)

建物別及び屋外 工事種目	工事種別					
	24-2号棟	共用				屋外
○ 空気調和設備						
● 換気設備	一式					
○ 自動制御設備						
● 衛生器具設備	一式					
● 給水設備	一式	一式				一式
● 排水設備	一式	一式				一式
● 給湯設備	一式					
● 消火設備	一式					
○ 厨房設備						
● ガス設備	一式	一式				一式
○ 排水処理設備						
○ 撤去工事						
● 昇降機設備		一式				
○ 電気設備工事						
○ 建築工事						
○						
○						

4. 指定部分 ○無 ○有 (○部分しゅん工 ○部分使用)  
 工期：平成 年 月 日

5. 工事内容

換気設備： トイレ、浴室、洗面へ天井扇 Dkヘレンジフードファンを設置する。

衛生器具設備： 衛生器具表に記載の器具を設置する。  
 堅固にかつ美観上良く取付ける。

給水設備： 既設受水槽から、新設加圧給水ポンプにて各住戸へ供給する。

長野市上下水道局「給水装置・排水設備工事指針」最新版により施工のこと。

排水設備： 汚水、雑排水 屋内分流、屋外合流方式にて下水道へ接続する。  
 長野市上下水道局「給水装置・設計施工指針」最新版により施工のこと。

給湯設備： ガス給湯器を設置し、浴室・洗面・キッチンに給湯を行う。

消火設備： 消防法による設置基準に従いハッチ型消火設備、消火器を設置する。

ガス設備： 長野都市ガス(株)による供給者の責任施工とする。

昇降機設備： 9人乗り、45m/minの昇降機を設置する。

その他  
 ・工事着手は11月からとし、着手前を準備期間とする。(実質工期16.3ヶ月)  
 ・契約日から工事着手までは、契約約款第10条第3項に規定する「現場代理人の常駐を要しないことができる」ものとする。  
 ・別途、建築工事・電気設備工事があり、建築工事の工期は2023年8月下旬～2025年3月下旬、電気設備工事の工期は2023年9月上旬～2025年3月下旬を予定している。  
 ・令和5年度の出来高は7%以上とする。  
 ・RC躯体の開口において、基本的には鉄筋を切断しないこと。  
 また、やむを得ず鉄筋を切断する開口については協議によること。  
 ・削孔やハツリ作業は、安全上の観点から防護メガネ、マスクを着用すること。また、削孔層の飛散防止を図るため、掃除機を使用しながら作業を行うこと。  
 ・撤去品、発生材は場外搬出の上、適法処分とする。

II. 工事仕様

1. 共通仕様  
 (1) 図面及び特記仕様に記載されていない事項は、すべて長野市建設工事共通仕様書による。  
 (2) (1)及び公共住宅事業者等連絡協議会編集の「公共住宅建築工事共通仕様書」、「公共住宅改修工事標準仕様書」、及び国土交通省大臣官房官庁営繕部制定の「公共建築工事標準仕様書」、「公共建築改修工事標準仕様書」の建築工事編・電気設備工事編・機械設備工事編、及び「公共建築設備工事標準図」の電気設備工事編・機械設備工事編(いずれも最新版)で「特記がなければ、」以下に具体的な材料・工法・検査方法等を明示している場合において、それらが関係法令等(条例を含む)と異なる場合には、具体的な対応策について監督職員と協議すること。

2. 特記仕様  
 (1) 規則  
 本工事規則は特記あるものを除き、長野市契約規則及び工事請負契約書の記載事項による。  
 (2) 責任保障  
 工事しゅん工引渡し後特記あるものを除き、工事の施工に起因した事故が生じた時は、木造建物及び工物物1年間(受注者の故意または重大な過失による場合、5年間)、木造以外の建物及び工物物2年間(同、10年間)以内に、期日を定め補修工事をし、工事監督職員の検査を受けること。  
 (3) 一般注意事項

1) 本工事における必要な諸手続等は原則として受注者において行うこと。  
 2) 設計図面内の不一致及び明記なき箇所がある場合は、監督職員と協議の上その指示により施工のこと。  
 3) 諸材料については必要に応じ見本品または現品を提出し、監督職員の承諾を受け施工のこと。ただし、JIS規格合格品等で工事係員がそれを確認できた場合はこの限りではない。  
 4) 工事施工に際し必要な個所は、各工事に先立ち施工図を作成し、監督職員の承諾を受け施工のこと。  
 5) 工事施工上必要ある個所は、工事監督職員の指示により適当なる材料をもって養生を施し急硬急乾凍結破損の防止をすること。  
 6) 工事受注者は、工事着手前に実施工程表及び各職種の協力業者名簿を提出し監督職員の承諾を得ること。  
 7) 工事完了後検査不可能個所の施工にあたっては、必要に応じ監督職員の立会いのもとに施工のこと。  
 8) 諸職工その他に対して監督職員の指示に従わない者、または技術未熟練者は退場を命ずることがある。  
 9) 工事完了後は速やかに工事現場内外の清掃、後片付け及び損傷個所の復旧補修をし、監督職員の下検査合格後竣工検査を受けること。  
 10) 工程写真、竣工写真を撮影し、アルバム各1部を提出すること。写真撮影要領は国土交通省大臣官房官庁営繕部制定の「工事写真の撮り方」の建築設備編(最新版)による。  
 11) 本工事受注者は必要に応じ工事目的物の建物を火災保険に付すること。

(4) 経費  
 上記各事項に要する諸経費はすべて受注者において負担する。ただし、現寸及び製品検査の市係員の出張旅費は市負担とする。

(5) 暴力団員等による不当介入を受けた場合の措置について  
 1) 長野市が発注する建設工事(以下「発注工事」という。)において、暴力団員等による不当要求又は工事妨害(以下不当介入という。)を受けた場合は、断固としてこれを拒否すること。また、不当介入があった時点で速やかに警察に通報を行うとともに、捜査上必要な協力を行うこと。  
 2) 1)により警察に通報を行うとともに、捜査上必要な協力を行った場合には、速やかにその内容を記載した書面により発注者に報告すること。  
 3) 発注工事において、暴力団員等による不当介入を受けたことにより工程に遅れが生じる等の被害が生じた場合は、発注者と協議を行うこと。

(6) 工事実績情報の作成、登録  
 1) 工事請負額が500万円以上の工事については、工事実績情報(工事カルテ)の登録をすること。  
 2) 登録する場合は、あらかじめ監督職員の確認を受け、次に示す期間内に(財)日本建設情報総合センター(JACIC)に登録の手続きを行うとともに、登録されたことを証明する資料を監督職員に提出する。なお、変更時と完成時の間が10日間に満たない場合は、変更時の提出を省略できるものとする。  
 ①工事受注時 契約締結後10日以内  
 ②登録内容の変更時 変更契約締結後10日以内  
 ③工事完成時 工事完成後10日以内

(7) 環境に関する配慮について (NEMS)  
 工事にあたっては、長野市環境方針(最新版)を十分に配慮し、設計書及び標準仕様書はもとより、環境に配慮した材料の仕様、廃棄物の発生抑制、アイドリングストップや省エネ重機の使用による省エネルギーの推進、低公害工事機材の使用、工事従業者への教育など、施工にあたって細心の注意を払うことにより、工事の環境への影響を極力少なくするよう配慮すること。  
 なお、具体的な計画を施工計画書に記載して実践するものとする。

(8) 章、項目、特記事項共に●印の付いたものを適用し、○印のものは適用しない。  
 (9) 長野市公契約等基本条例について  
 ● 長野市公契約等基本条例の内容について、労働者等へ周知するとともに、事務所(作業所)等へポスターを掲示すること。  
 ● 業務の一部を下請負者等に履行させるときは、長野市公契約等基本条例の内容について説明し、各々の対等な立場における合意に基づいて適正に契約を締結すること。  
 ● 長野市公契約等労働環境報告書1部及び施工体系図(共通仕様書に定められたもの)の写し1部を契約後速やかに監督職員へ提出すること。この場合、業務の一部を下請負者等に履行させるときは、下請負者等の労働環境報告書を取りまとめて提出すること。  
 (10) 週休2日試行工事(施工者希望型の場合)  
 1) 本工事は、週休2日試行工事の対象工事である。実施にあたっては、長野市週休2日工事試行実施要領により行う。  
 2) 本工事は、施工者希望型の週休2日試行工事である。そのため、設計変更時に現場の閉所状況に応じた各経費の補正を行うものとする。

章	項目	特記事項
● 一般共通事項	○ 電気保安技術者	工事現場におく電気保安技術者は、工事担当技術者の職務を補佐し、電気工物の保安の業務を行うものとする。
	● 技能士の適用	● 配管施工(配管工事) ○ 建築板金施工(ダクト製作および取付け) ○ 熱絶縁施工(保温工事) ○ 冷凍空調和機器施工(冷凍空調機器の据付)
	● 監督員事務所	● 設けない ○ 設ける
	● 工事用電力・水・その他	この工事に必要な工事用電力、水及び諸手続などの費用は、すべて受注者の負担とする。
	● 足場・さん橋類	● 別契約の関係請負者が定置したものは無償で使用できる。 ○ 本工事で設置とする。
	● 建設発生土の処理	○ 現場説明書による ● 横外搬出適切処理 ○ 構内指示の場所にたい積 ○ 構内指示の場所に敷き均し 参考搬出先(栄和土木株式会社 住所：長野県長野市大字上ヶ屋字強力坂27番地外) 想定残土運搬距離(6.5 km) 想定土質区分(第3種発生土) なお、参考処分場以外に搬出する場合(自社処分地、無償処分地、参考処分地での受入れが不可により他の有料処分地)や土質区分が想定と異なる場合は変更協議の対象とする。
	● 埋め戻し土・盛土	● 根切り土の中の良質土(ただし管の周囲は山砂、川砂又は再生砂) ○ 山砂の類
	● 資材の保管	● 資材の保管は、必ず屋根をかけた地上30cm以上の架台に乗せる。
	● 火災保険等	● 工事目的物及び工事材料に適用する。(工期+14日間)
	● 他工事又は他工種との取合い	設備機器の位置、取合い等の検討のできる施工図を提出して、監督職員の承諾を受ける。
● 施工調査	(1) はつり工事は、事前に走査式埋設物調査を行い、監督職員に報告を行うこと。 (2) 既設壁等の貫通は、鉄筋探査を行い、躯体を痛めないよう配慮すること。	
● あと施工アンカー	あと施工アンカーを施工する作業者は、(社)日本建築あと施工アンカー協会の資格を有する者又は十分な技能及び経験を有した者で、監督職員が認めたとする。施工後の確認試験は監督職員の指示による。	
● 防火上主要な間仕切り壁等の貫通処置	防火上主要な間仕切り壁等を貫通する場合は、国土交通省認定工法にて防火区画貫通処理を行うこと。	
● 化学物質を放散させる機材等	本工事の建物内部に使用する機材等は、設計図書に規定する所要の品質及び性能を有すると共に、次の(1)から(5)を満たすものとする。 (1) 合板、木質系フローリング、構造用パネル、集成材、単板積層材、MDF、パーティクルボード、その他の木質建材、ユリア樹脂板、仕上げ塗材及び壁紙は、ホルムアルデヒドを放散させないか、放散が極めて少ないものとする。 (2) 保温材、緩衝材、断熱材は、ホルムアルデヒド及びスチレンを放散させないか、放散が極めて少ないものとする。 (3) 接着剤はフタル酸ジ-n-ブチル及びフタル酸ジ-2-エチルヘキシルを含有しない難揮発性の可塑性を使用し、ホルムアルデヒド、アセトアルデヒド、トルエン、キシレン、エチルベンゼンを放散させないか、放散が極めて少ないものとする。 (4) 塗料はホルムアルデヒド、トルエン、キシレン、エチルベンゼンを放散させないか、放散が極めて少ないものとする。 (5) 上記(1)、(3)及び(4)の機材を使用して作られた家具、書架、実験台、その他の什器等は、ホルムアルデヒドを放散させないか、放散が極めて少ないものとする。 なお、ホルムアルデヒドを放散させないものとは放散量が規制対象外のものを、ホルムアルデヒドの放散が極めて少ないものとは放散量が第三種のものをいい、原則として規制対象外のものを使用する。ただし、該当する材料等がない場合は、第三種のものを使用するものとする。 また、「ホルムアルデヒドの放散量」は、次のとおりとする。	
ホルムアルデヒド	該当する機材等	
規制対象外	①JIS及びJASのF☆☆☆☆品 ②建築基準法施行令第20条の7第4項による国土交通大臣認定品 ③下記表示のあるJAS適合品 a. 非ホルムアルデヒド系接着剤使用 b. 接着剤等不使用 c. 非ホルムアルデヒド系接着剤及びホルムアルデヒドを放散させない材料使用 d. ホルムアルデヒドを放散させない塗料等使用 e. 非ホルムアルデヒド系接着剤及びホルムアルデヒドを放散させない塗料使用 f. 非ホルムアルデヒド系接着剤及びホルムアルデヒドを放散させない塗料等使用	
第三種	①JIS及びJASのF☆☆☆☆品 ②建築基準法施行令第20条の7第3項による国土交通大臣認定品 ③旧JISのEo品 ④旧JASのFco品	
● 施工図及びしゅん工図等の取扱い	施工図及びしゅん工図等の著作権に係わる当該建物に限る使用权は、発注者に移譲するものとする。	

● アスベスト含有建材の事前調査  
 ○ アスベスト含有建材の改修  
 ● 耐震措置

改修範囲におけるアスベスト含有建材及び特定の工物の事前調査を行い、調査結果を石綿事前調査結果報告システムにより報告すること。  
 特定化学物質等作業主任者技能講習(旧制度)又は石綿作業主任者技能講習を修了した者のうちから、石綿作業主任者を選定し、施工要領書を作成の上適正に作業にあたること。  
 設備機器の固定等は、すべて「国土交通省国土技術政策総合研究所・独立行政法人建築研究所監修の建築設備耐震設計・施工指針2014年版」により行う。ただし、設計用水平震度KH及び設計用鉛直震度KV(KH/2)を用いて計算する。  
 設計用水平地震力と設計用鉛直地震力は同時に作用するものとする。

設計用標準水平震度

設置場所	機器種別	特定の施設		一般の施設	
		重要機器	一般機器	重要機器	一般機器
上層階 屋上及び塔屋	機 器	2.0	1.5	1.5	1.0
	防振支持の機器	2.0	2.0	2.0	1.5
	水 槽 類 (※1)	2.0	1.5	1.5	1.0
中間階	機 器	1.5	1.0	1.0	0.6
	防振支持の機器	1.5	1.5	1.5	1.0
	水 槽 類 (※1)	1.5	1.0	1.0	0.6
地下・1階	機 器	1.0	0.6	0.6	0.4
	防振支持の機器	1.0	1.0	1.0	0.6
	水 槽 類 (※1)	1.5	1.0	1.0	0.6

【備 考】(※1)：水槽類には、オイルタンク等を含む。  
 特定の施設とは避難所に指定されている施設  
 重要機器は次のものを示す。  
 ・給水装置 ・排水装置 ・換気機器 ・空調機器 ・熱源機器  
 ・防災設備 ・監視制御設備 ・危険物貯蔵装置  
 ・火を使用する設備 ・避難経路上に設置する機器  
 上層階の定義は次による。  
 2～6階建の場合は最上階、7～9階建の場合は上層2階、10～12階建の場合は上層3階、13階以上の場合は上層4層とする。

● 提出書類  
 (1) 着工前  
 施工計画書 2部  
 ※請負代金額が100万円未満の場合は、不要とする  
 (2) 施工中  
 施工図、機器納入仕様書(見本品を含む) 2部

(3) しゅん工事  
 しゅん工時 1部  
 しゅん工写真 工事用アルバム 1部  
 工事写真 工事用アルバム 1部  
 工事記録簿 打合せ記録、工事日誌 1部  
 施工計画書 承諾を受けたもの 1部  
 社内検査報告書 中間検査含む 1部  
 各種届出書 1部  
 機器納入仕様書 承諾を受けたもの 1部  
 施工図 承諾を受けたもの CADデータ共 1部  
 しゅん工図 CADデータ共 1部  
 ● しゅん工図製本 見開きA1 1部 見開きA3 3部  
 ● 保全マニュアル 機器設定データ類とも(交換機等) 1部  
 取扱説明書 別ファイルとする 2部+各戸  
 工具・予備品 監督職員の指示による

※CADデータについては、JWCAD形式(JWW)又はCAD交換標準(SXF)Ver.2.0以降形式(P21又はSFC)で保存したデータを、電子媒体又は監督職員の指示による方法で提出する。  
 ※製本については、白焼きとし、背表紙に年度と工事名、表紙に年度、工事名、設計者名、工事管理者名、施工者名、工期しゅん工日を印刷する。  
 ※他工事が別途発注されている場合は、監督職員の指示により総合版とする。

● 総合調整  
 ● 本工事(調整項目は下記のものとする。)  
 ● 風量調整 ● 水量調整 ○ 室内外空気の温湿度の測定 ○ 騒音の測定  
 ○ 別途とする。  
 ○ 飲料水の水質測定 (○ 水質検査11項目(一般細菌、大腸菌、硝酸態窒素及び亜硝酸態窒素、亜硝酸態窒素、塩化物イオン、有機物等(TOC)、pH、味、臭気、色度、濁度) ○トルエン)  
 ※飲料水の水質測定は厚生労働大臣登録水質検査機関とする。  
 ● 給水配管末端での残留塩素測定

● 容量等の表示  
 (1) 機器類の能力、容量等は表示された数値以上とする。  
 (2) 電動機出力、燃料消費量、圧力損失は、原則として表示された数値以下とする。

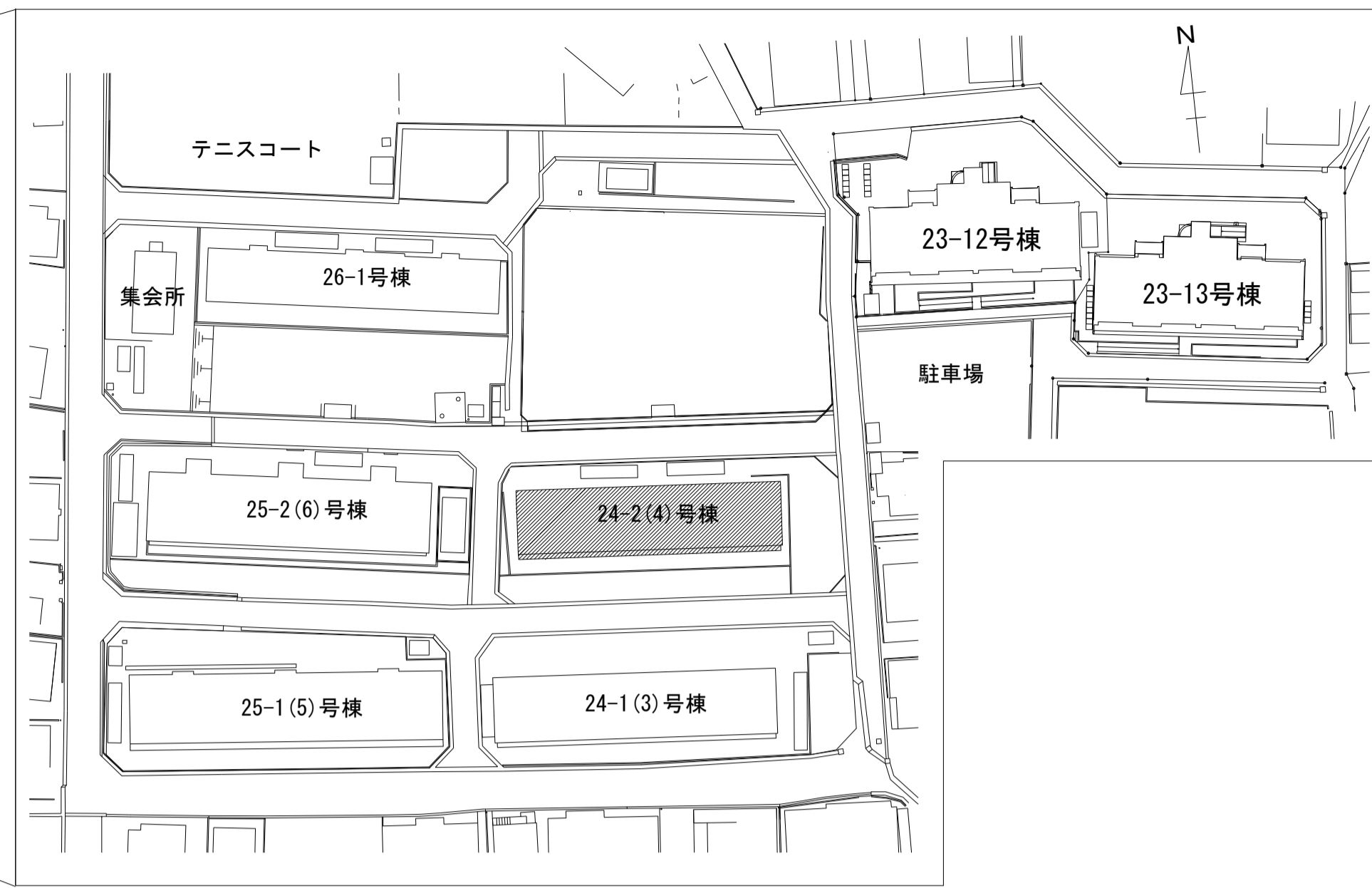
溶接部の非破壊検査 ○ 要 ( )

取り付け箇所は図示による。

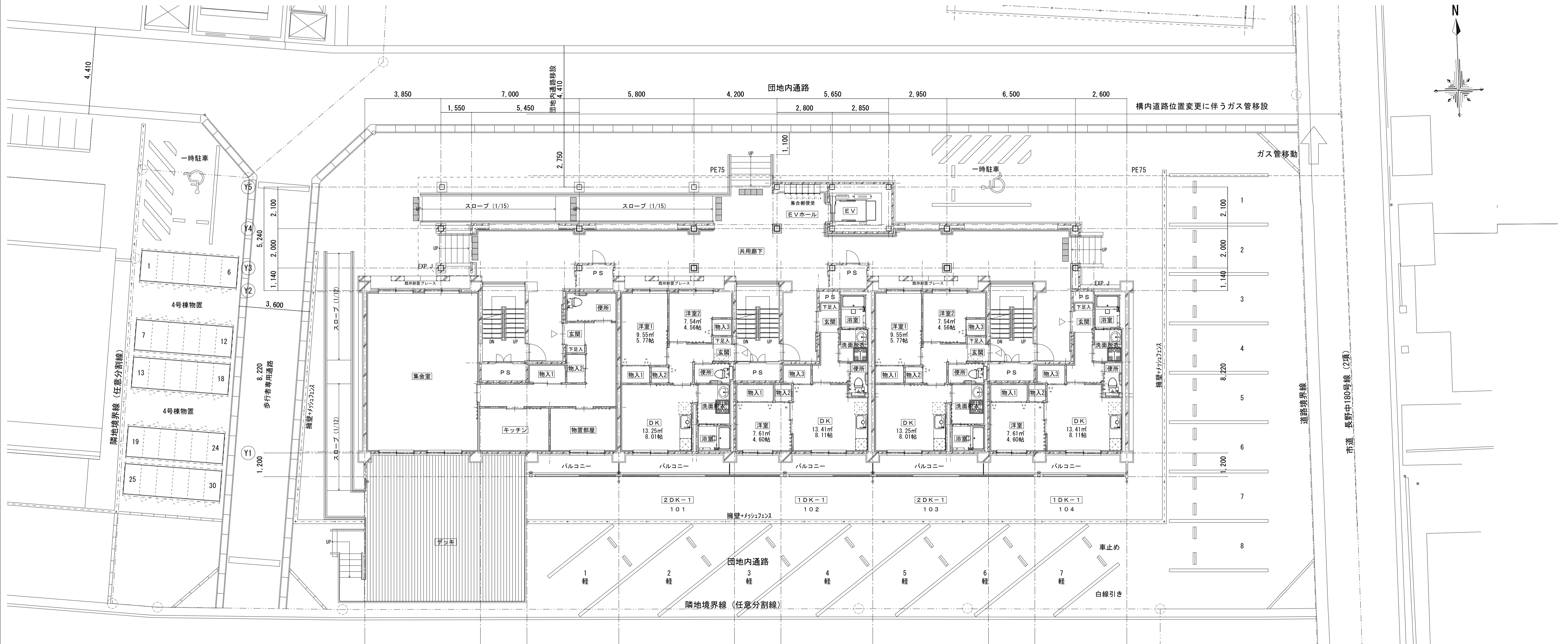
○ 配管  
 ○ 絶縁継手  
 ● 地中埋設標等  
 (1) 地中埋設標 ● 要(図示の箇所) ○ 不要  
 (2) 埋設表示用テープ ● 要(排水管を除く) ○ 不要 ● 給水管

● フレキシブルジョイント  
 (1) 圧送管に使用するフレキシブルジョイントは、可とう性に加え、防振性を合わせ持つものを選定すること。

章	項目	特記事項							
● 保温及び消音内張り	○ 還りダクトの保温 範囲は ( ○ ○ ) ○ 外気ダクトの保温 範囲は ( ○ ○ ) ○ 膨張タンクよりボイラ等への補給水管の保温は、標準仕様書第2編3.1.4の膨張管の項による。 ○ 建物内の空気抜き管の保温は、標準仕様書第2編3.1.4の膨張管の項による。 ○ 空調和機及びファンコイルユニットの排水管の保温は、標準仕様書第2編3.1.5の排水管の項による。 ○ 冷媒管の外装の種別は ( ○ ステンレス鋼板 ○ 樹脂製化粧カバー ) ○ 全熱交換ユニット用のダクト (保温の厚さ25mm、外気側 OA, SA共) ● フード・ダクト間の防火ダンパ設置 ● 火気使用室排気ダクト ロックウール保温材50mm ● 排気ダクト 外壁より ○ 1m (樹脂製ダクト) ● 2m (金属製ダクト) ● 給水管 ポリスチレンフォーム保温筒 ● 給湯管 グラスウール保温筒 埋設部はワンタッチ保温材20mm ● 排水管 グラスウール保温筒 ビット内保温 ● 有 ○ 無 ○ 消火管 ポリスチレンフォーム保温筒 ○ 屋内消火管 ● 水抜きできない管 ○ スプリンクラー配管 ○ 空調用ドレン管 グラスウール保温筒 なお、上記配管で、凍結の恐れがある屋外箇所は、凍結防止帯巻の上グラスウール保温筒+鉄線+ポリエチレンフィルム+ステンレス鋼板とする。 注1: 各配管の保温厚で標準仕様書中厚さ30mm未満の箇所はすべて厚さ30mm以上とする。(ただし、排水管、ドレン管、冷媒管は除く) 注2: 上記は保温材の種類を示すもので、それ以外の仕様は標準仕様書による。	● 配管材料 (1) 地中埋設配管 ○ 水道用ポリエチレン二層管 (不凍栓まで) ● 高性能ポリエチレン管溶着接合 ● 硬質塩化ビニル(硬質)鋼管 (SGP-VD) (不凍栓以降ビットまでの間) (2) その他の一般配管 (上水) ● 水道用硬質塩化ビニルライニング鋼管 SGP-VB 住戸内 ● ポリブデン管 (サヤ管ヘッダー工法) ● 水抜栓を使用する場合、水栓は固定こま式とし、配管の末端に吸気弁を設置する。 ○ 親メーター (○ 貸与品 ○ ) ● 子メーター (● 買い取り ○ ) ○ 水道事業者指定品 (○ 貸与品 ○ 買い取り) ○ 標準図MC形 JIS又はJV ● 水道直結部分 (○ 10K ○ ) ● その他の部分 (● 5K ○ ) 管の上端より、凍結深度 ( ● 60cm ○ 80cm ) 以上とする。 標準図 (建築物導入部の変位吸収配管要領) の ○ (a) ○ (b) ● ○ (c) による。 ● 要 (○ 別途 ● 本工事に含む) ○ 不要	○ 排水処理設備	○ 設備方式 ○ 仕様等	○ 排水再利用 ○ 厨房除害 ○ 浄化槽 図示による。				
		● 吊り及び支持金物	(○ 槽内 ● ビット) の吊り金物・支持金物類はステンレス鋼製 (SUS304) とする。 ● コンクリート土間下配管は、鋼棒等により沈下防止措置をする。	● 弁類 ● 管の埋設深さ ● 建物導入部配管 ● 引込納付金等	○ 撤去工事	○ 撤去内容 ○ 発生材の処理	○ 撤去内容は図示による。 ○ 特別管理産業廃棄物は (○ ○ ○ ) とする。 ○ 再資源化を図るものは (○ ○ ○ ) とする。 ○ 構外撤出適法処理をし、マニフェストA票、E票の写しを提出する。		
● 配管勾配	水抜き位置に向かって給水、給湯、給排水、冷却水は、図示による水抜きが確実にできる	● 洗面器等の排水管 ● 満水試験継手	● 昇降機設備	● 定員・積載 ● 速度 ● その他	9 人 kg 4.5 m/min ● 乗場遮煙性能 ○ 利用者制限機能 ● 各申請・手続きは本工事に含む。				
● 試験	(1) 各種配管の試験は、新設配管に適用する。 (2) 新設配管は、既設配管との接続前に試験を行う。	○ システム ○ 厨房用熱源 ○ 機器の機能等	○ その他						
● 空気調和設備	○ 機器 ● 寒冷地用ヒートポンプエアコン ○ 一般用ヒートポンプエアコン ○ ガスヒートポンプエアコン ○ ガス式FF暖房機 ○ FF式灯油暖房機 ○ FF式ベレットストーブ ○ パネルヒーター ○ 遠赤外線ヒーター ○ 配管 ○ メーカー仕様 ○	● 機器 ● 配管材料 ● 弁類	○ 洗面器等の排水管 ● 満水試験継手	● 定員・積載 ● 速度 ● その他	9 人 kg 4.5 m/min ● 乗場遮煙性能 ○ 利用者制限機能 ● 各申請・手続きは本工事に含む。				
● 換気設備	○ 方式 ○ 第1種換気 ○ 第2種換気 ● 第3種換気 ○ 全熱交換機 ● ダクト ○ アンクルフランジ工法ダクト ○ コーナーボルト工法ダクト (長辺の長さが1500mm以下の部分) ○ 共板フランジ工法ダクト ○ スライドオンフランジ工法ダクト ● スパイラルダクト ○ 高圧ダクトの適用範囲は図示による。 ○ ステンレスダクト及び塩化ビニルダクトの仕様及び適用範囲は図示による。 ○ 厨房系統の長方形排気ダクトの板厚は、標準仕様書より1ランク厚いものを使用する。 ○ 風量測定口 取り付け箇所は図示による。 ● ダンパー (1) 防煙ダンパー 復帰方式 (○ 遠隔 ○ ) 定格入力はDC24V、0.7A以下とする。 (2) ビストンダンパー 復帰方式 (○ 遠隔 ○ ) ○ チャンパー (1) 内貼りを施すチャンパーの表示寸法は外法を示す。 (2) 空気調和機に取り付けるサブライチャンパー、レタンチャンパー及び風道系で消音内貼りしたチャンパーには点検口を設け、大きさは図示による。 (3) ガラリに直接取り付けけるチャンパー類は雨水の滞留のないように施工する。	○ システム ○ 厨房用熱源 ○ 機器の機能等	○ 洗面器等の排水管 ● 満水試験継手	● 定員・積載 ● 速度 ● その他	9 人 kg 4.5 m/min ● 乗場遮煙性能 ○ 利用者制限機能 ● 各申請・手続きは本工事に含む。				
○ 自動制御設備	○ 制御構成その他 図示による。 ○ 電気計装工事の配線 使用する電線類はEMケーブルとし、規格は標準仕様書第4編1.5.1表4.1.11の使用電線類の規格による。(機器、盤類は除く) 屋外・屋内露出の電線は、図面に特記のない限り金属管配線とする。 天井内隠ぺいの配線は、図面に特記のない限りケーブル配線とする。	○ システム ○ 厨房用熱源 ○ 機器の機能等	○ 洗面器等の排水管 ● 満水試験継手	● 定員・積載 ● 速度 ● その他	9 人 kg 4.5 m/min ● 乗場遮煙性能 ○ 利用者制限機能 ● 各申請・手続きは本工事に含む。				
● 衛生器具設備	○ 和風大便器耐火カバー ○ 設ける (ビット内は除く) ○ 設けない ○ 小便器自動洗浄装置 小便器自動洗浄装置及び組込み小便器の洗浄水量は4L/回以下とし、使用状況により洗浄水量を制御できるものとする。 ● 洋風便器 洗浄水量が6.0L/回以下のものとする。	● ガス種別 ● 配管材料 ○ 塗装工事 ○ 吊り及び支持金物 ○ 充てん容器 ○ 集合装置 ○ 転倒防止等 ● メーター ○ ガス漏れ警報器 ○ 電気防食 ● 引込負担金等	○ 洗面器等の排水管 ● 満水試験継手	● 定員・積載 ● 速度 ● その他	9 人 kg 4.5 m/min ● 乗場遮煙性能 ○ 利用者制限機能 ● 各申請・手続きは本工事に含む。				



24-2号棟配置図



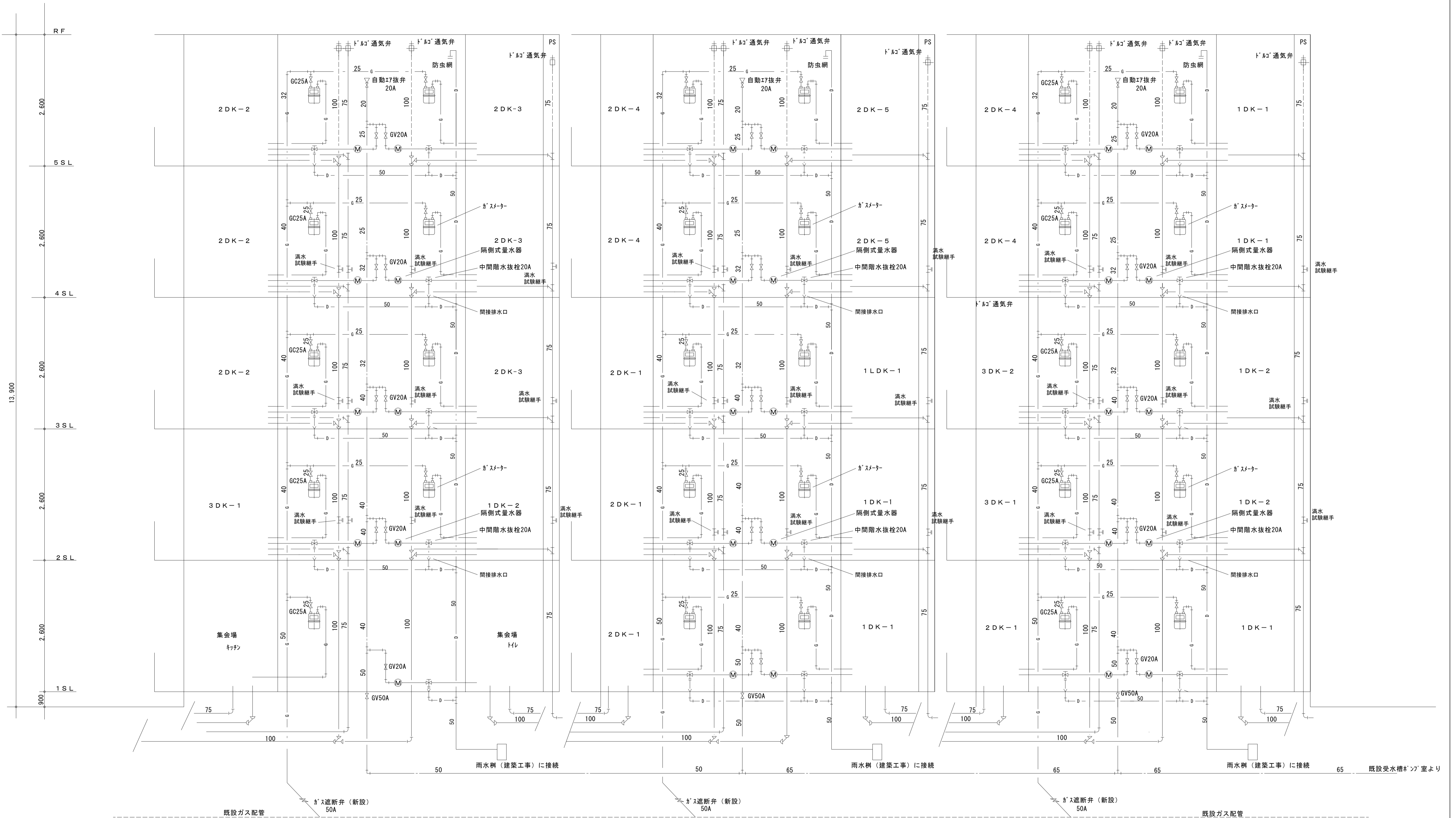
凡例

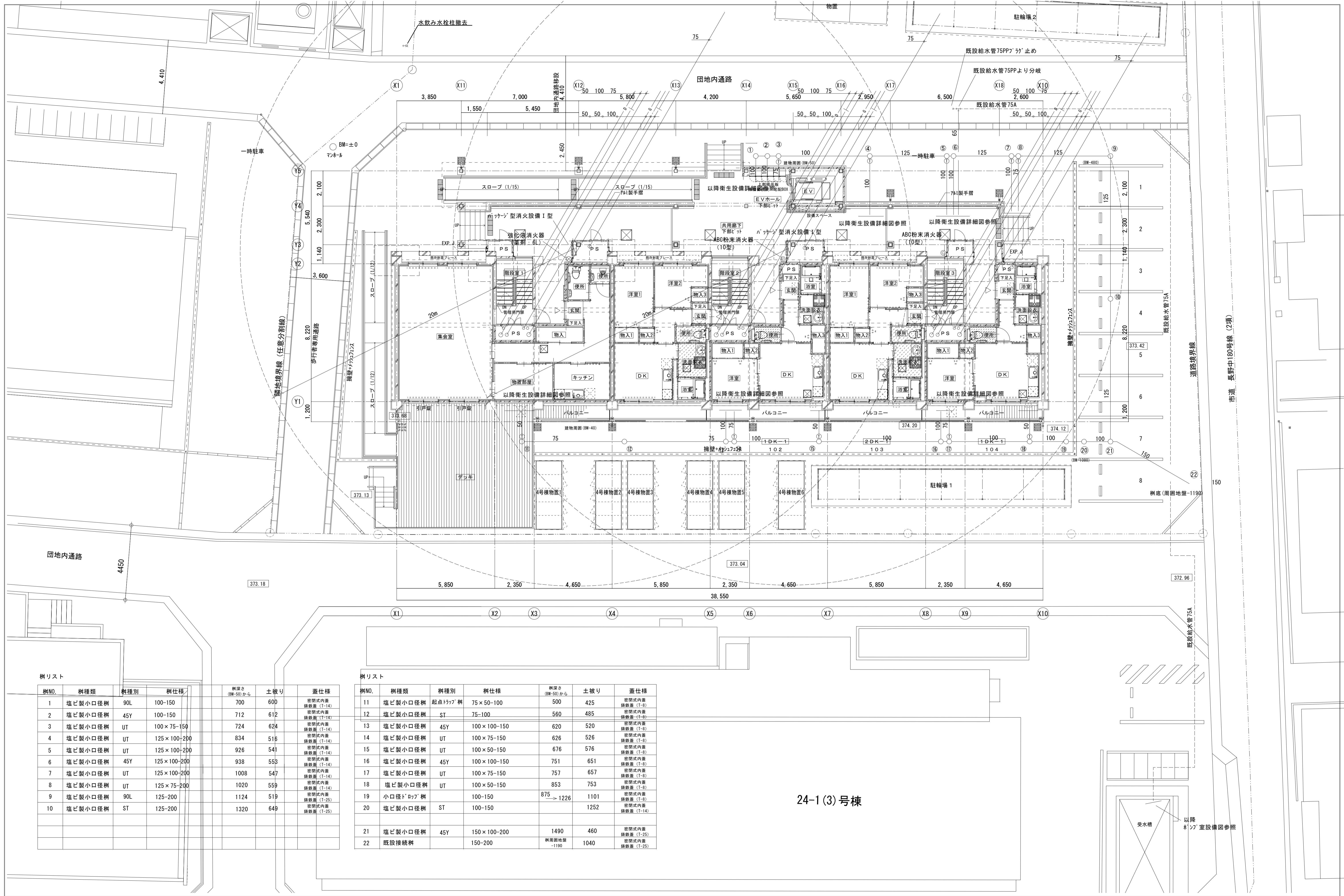
記号	名称	備考		保温仕様
---	給水管	屋外地中埋設部(不凍栓まで)	耐震型高性能ポリエチレン管 (融着接合) PWA001/002/005/006規格品・準拠品	
		" 不凍栓以降建物までの間	耐震型高性能ポリエチレン管 (融着接合) PWA001/002/005/006規格品・準拠品	
		建物内(ピット、PS)	耐震型高性能ポリエチレン管 (融着接合) PWA001/002/005/006規格品・準拠品	アルミガラスクロス化粧保温筒 (PF保温筒) + アルミガラスクロス粘着テープ
		建物内(PS~住戸内ヘッダーまで)	塩ビライニング鋼管 (VB) JWAA K 144	アルミガラスクロス化粧保温筒 (GW保温筒) + アルミガラスクロス粘着テープ
		PS~住戸間防火区画貫通部	塩ビライニング鋼管 (VB) JWAA K 144	不燃充填材 (RW) + すき間をモルタル埋め
		住戸ヘッダー以降	樹脂 (ポリブデン) 管 さや管工法	給湯器廻り 防凍ヒーター巻+GW保温筒+7&#39;sガラス粘着テープ (配管加')
---	給湯管	住戸内	樹脂 (ポリブデン) 管 さや管工法 (防火区画貫通部 … 樹脂管メーカー指定の防火区画貫通材認定品を使用する)	給湯器廻り 防凍ヒーター巻+GW保温筒+7&#39;sガラス粘着テープ (配管加')
---	ガス管	ガス供給会社規定による(責任施工) … 長野都市ガス株		
---	汚水管	屋内土間下埋設(第1樹まで)	硬質塩化ビニール管 JIS K 6741 VP	アルミガラスクロス化粧保温筒 (ガラス&#39;l保温筒) + アルミガラスクロス粘着テープ (保温防露無し)
		屋内一般(1Fピット内)	硬質塩化ビニール管 JIS K 6741 VP	
		屋内一般(住戸内~PS縦管まで)	耐火VP FS-VP	
		屋内一般(露出部・PS)	耐火二層管 FDP	
		屋外埋設(第1樹以降)	硬質塩化ビニール管 JIS K 6741 VU	
---	雑排水管	屋内土間下埋設(第1樹まで)	硬質塩化ビニール管 JIS K 6741 VP	アルミガラスクロス化粧保温筒 (ガラス&#39;l保温筒) + アルミガラスクロス粘着テープ (保温防露無し)
		屋内一般(1Fピット内)	硬質塩化ビニール管 JIS K 6741 VP	
		屋内一般(住戸内~PS縦管まで)	耐火VP FS-VP	
		屋内一般(露出部・PS)	耐火二層管 FDP	
		屋外埋設(第1樹以降)	硬質塩化ビニール管 JIS K 6741 VU	アルミガラスクロス化粧保温筒 (PF保温筒) + アルミガラスクロス粘着テープ SUSラック
---	通気管	屋内一般(PS)	耐火二層管 FDP	
---	ドレイン管	地中埋設部	硬質塩化ビニール管 JIS K 6741 VP	
		PS内(主管共)	硬質塩化ビニール管 JIS K 6741 VP	
---	排気ダクト	スパイラルダクト	亜鉛鉄板	
---	仕切弁	JIS 5K		
---	逆止弁	JIS 10K		
---	不凍栓・埋設弁	ネッパ取付共		
---	トラップ	掃除口付トラップ	蓋は特記による。	
---	塩ビ	小口径塩ビインパート	蓋は特記による。 保護ハット設置の箇所は、取手付内蓋設置	
---	ガス栓	ヒューズコック		
---	粉末消火器	蓄圧式 ABC粉末 3kg	ゲージ付 リリケ&#39;l付 A-3、B-7、C 消火器置台 1本用 表示付) 共	

換気計算書

階番号 記号	部屋名	面積 m <sup>2</sup>	天井高 m	室容積 m <sup>3</sup>	換気計算書		換気設計		給気方式		シカケ&#39;l換気計画		判定	(参考品番)	
					シカケ&#39;l換気計算 換気回数 回/H	換気量 m <sup>3</sup> /H	A 換気量 m <sup>3</sup> /H	換気設計 換気量 m <sup>3</sup> /H	給気量 m <sup>3</sup> /H	給気方式	シカケ&#39;l換気計画	シカケ&#39;l換気計画			
3DK	住戸床面積	53.59	2.32	124.4	0.5	62.2		3種							
	トイレ	2.16	2.2	4.8			10	48	100	100	自然給気		FE-1	VD-13ZC10	
	浴室洗面	5.32	2.2	11.8			10	118	200	200	自然給気	24時間換気	OK	FE-2	VD-15ZFC3
2DK-1	住戸床面積	48.09	2.32	111.6	0.5	55.8		3種							
	トイレ	2.24	2.2	5.0			10	50	100	100	自然給気		FE-1	VD-13ZC10	
	浴室洗面	6.0	2.2	13.2			10	132	200	200	自然給気	24時間換気	OK	FE-2	VD-15ZFC3
2DK-2	住戸床面積	46.64	2.32	108.2	0.5	54.1		3種							
	トイレ	2.02	2.2	4.5			10	45	100	100	自然給気		FE-1	V-08PPX13	
	浴室洗面	5.32	2.2	11.7			10	117	200	200	自然給気	24時間換気	OK	FE-2	VD-15ZFC3
2DK-3	住戸床面積	41.2	2.32	95.6	0.5	47.8		3種							
	トイレ	2.1	2.2	4.7			10	47	100	100	自然給気		FE-1	VD-13ZC10	
	浴室洗面	5.21	2.2	11.5			10	115	200	200	自然給気	24時間換気	OK	FE-2	VD-15ZFC3
2DK-4	住戸床面積	48.09	2.32	111.6	0.5	55.8		3種							
	トイレ	1.93	2.2	4.3			10	43	100	100	自然給気		FE-1	VD-13ZC10	
	浴室洗面	4.89	2.2	10.8			10	108	200	200	自然給気	24時間換気	OK	FE-2	VD-15ZFC3
2DK-5	住戸床面積	46.71	2.32	108.4	0.5	54.2		3種							
	トイレ	1.89	2.2	4.2			10	42	100	100	自然給気		FE-1	VD-13ZC10	
	浴室洗面	5.21	2.2	11.5			10	115	200	200	自然給気	24時間換気	OK	FE-2	VD-15ZFC3
1DK-1	住戸床面積	42.36	2.32	98.3	0.5	49.2		3種							
	トイレ	1.97	2.2	4.4			10	44	100	100	自然給気		FE-4	V-08PPX8	
	浴室洗面	4.75	2.2	10.5			10	105	200	200	自然給気	24時間換気	OK	FE-2	VD-15ZFC3
1DK-2	住戸床面積	34.25	2.32	79.5	0.5	39.8		3種							
	トイレ	2.1	2.2	4.7			10	47	100	100	自然給気		FE-4	V-08PPX8	
	浴室洗面	4.75	2.2	10.5			10	105	200	200	自然給気	24時間換気	OK	FE-2	VD-15ZFC3
集会場	集会室	47.2	2.32	109.5	0.3	32.9	3	328.5	1種	350	350	機械給気	HEU-1弱運転		
	キッチン	7.92	2.32	18.4	0.3	5.6	3	450	3種	450	450	自然給気	24時間換気	OK	FE-3
	トイレ	2.04	2.2	4.5			10	45	50	50	自然給気		FE-5	V-08PX8	
	トイレ	1.56	2.2	3.5			10	35	50	50	自然給気		FE-5	V-08PX8	
火器使用室の換気計算															
各住戸DK	集会場キッチン	2口コンロ		ガス消費量	6.4 kW										
	都市ガス	理論換気量		0.93 m <sup>3</sup> /Kwh											
	V=30×K×Q			178.6 m <sup>3</sup> /H			3種	450	450	450	自然給気		FE-3	V-604KSW8-BL	







樹リスト

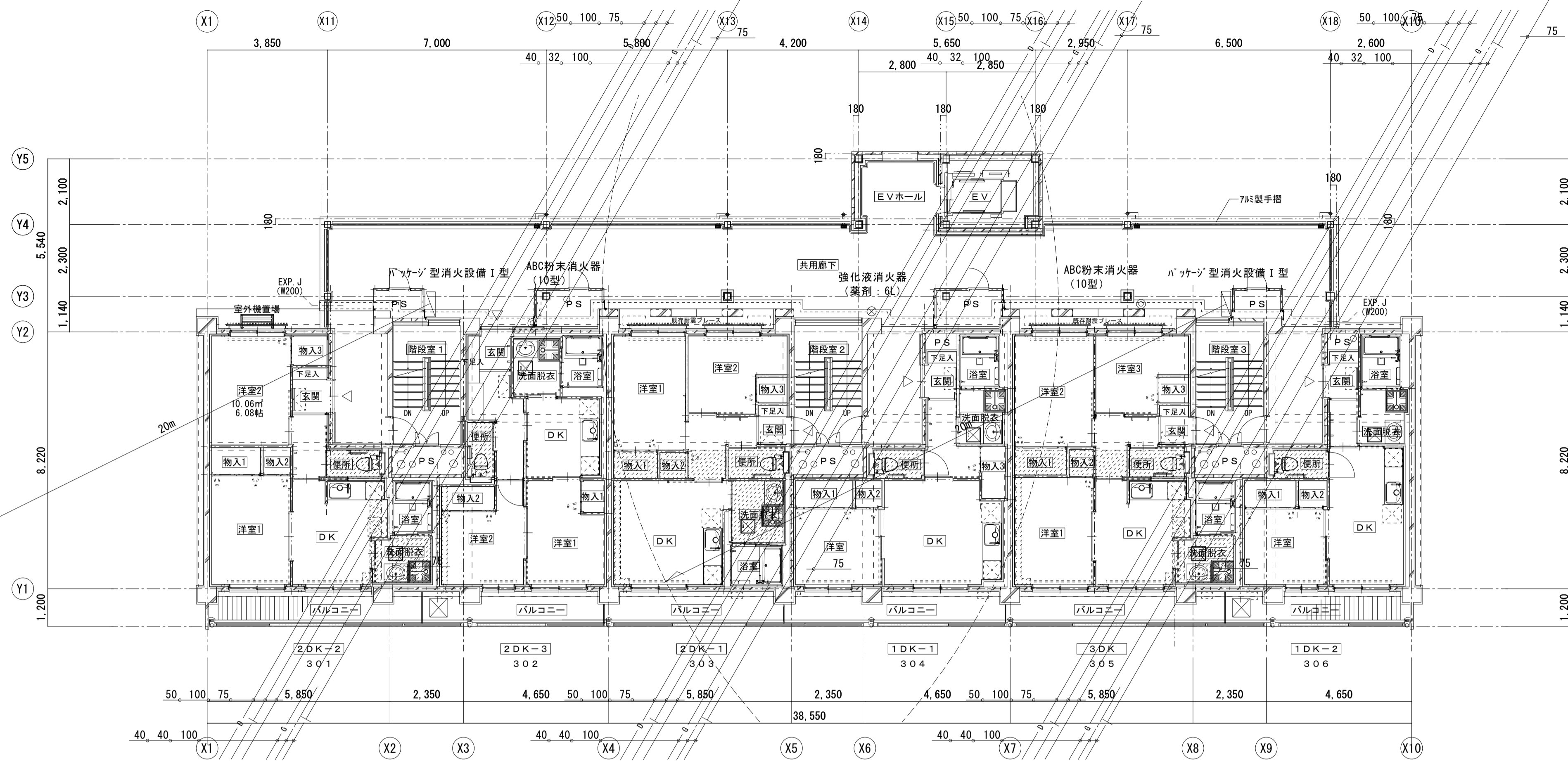
樹NO.	樹種類	樹種別	樹仕様	樹深さ (樹高50%から)	土被り	蓋仕様
1	塩ビ製小口径樹	90L	100-150	700	600	密閉式内蓋 鉄製蓋 (T-14)
2	塩ビ製小口径樹	45Y	100-150	712	612	密閉式内蓋 鉄製蓋 (T-14)
3	塩ビ製小口径樹	UT	100×75-150	724	624	密閉式内蓋 鉄製蓋 (T-14)
4	塩ビ製小口径樹	UT	125×100-200	834	518	密閉式内蓋 鉄製蓋 (T-14)
5	塩ビ製小口径樹	UT	125×100-200	926	541	密閉式内蓋 鉄製蓋 (T-14)
6	塩ビ製小口径樹	45Y	125×100-200	938	553	密閉式内蓋 鉄製蓋 (T-14)
7	塩ビ製小口径樹	UT	125×100-200	1008	547	密閉式内蓋 鉄製蓋 (T-14)
8	塩ビ製小口径樹	UT	125×75-200	1020	559	密閉式内蓋 鉄製蓋 (T-14)
9	塩ビ製小口径樹	90L	125-200	1124	519	密閉式内蓋 鉄製蓋 (T-25)
10	塩ビ製小口径樹	ST	125-200	1320	649	密閉式内蓋 鉄製蓋 (T-25)

樹リスト

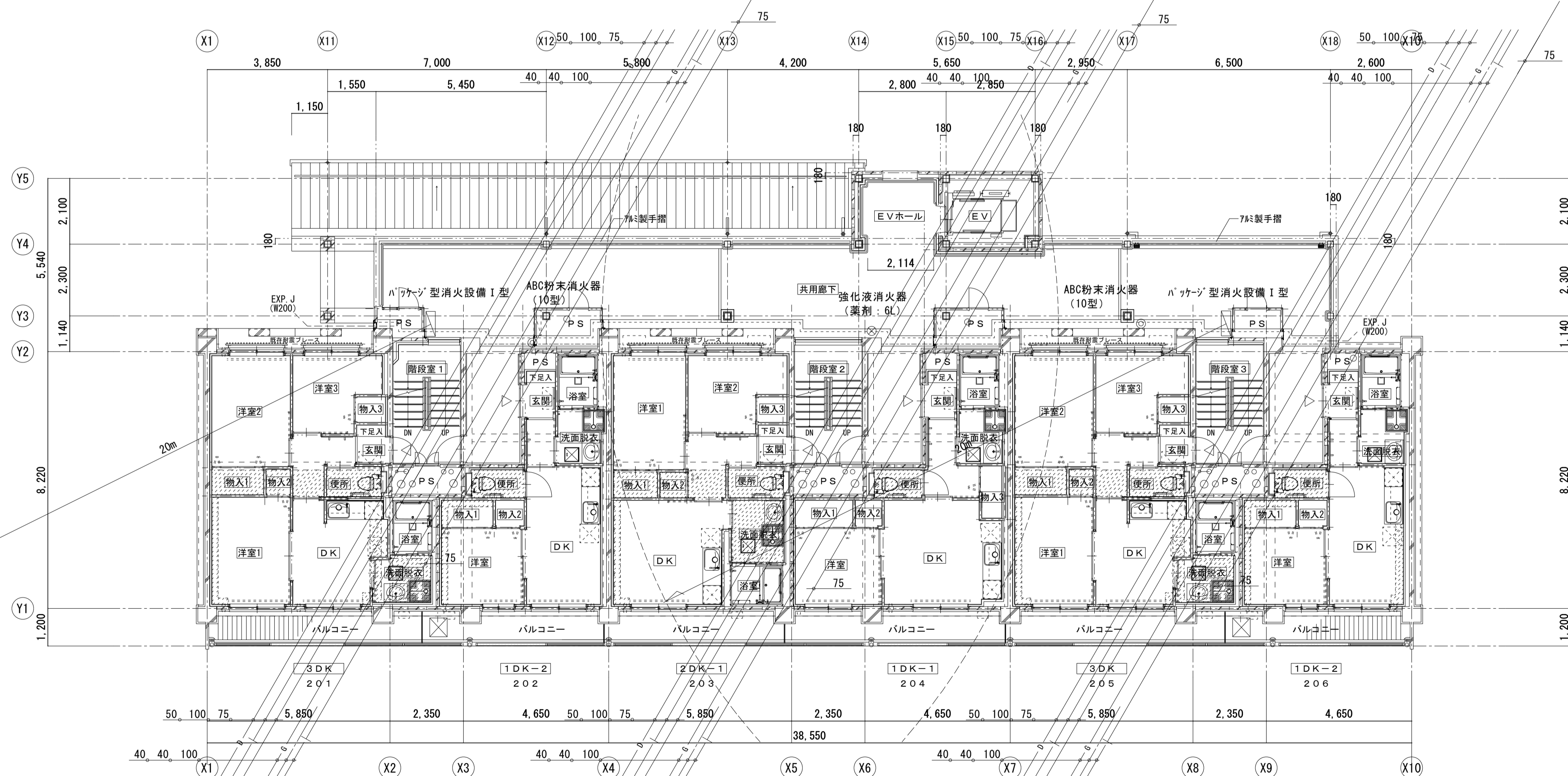
樹NO.	樹種類	樹種別	樹仕様	樹深さ (樹高50%から)	土被り	蓋仕様
11	塩ビ製小口径樹	起点トランプ樹	75×50-100	500	425	密閉式内蓋 鉄製蓋 (T-8)
12	塩ビ製小口径樹	ST	75-100	560	485	密閉式内蓋 鉄製蓋 (T-8)
13	塩ビ製小口径樹	45Y	100×100-150	620	520	密閉式内蓋 鉄製蓋 (T-8)
14	塩ビ製小口径樹	UT	100×75-150	626	526	密閉式内蓋 鉄製蓋 (T-8)
15	塩ビ製小口径樹	UT	100×50-150	676	576	密閉式内蓋 鉄製蓋 (T-8)
16	塩ビ製小口径樹	45Y	100×100-150	751	651	密閉式内蓋 鉄製蓋 (T-8)
17	塩ビ製小口径樹	UT	100×75-150	757	657	密閉式内蓋 鉄製蓋 (T-8)
18	塩ビ製小口径樹	UT	100×50-150	853	753	密閉式内蓋 鉄製蓋 (T-8)
19	小口径トランプ樹		100-150	875	1226	密閉式内蓋 鉄製蓋 (T-8)
20	塩ビ製小口径樹	ST	100-150		1252	密閉式内蓋 鉄製蓋 (T-14)
21	塩ビ製小口径樹	45Y	150×100-200	1490	460	密閉式内蓋 鉄製蓋 (T-25)
22	既設接続樹		150-200	樹周囲地盤 -1190	1040	密閉式内蓋 鉄製蓋 (T-25)

24-1(3)号棟

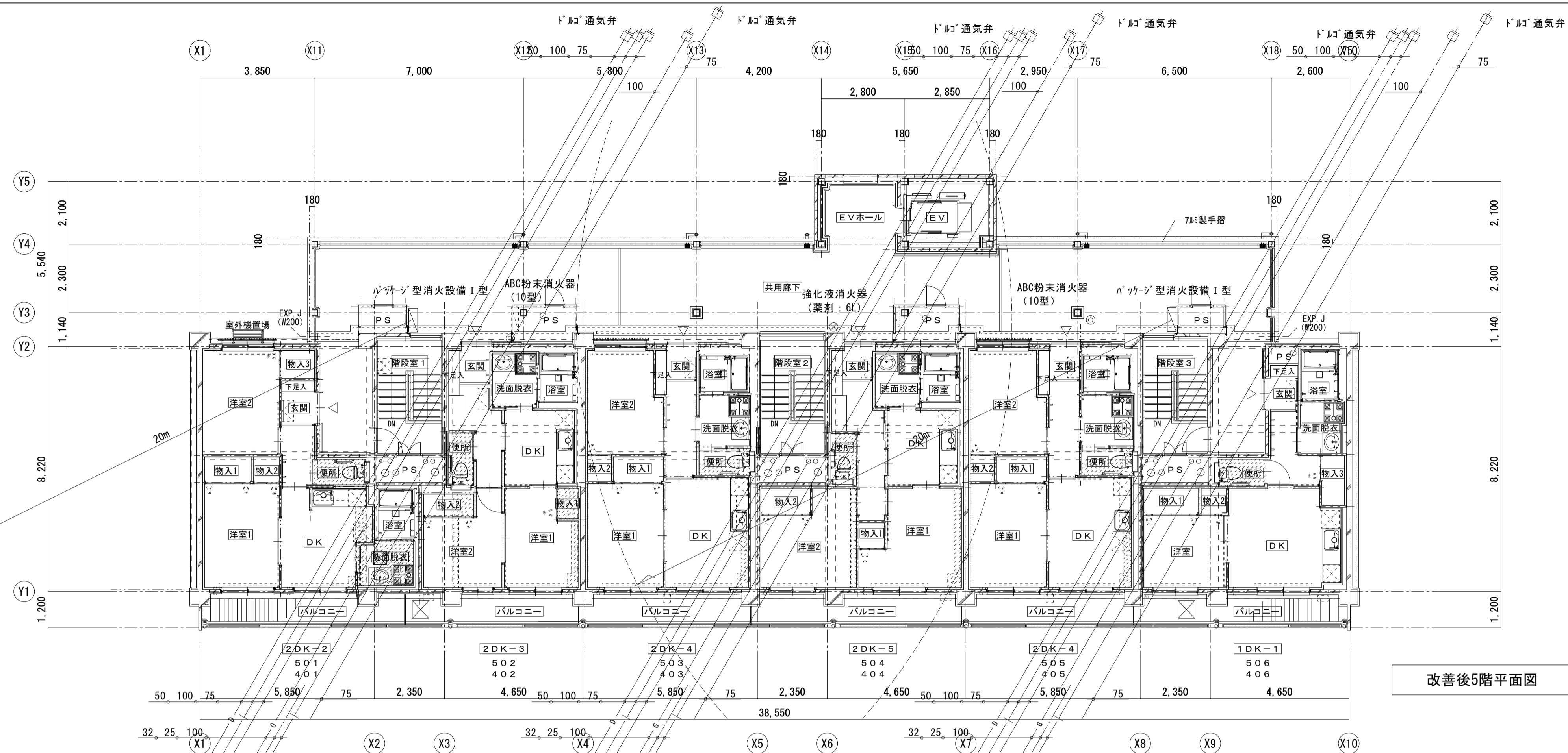




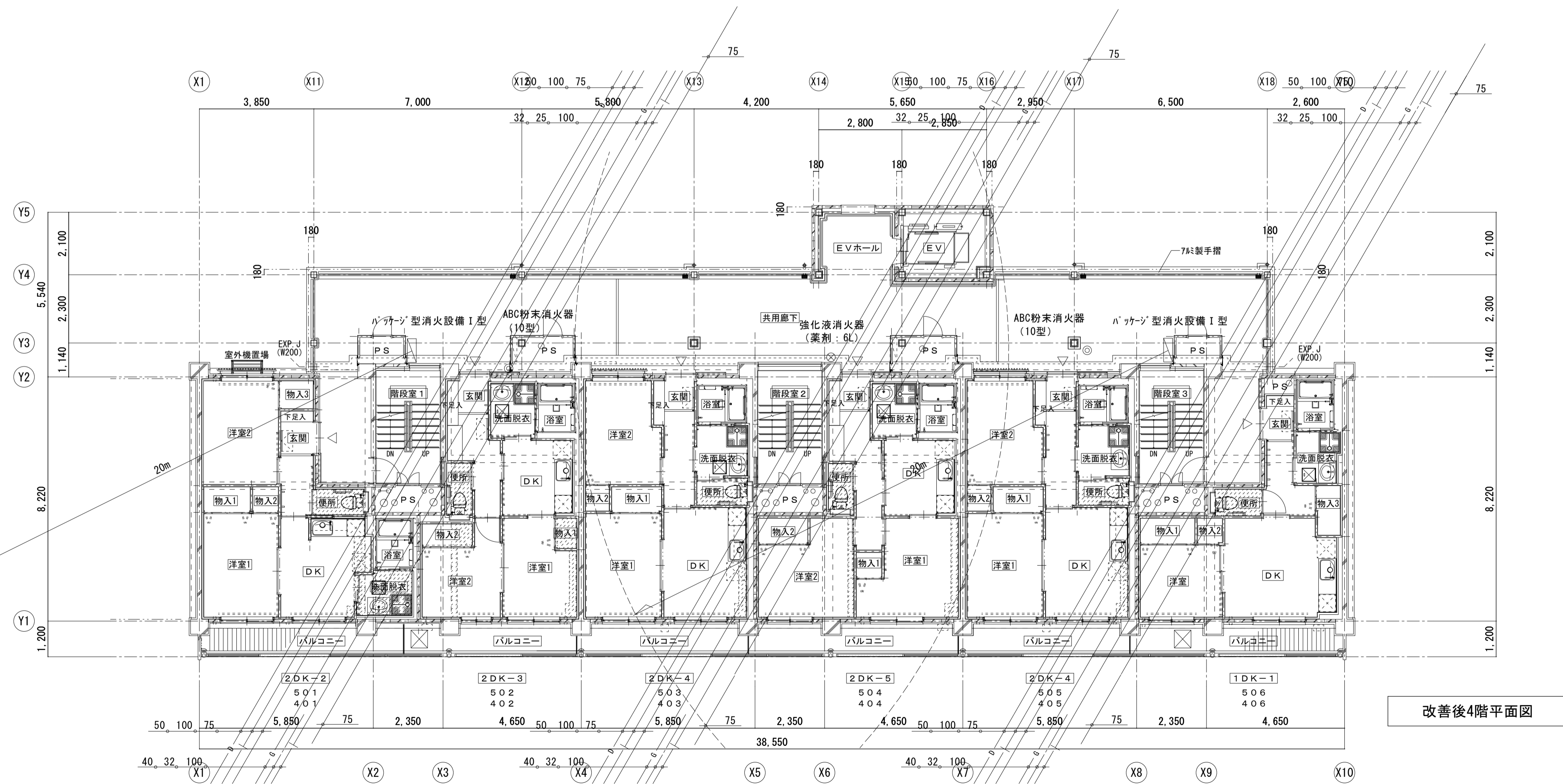
改善後3階平面図



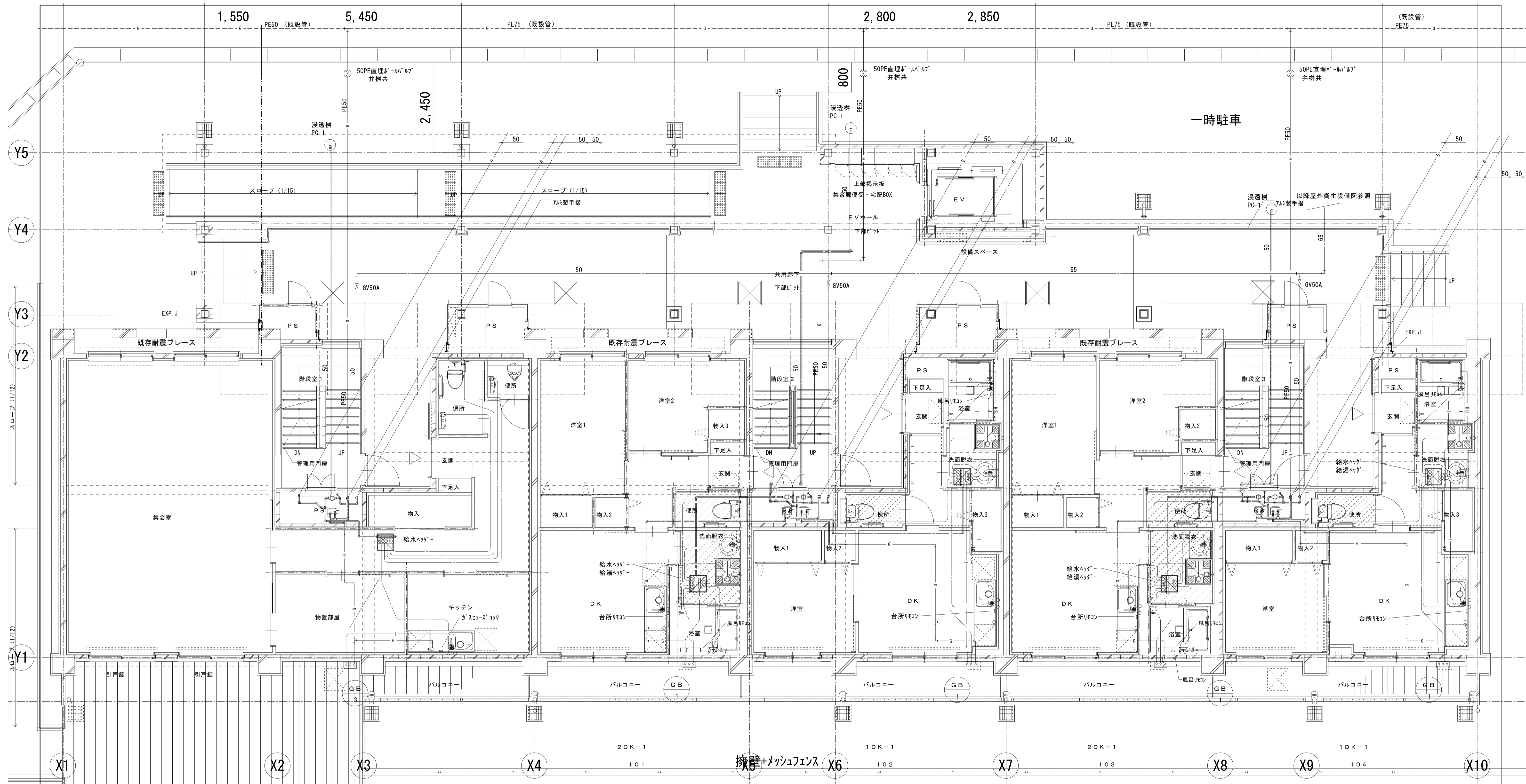
改善後2階平面図



改善後5階平面図



改善後4階平面図



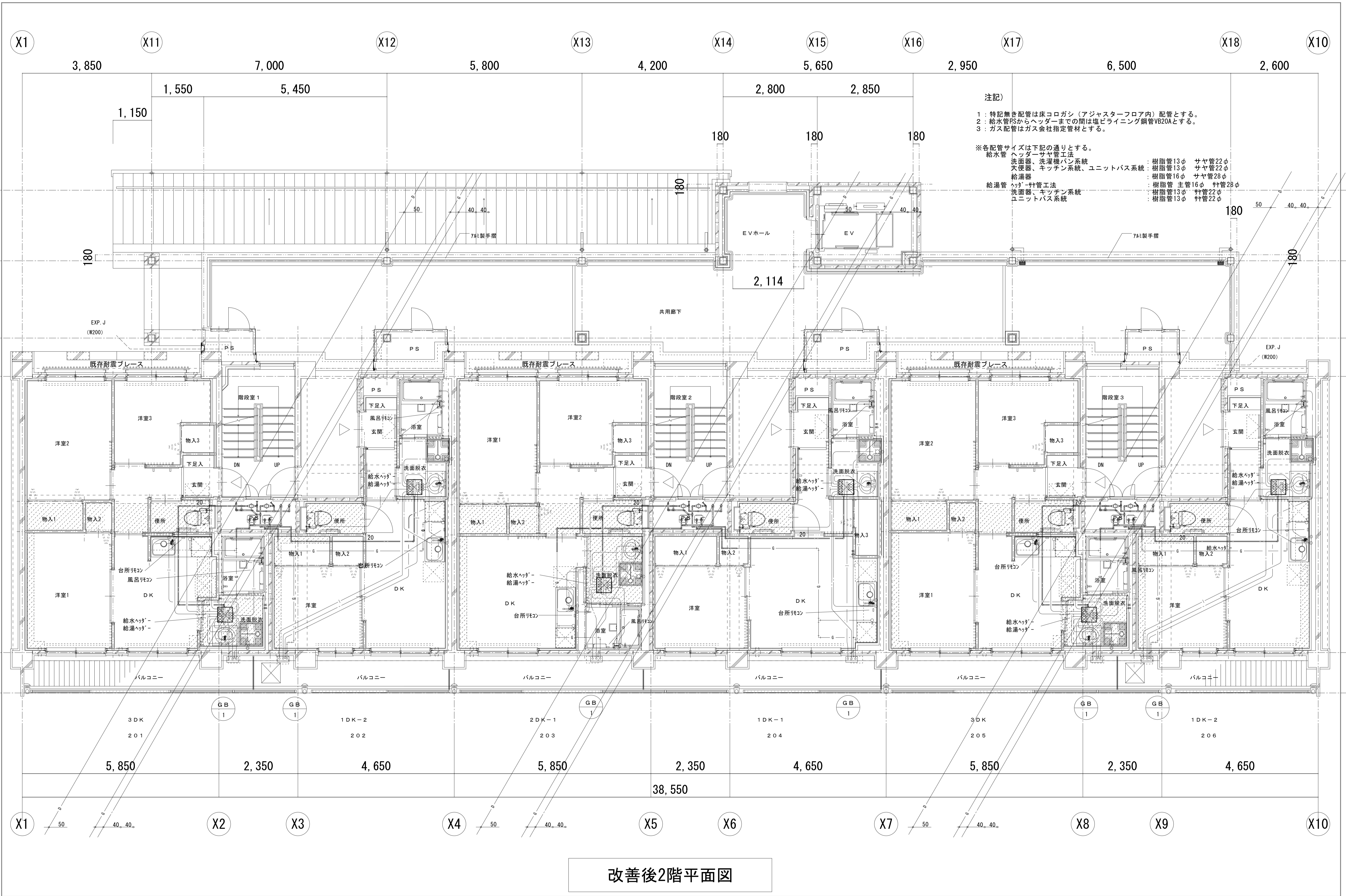
注記

- 1 特記無き配管は床コログシ (アジャスターフロア内) 配管とする。
- 2 給水管PSからヘッダーまでの間は塩ビライニング鋼管VB20Aとする。
- 3 ガス配管はガス会社指定管材とする。

※各配管サイズは下記の通りとする。

給水管	洗面器、洗濯機、ハンシステム	樹脂管 13φ	サヤ管 22φ
	大便器、キッチン系統、ユニットバス系統	樹脂管 13φ	サヤ管 22φ
給湯器		樹脂管 16φ	サヤ管 28φ
ヘッダー・サヤ管工法		樹脂管 主管 16φ	サヤ管 28φ
給湯管	洗面器、キッチン系統	樹脂管 13φ	サヤ管 22φ
	ユニットバス系統	樹脂管 13φ	サヤ管 22φ

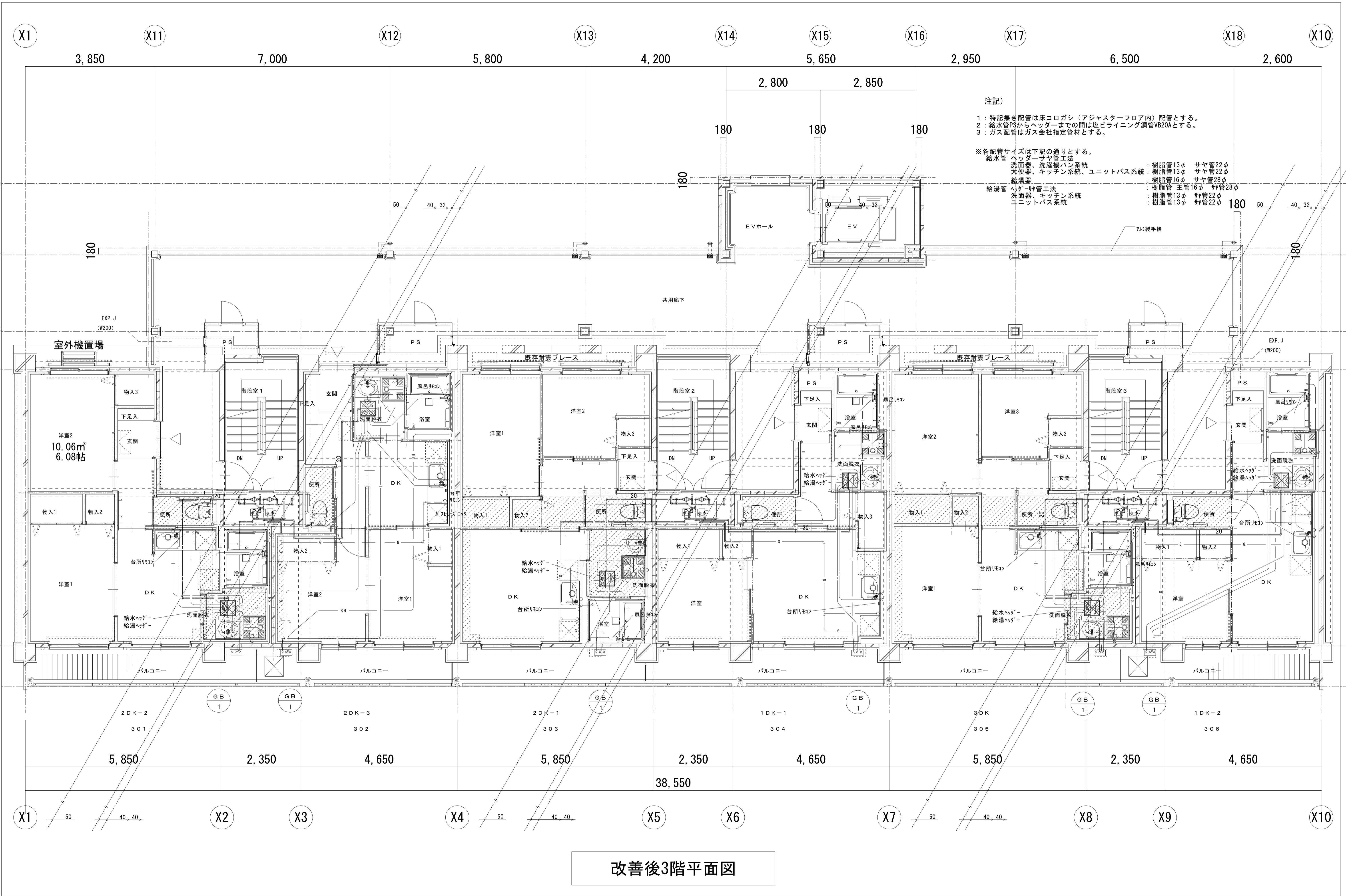
駐輪場 1



注記)  
 1: 特記無き配管は床コロガシ (アジャスターフロア内) 配管とする。  
 2: 給水管PSからヘッダーまでの間は塩ビラインング鋼管VB20Aとする。  
 3: ガス配管はガス会社指定管材とする。

※各配管サイズは下記の通りとする。  
 給水管  
 ヘッダー-サヤ管工法 : 樹脂管13φ サヤ管22φ  
 洗面器、洗濯機・バス系統 : 樹脂管13φ サヤ管22φ  
 大便器、キッチン系統、ユニットバス系統 : 樹脂管16φ サヤ管28φ  
 給湯器 : 樹脂管16φ サヤ管28φ  
 給湯管  
 ヘッダー-サヤ管工法 : 樹脂管 主管16φ サヤ管28φ  
 洗面器、キッチン系統 : 樹脂管13φ サヤ管22φ  
 ユニットバス系統 : 樹脂管13φ サヤ管22φ

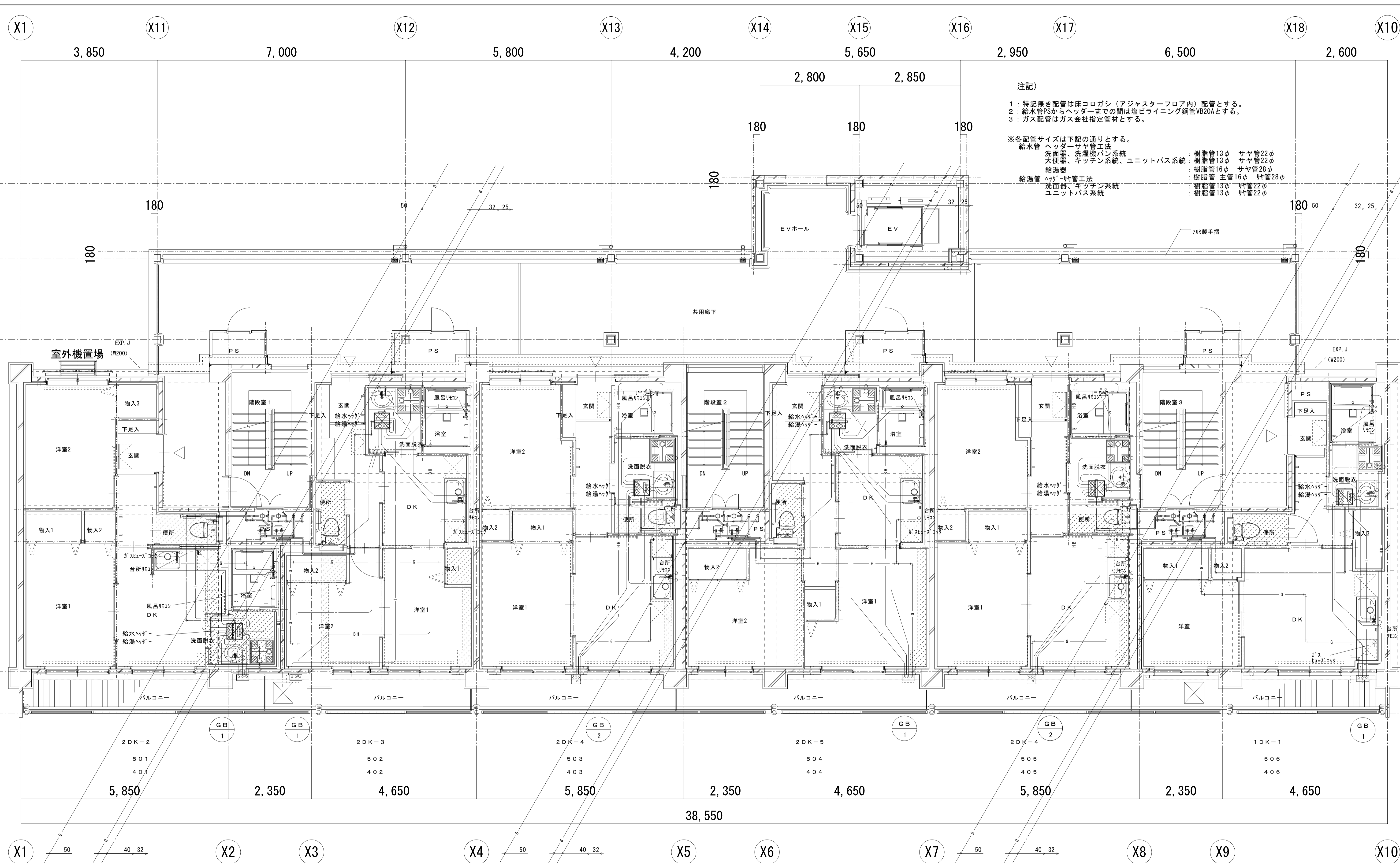
改善後2階平面図



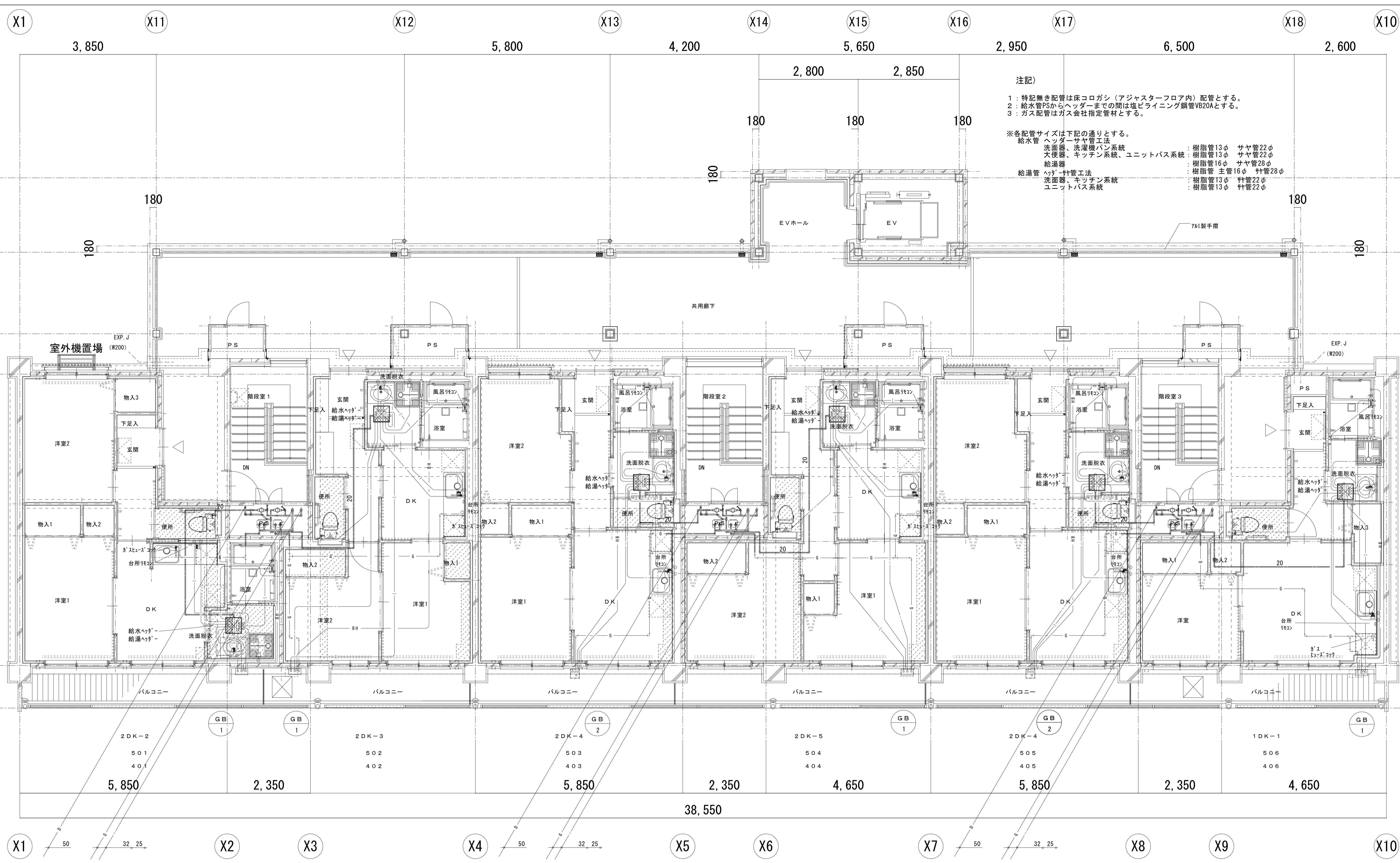
注記)  
 1: 特記無き配管は床コロガシ (アジャスターフロア内) 配管とする。  
 2: 給水管PSからヘッダーまでの間は塩ビライニング鋼管VB20Aとする。  
 3: ガス配管はガス会社指定管材とする。

※各配管サイズは下記の通りとする。  
 給水管 ヘッダーサヤ管工法 : 樹脂管13φ サヤ管22φ  
 洗面器、洗濯機パン系統 : 樹脂管13φ サヤ管22φ  
 大便器、キッチン系統、ユニットバス系統 : 樹脂管16φ サヤ管28φ  
 給湯器 : 樹脂管16φ サヤ管28φ  
 給湯管 ヘッダーサヤ管工法 : 樹脂管 主管16φ サヤ管28φ  
 洗面器、キッチン系統 : 樹脂管13φ サヤ管22φ  
 ユニットバス系統 : 樹脂管13φ サヤ管22φ

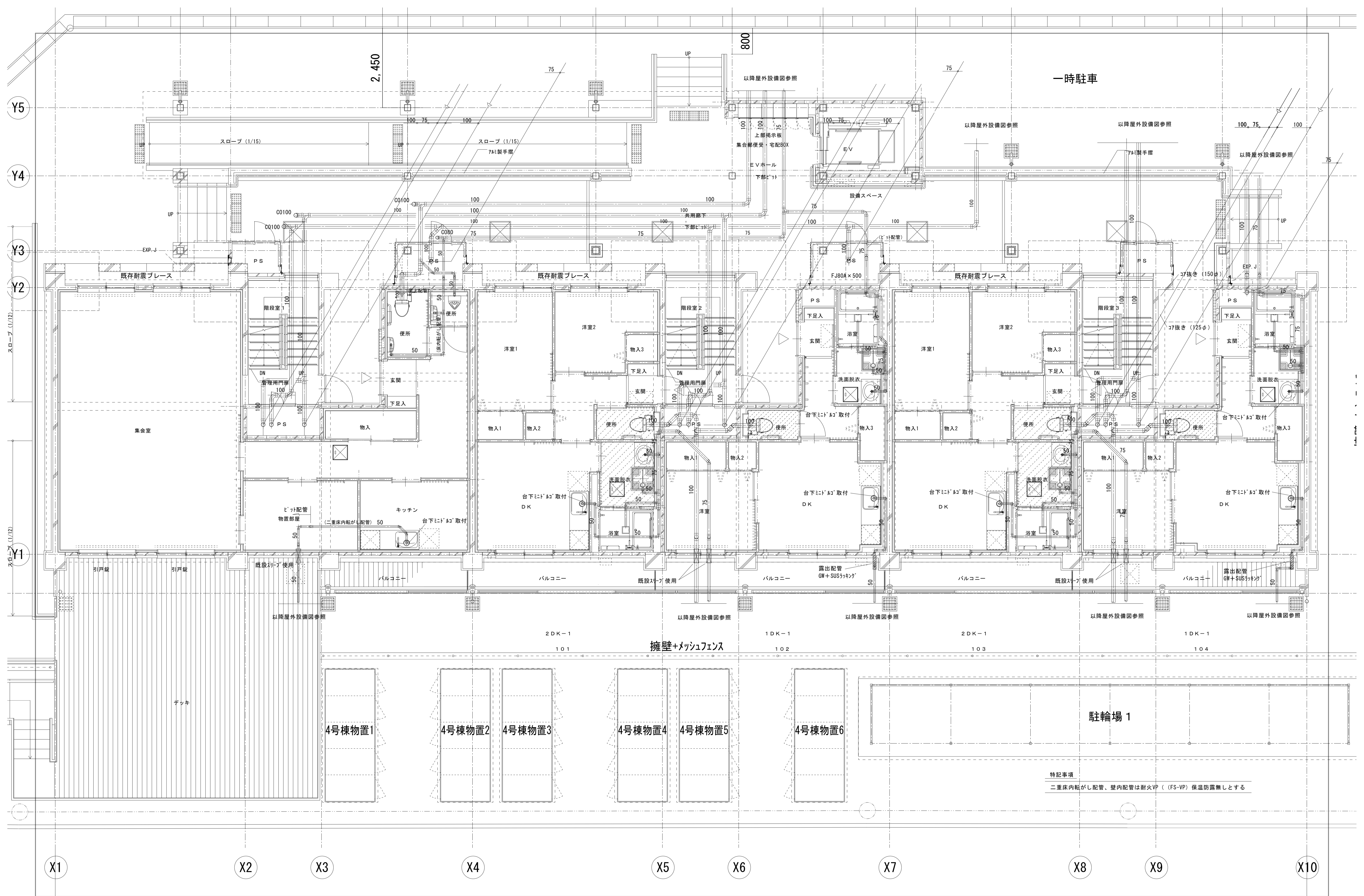
改善後3階平面図



改善後4階平面図

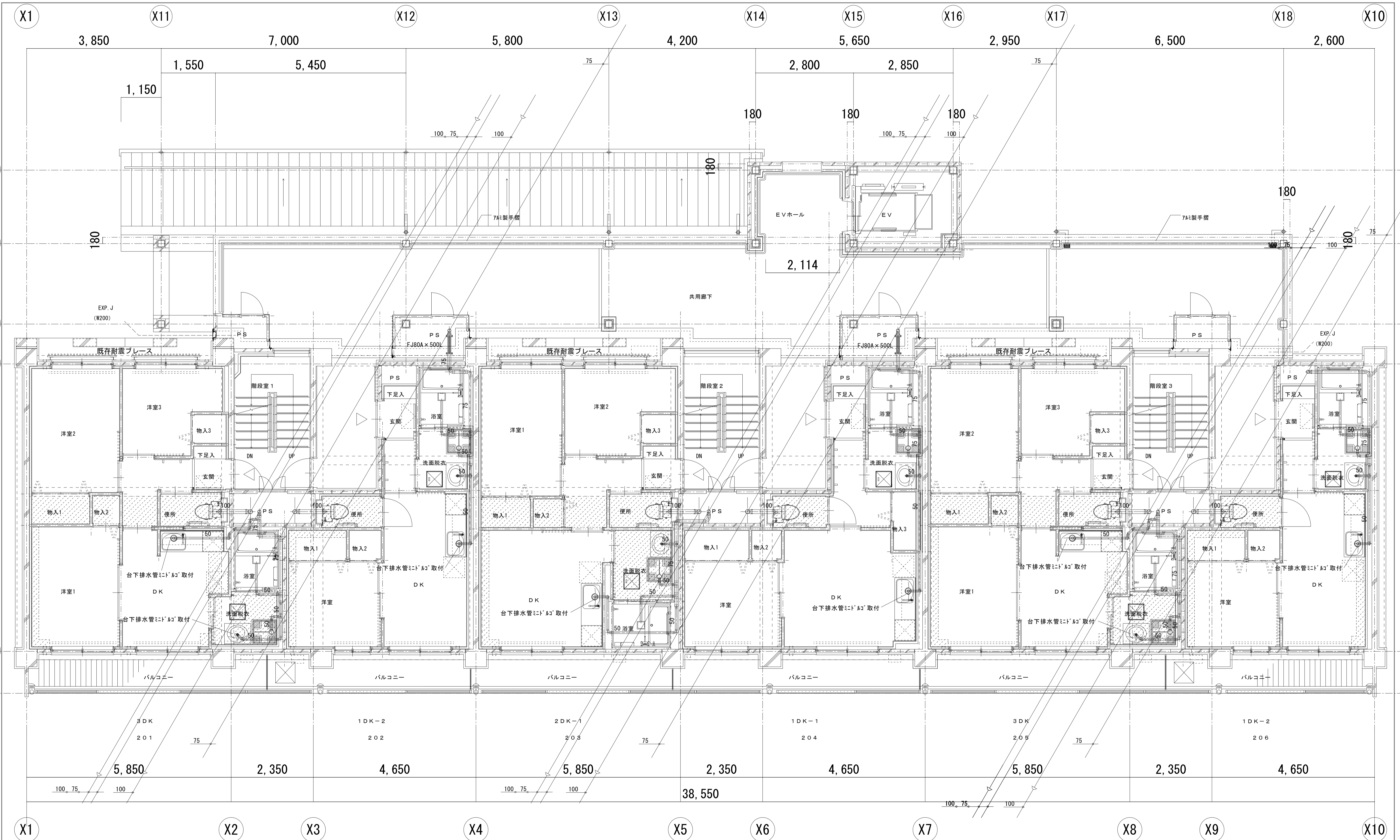


改善後5階平面図



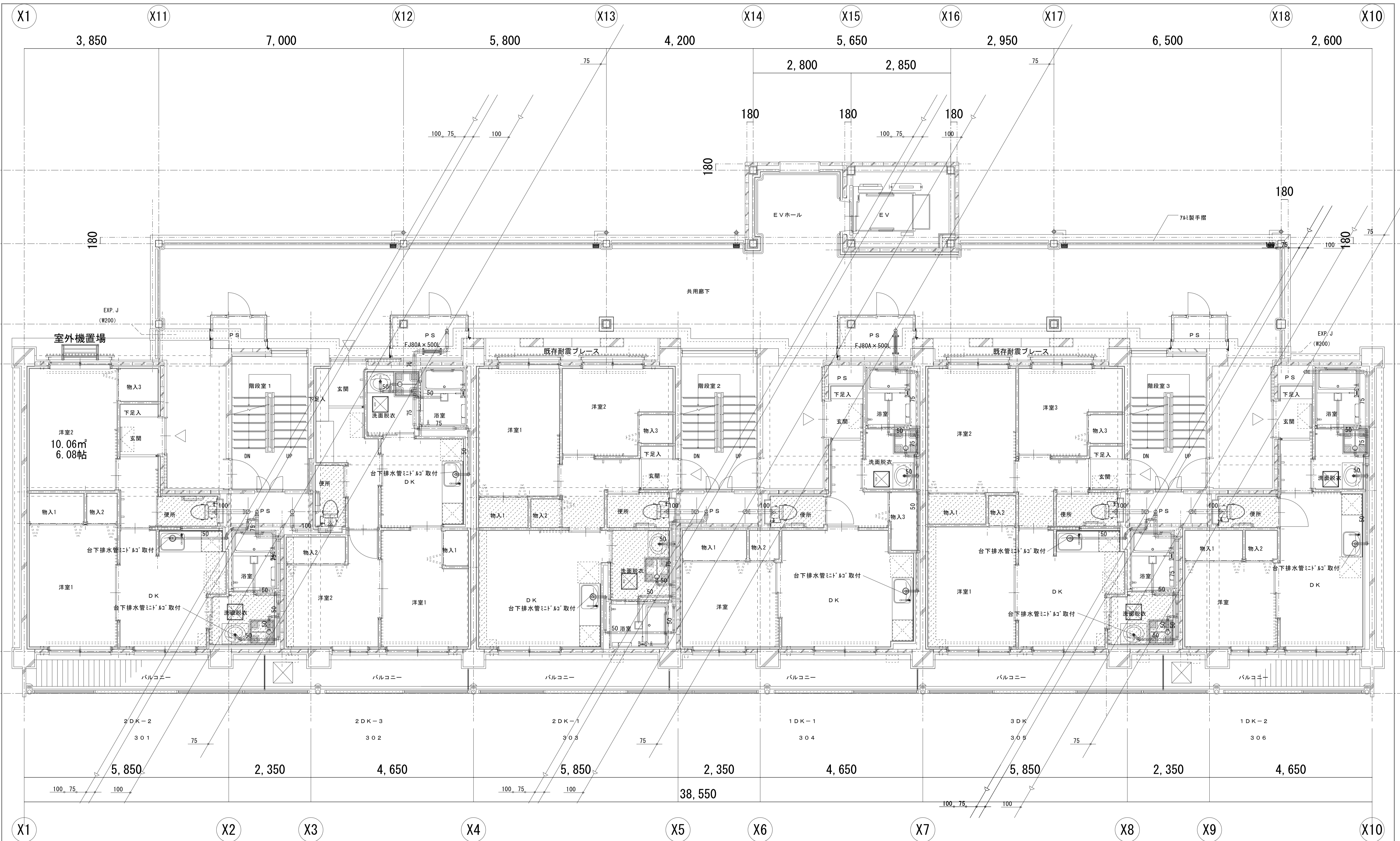
特記事項  
 二重床内転がし配管、壁内配管は耐火VP (F5-VP) 保温防露無しとする





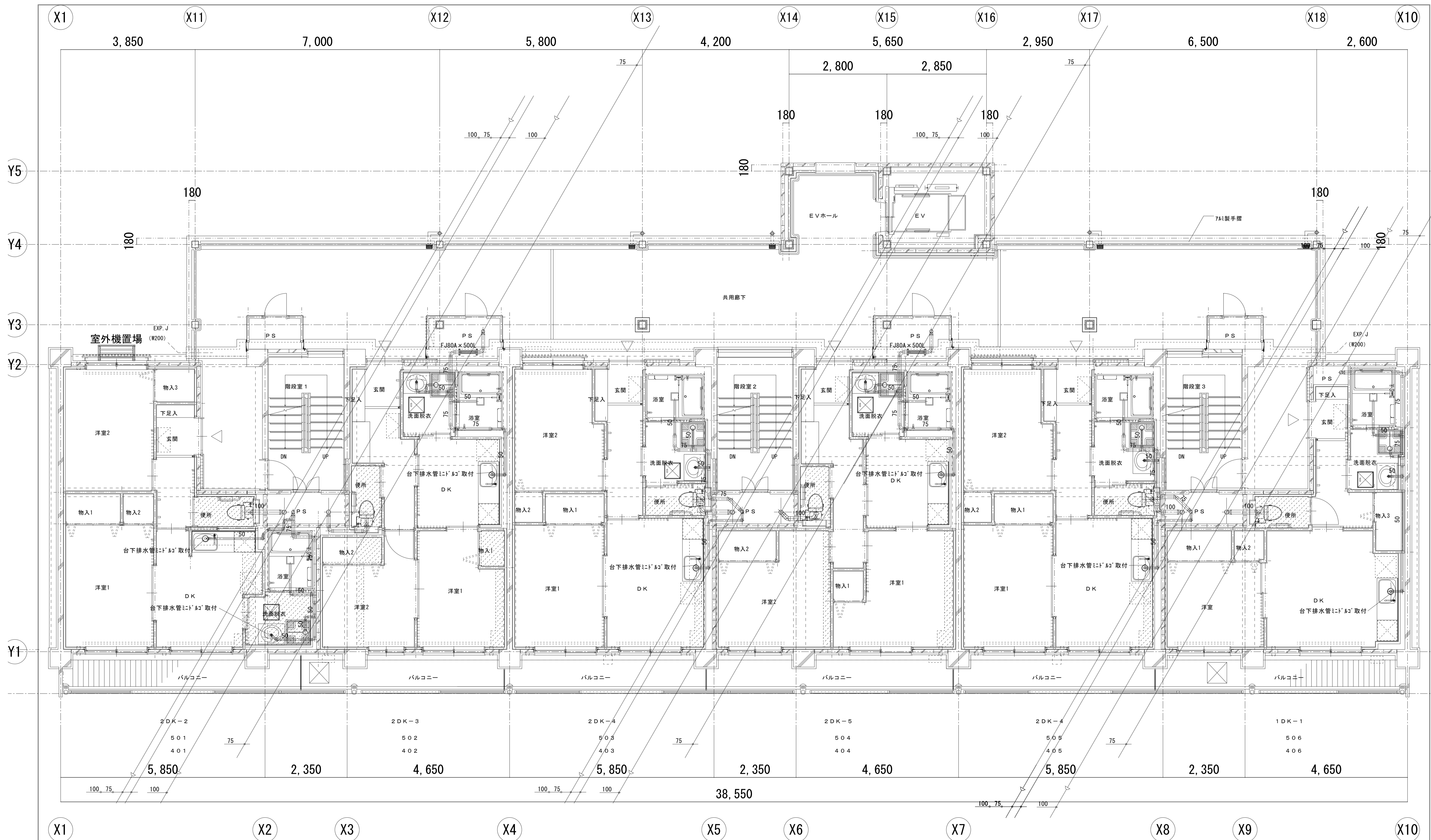
改善後2階平面図

特記事項  
 二重床内転がし配管、壁内配管は耐火VP（FS-VP）保温防露無しとする



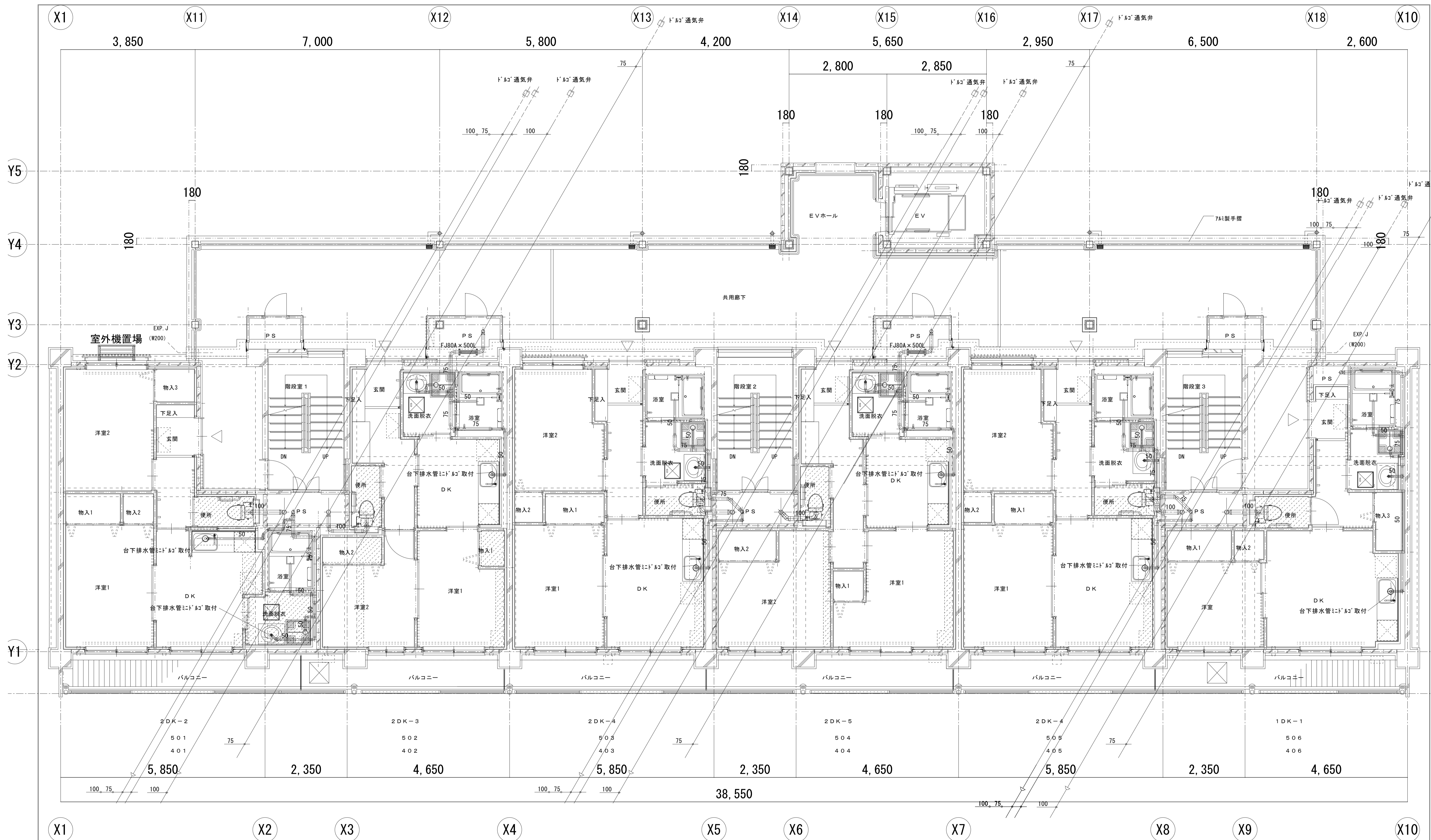
改善後3階平面図

特記事項  
 二重床内転がし配管、壁内配管は耐火VP（FS-VP）保温防露無しとする



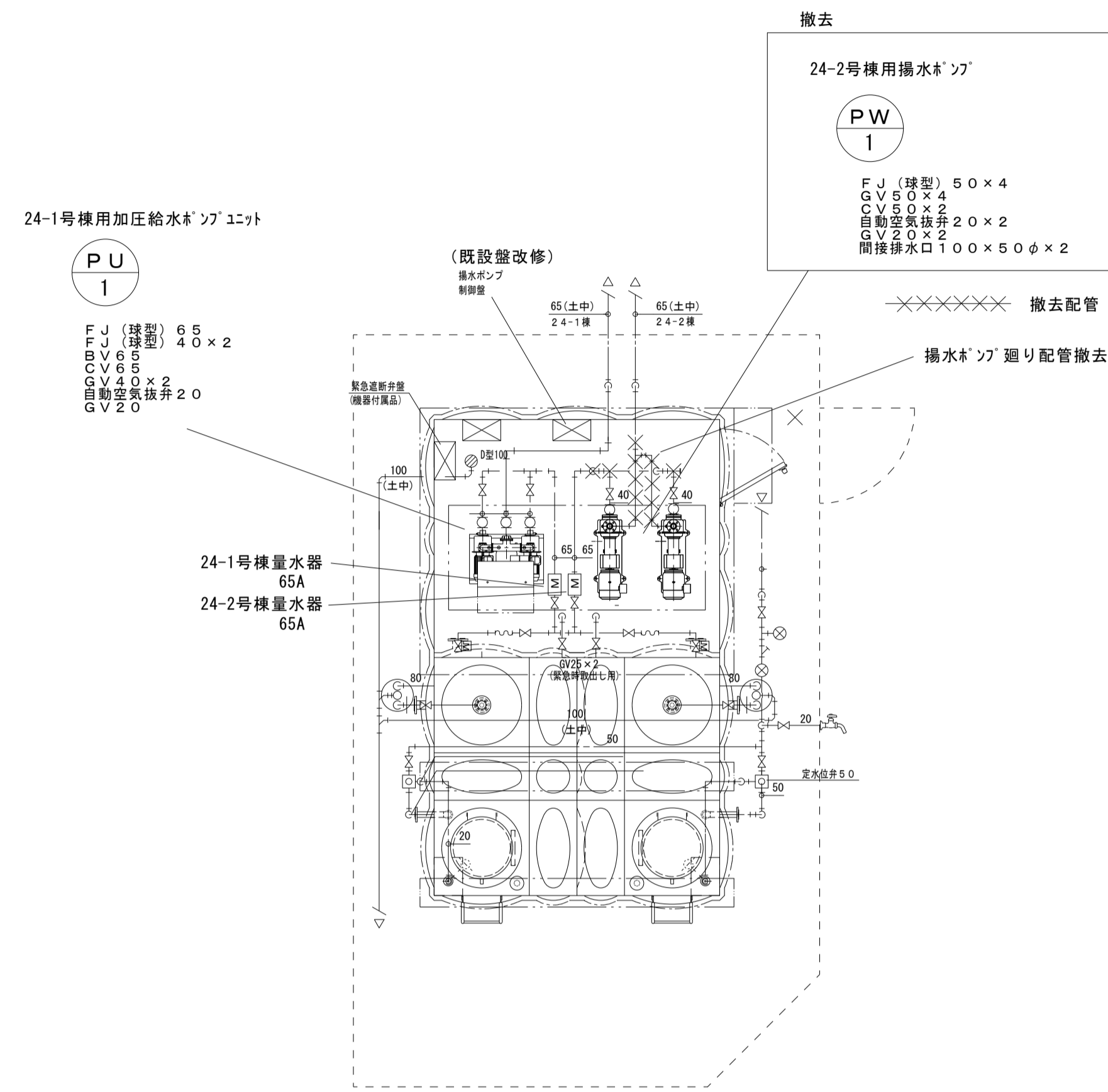
改善後4階平面図

特記事項  
 二重床内転がし配管、壁内配管は耐火VP（FS-VP）保温防露無しとする

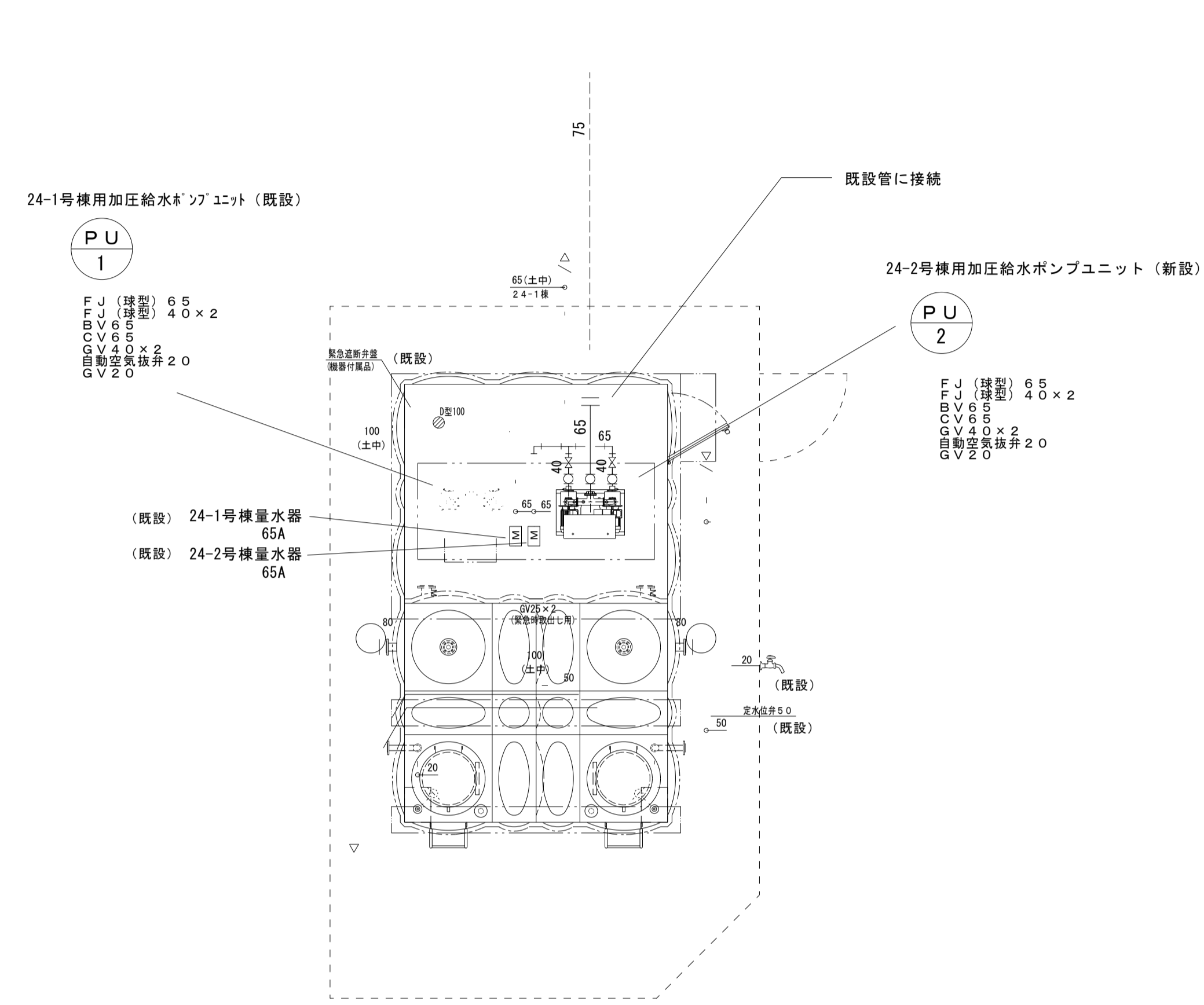


改善後5階平面図

特記事項  
 二重床内転がし配管、壁内配管は耐火VP（FS-VP）保温防露無しとする



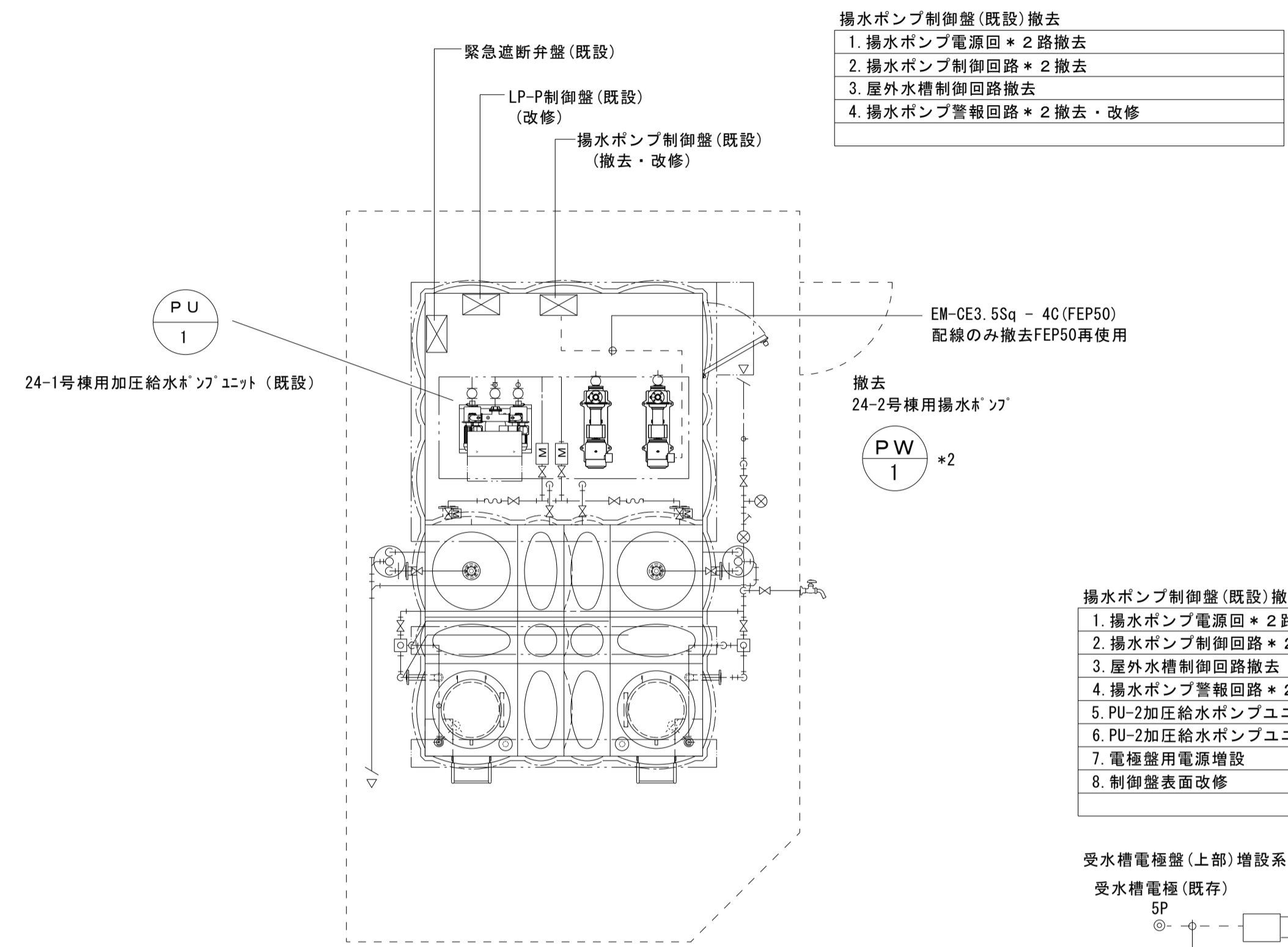
既設受水槽、受水槽ポンプ室撤去図



既設受水槽、受水槽ポンプ室改修図

記号	名称	仕様	電気容量		台数	設置場所	備考	
			φ	V kw				
TW-1	受水槽	ステンレス鋼製(バルコナック) 複合板構造 国土交通省仕様 新々新建築基準適合 スロッシング対応 受水槽二層式(中仕受け付) 設置基準1.0G、貯水容量18.75m <sup>3</sup> (有効容量14m <sup>3</sup> ) 寸法: 液槽部 3.0m×2.5m×2.5mH ポンプ室 3.0m×2.5m×2.5mH アルミサッシ扉付き(防炎・シャッター付) 配管: 発生ボリスチレン50mm、アルミラッキング 付属品: 浮動継ぎメッキ手取付、マンホール×2、防鼠網×2、両タラップ×2、片タラップ×2 緊急避難弁100(A×2)、緊急遮断弁制動機(ポンプ停止用)、その他標準付属品	—	—	1	屋外	既設	
PU-1	加圧給水ポンプユニット	標準系組立一式型 2台並列交互運転 国土交通省仕様 4.0/6.5(A×3.3)φ1.1m×3.1m 付属品: 制御盤(受水槽二層式対応) (-設置継ぎ子付:ポンプ故障、受水槽高水、減水、高水等) スプリング防振装置、その他標準付属品	3	200	2.2×2	1	受水槽ポンプ室	既設
PW-1	揚水ポンプ	ナイロンコーティング耐多相流巻掛ポンプ 5.0(A×1.7)φ1.1m×2.5m×3.3kW 付属品: 圧力計、防鼠網、その他標準付属品	3	200	3.7	2	受水槽ポンプ室	既設撤去

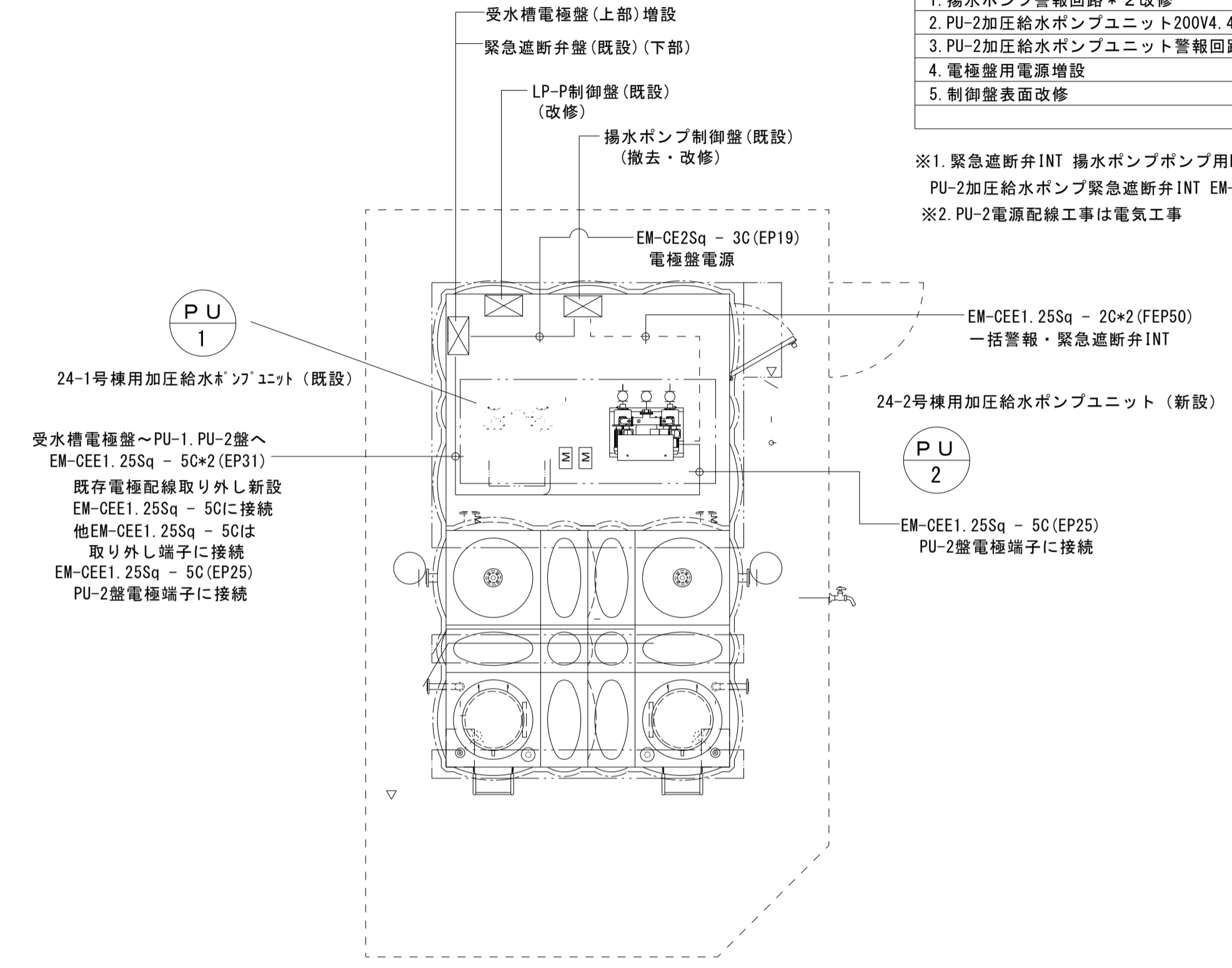
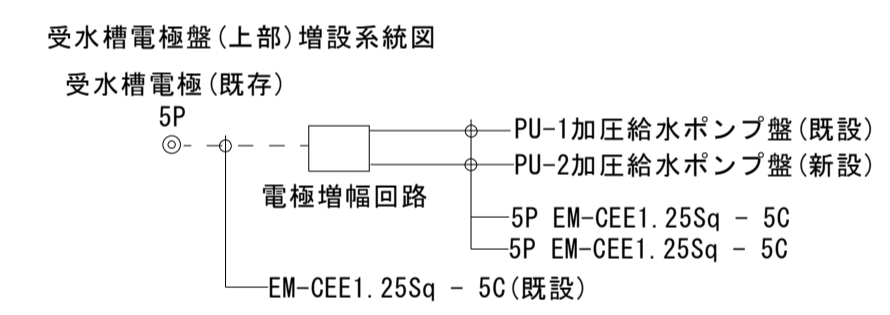
記号	名称	仕様	電気容量		台数	設置場所	備考	
			φ	V kw				
TW-1	受水槽	ステンレス鋼製(バルコナック) 複合板構造 国土交通省仕様 新々新建築基準適合 スロッシング対応 受水槽二層式(中仕受け付) 設置基準1.0G、貯水容量18.75m <sup>3</sup> (有効容量14m <sup>3</sup> ) 寸法: 液槽部 3.0m×2.5m×2.5mH ポンプ室 3.0m×2.5m×2.5mH アルミサッシ扉付き(防炎・シャッター付) 配管: 発生ボリスチレン50mm、アルミラッキング 付属品: 浮動継ぎメッキ手取付、マンホール×2、防鼠網×2、両タラップ×2、片タラップ×2 緊急避難弁100(A×2)、緊急遮断弁制動機(ポンプ停止用)、その他標準付属品	—	—	1	屋外	既設	
PU-1	加圧給水ポンプユニット	標準系組立一式型 2台並列交互運転 国土交通省仕様 4.0/6.5(A×3.3)φ1.1m×3.1m 付属品: 制御盤(受水槽二層式対応) (-設置継ぎ子付:ポンプ故障、受水槽高水、減水、高水等) スプリング防振装置、その他標準付属品	3	200	2.2×2	1	受水槽ポンプ室	既設
PU-2	加圧給水ポンプユニット	標準系組立一式型 2台並列交互運転 国土交通省仕様 4.0/6.5(A×3.3)φ1.1m×3.1m 付属品: 制御盤(受水槽二層式対応) (-設置継ぎ子付:ポンプ故障、受水槽高水、減水、高水等) スプリング防振装置、その他標準付属品	3	200	2.2×2	1	受水槽ポンプ室	新設



既設受水槽. 受水槽ポンプ室撤去図

- 揚水ポンプ制御盤 (既設) 撤去
1. 揚水ポンプ電源回 \* 2 路撤去
  2. 揚水ポンプ制御回路 \* 2 撤去
  3. 屋外水槽制御回路撤去
  4. 揚水ポンプ警報回路 \* 2 撤去・改修

- 揚水ポンプ制御盤 (既設) 撤去・改修一覧
1. 揚水ポンプ電源回 \* 2 路撤去
  2. 揚水ポンプ制御回路 \* 2 撤去
  3. 屋外水槽制御回路撤去
  4. 揚水ポンプ警報回路 \* 2 撤去・改修
  5. PU-2加圧給水ポンプユニット200V4.4KW電源回路増設
  6. PU-2加圧給水ポンプユニット警報回路改修
  7. 電極盤用電源増設
  8. 制御盤表面改修

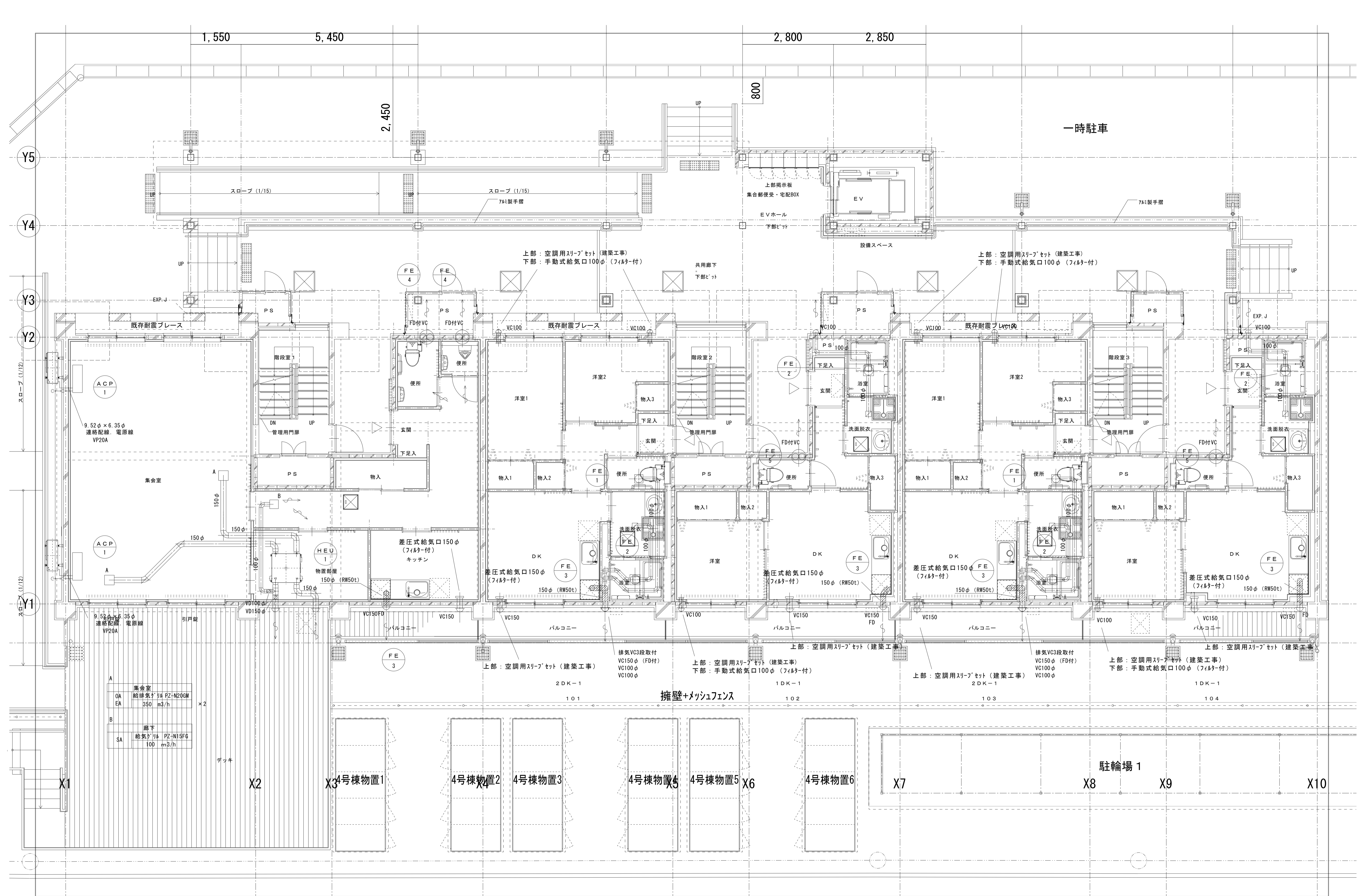


既設受水槽. 受水槽ポンプ室改修図

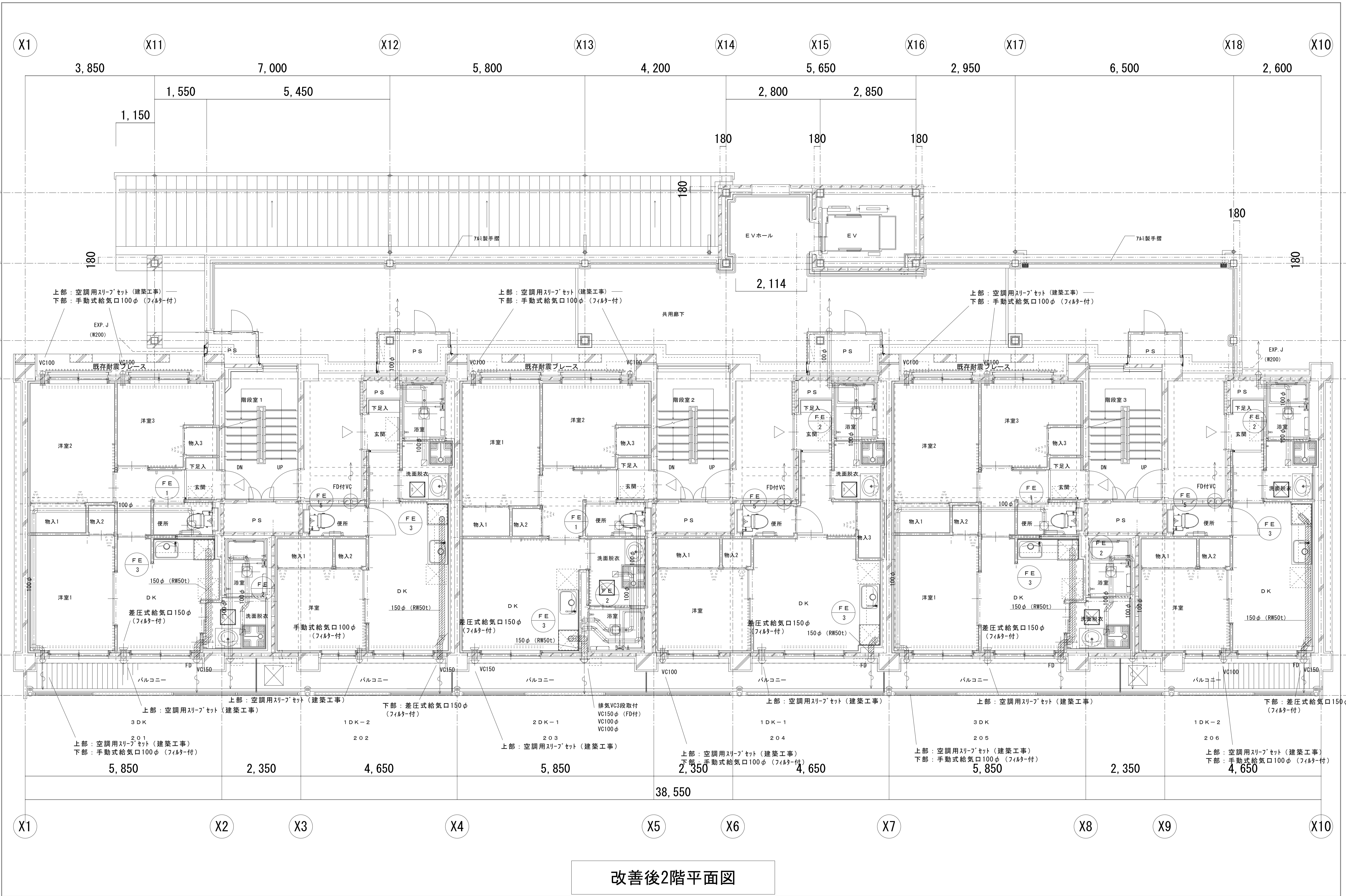
- 揚水ポンプ制御盤 (既設) 改修
1. 揚水ポンプ警報回路 \* 2 改修
  2. PU-2加圧給水ポンプユニット200V4.4KW電源回路増設
  3. PU-2加圧給水ポンプユニット警報回路改修
  4. 電極盤用電源増設
  5. 制御盤表面改修

※1. 緊急遮断弁INT 揚水ポンプ用EM-CEE1.25Sq - 2CをPU-2加圧給水ポンプ緊急遮断弁INT EM-CEE1.25Sq - 2Cに接続  
 ※2. PU-2電源配線工事は電気工事

受水槽電極盤~PU-1, PU-2盤へ  
 EM-CEE1.25Sq - 5C\*2 (EP31)  
 既存電極配線取り外し新設  
 EM-CEE1.25Sq - 5Cに接続  
 他EM-CEE1.25Sq - 5Cは  
 取り外し端子に接続  
 EM-CEE1.25Sq - 5C (EP25)  
 PU-2盤電極端子に接続



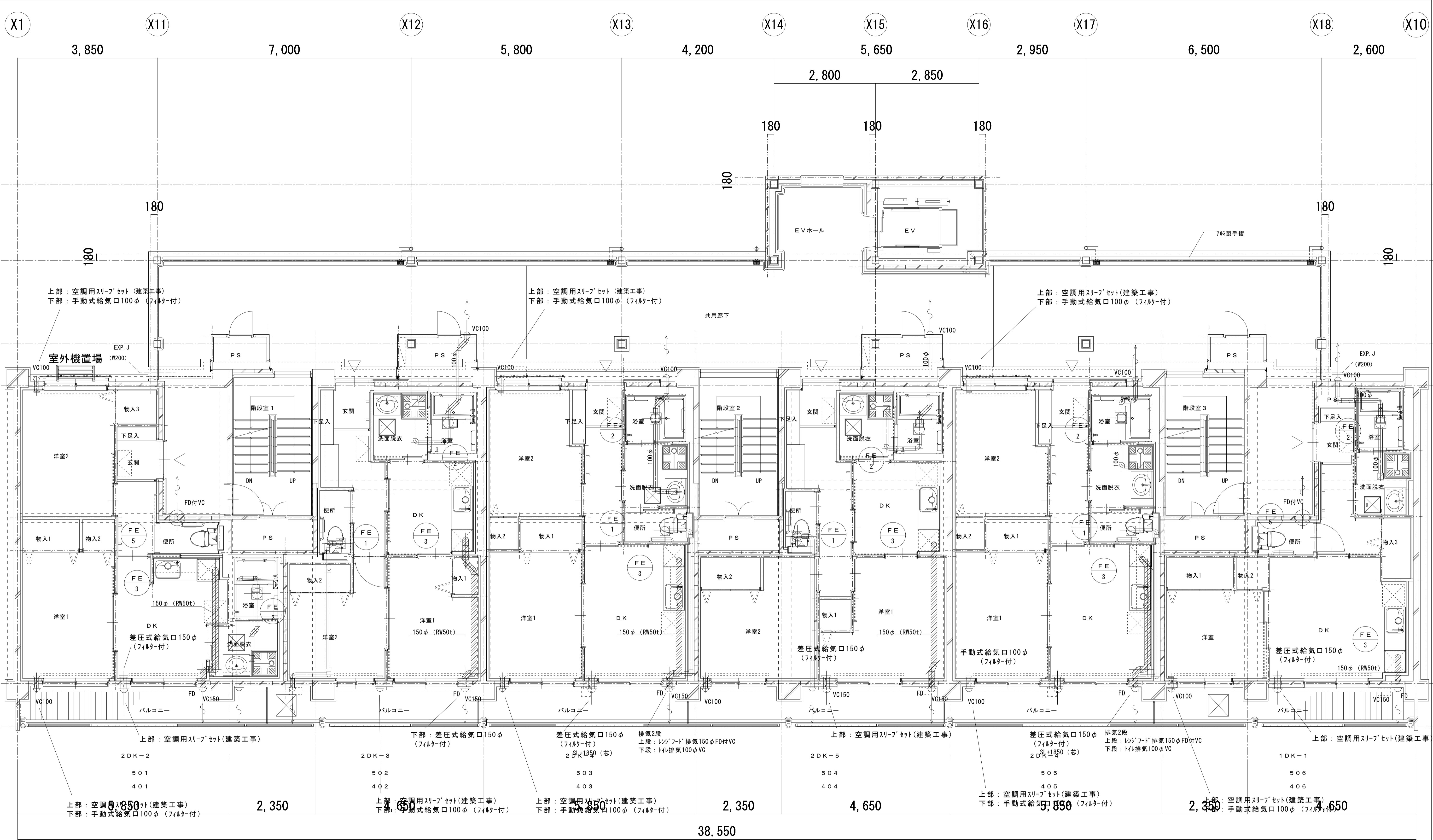
A	集会室
OA	給排気用 PZ-N20GM
EA	350 m <sup>3</sup> /h
× 2	
B	廊下
SA	給気用 PZ-N15FG
	100 m <sup>3</sup> /h



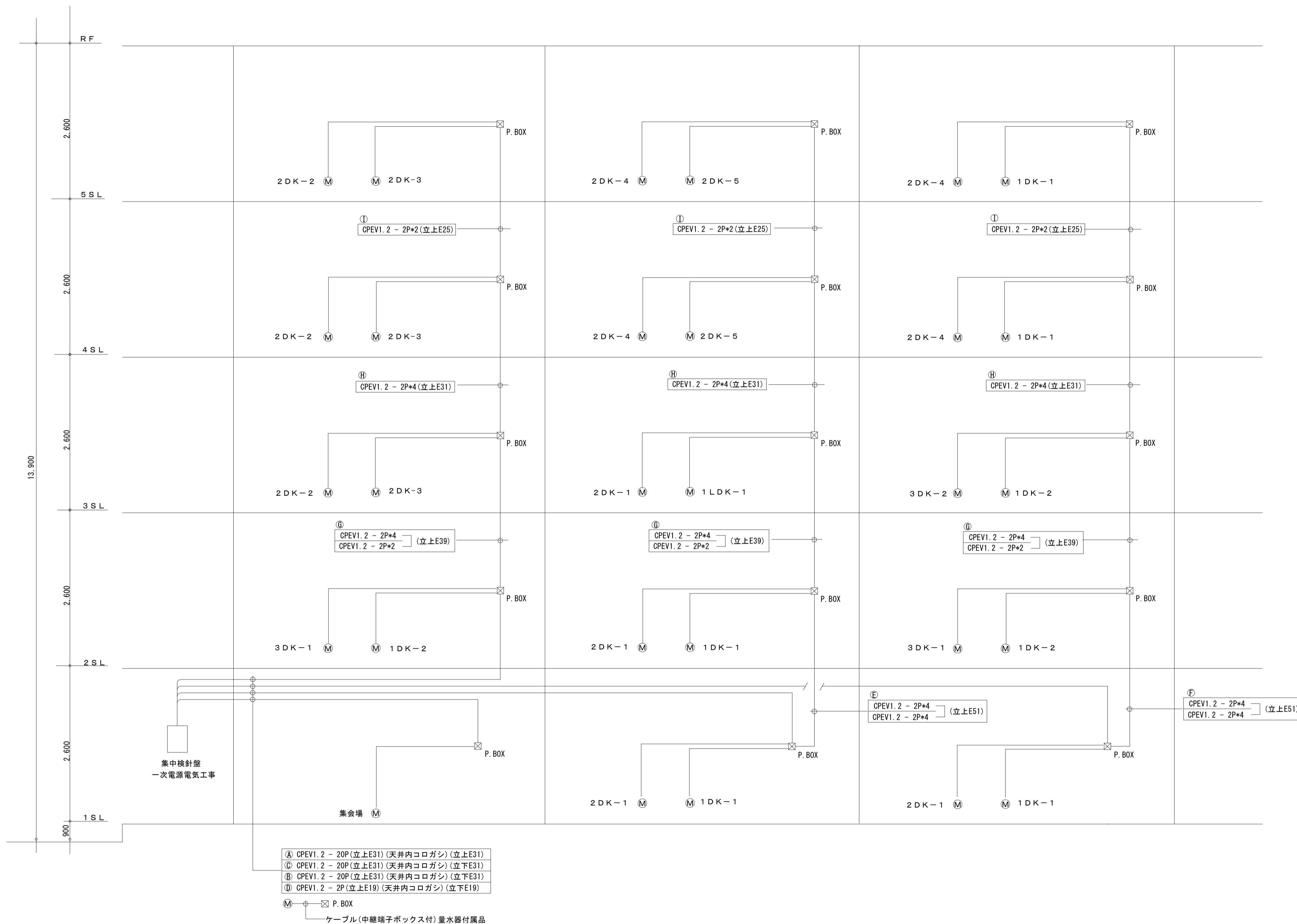
改善後2階平面図

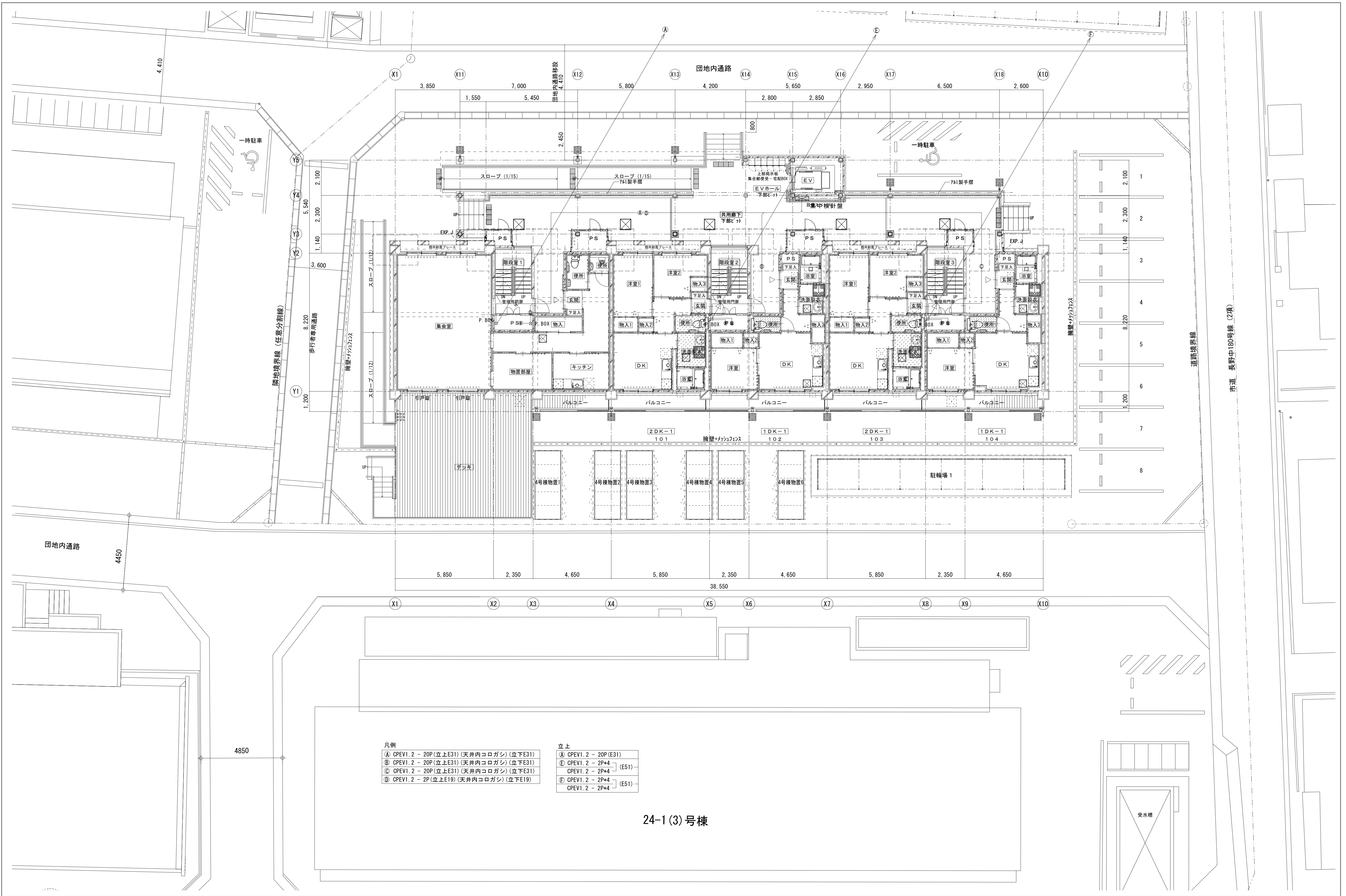






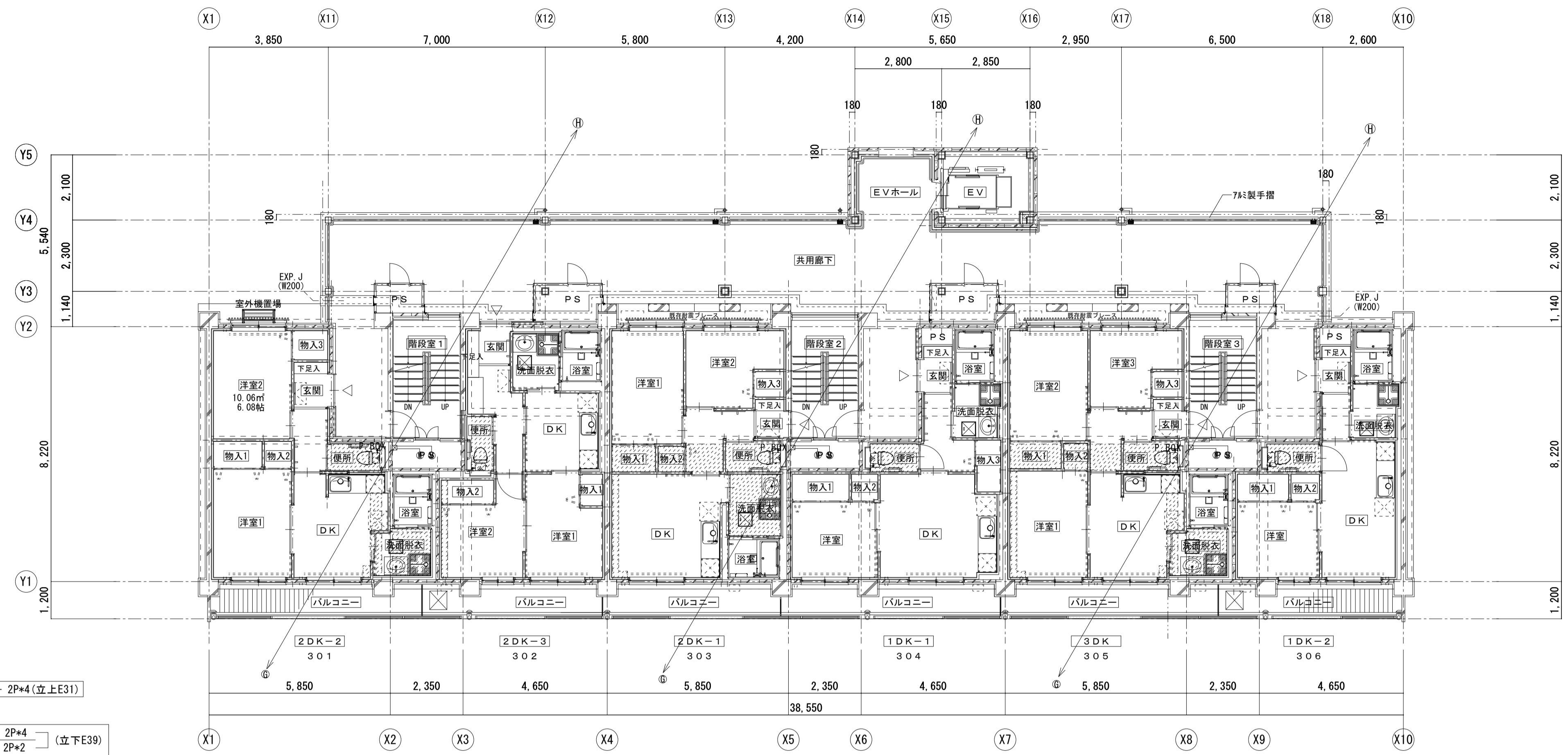
改善後4. 5階平面図





- 凡例
- Ⓐ CPEV1.2 - 20P(立上E31)(天井内コログシ)(立下E31)
  - Ⓑ CPEV1.2 - 20P(立上E31)(天井内コログシ)(立下E31)
  - Ⓒ CPEV1.2 - 20P(立上E31)(天井内コログシ)(立下E31)
  - Ⓓ CPEV1.2 - 2P(立上E19)(天井内コログシ)(立下E19)
- 立上
- Ⓐ CPEV1.2 - 20P(E31)
  - Ⓑ CPEV1.2 - 2P\*4 (E51)
  - Ⓒ CPEV1.2 - 2P\*4 (E51)
  - Ⓓ CPEV1.2 - 2P\*4 (E51)
  - Ⓔ CPEV1.2 - 2P\*4 (E51)

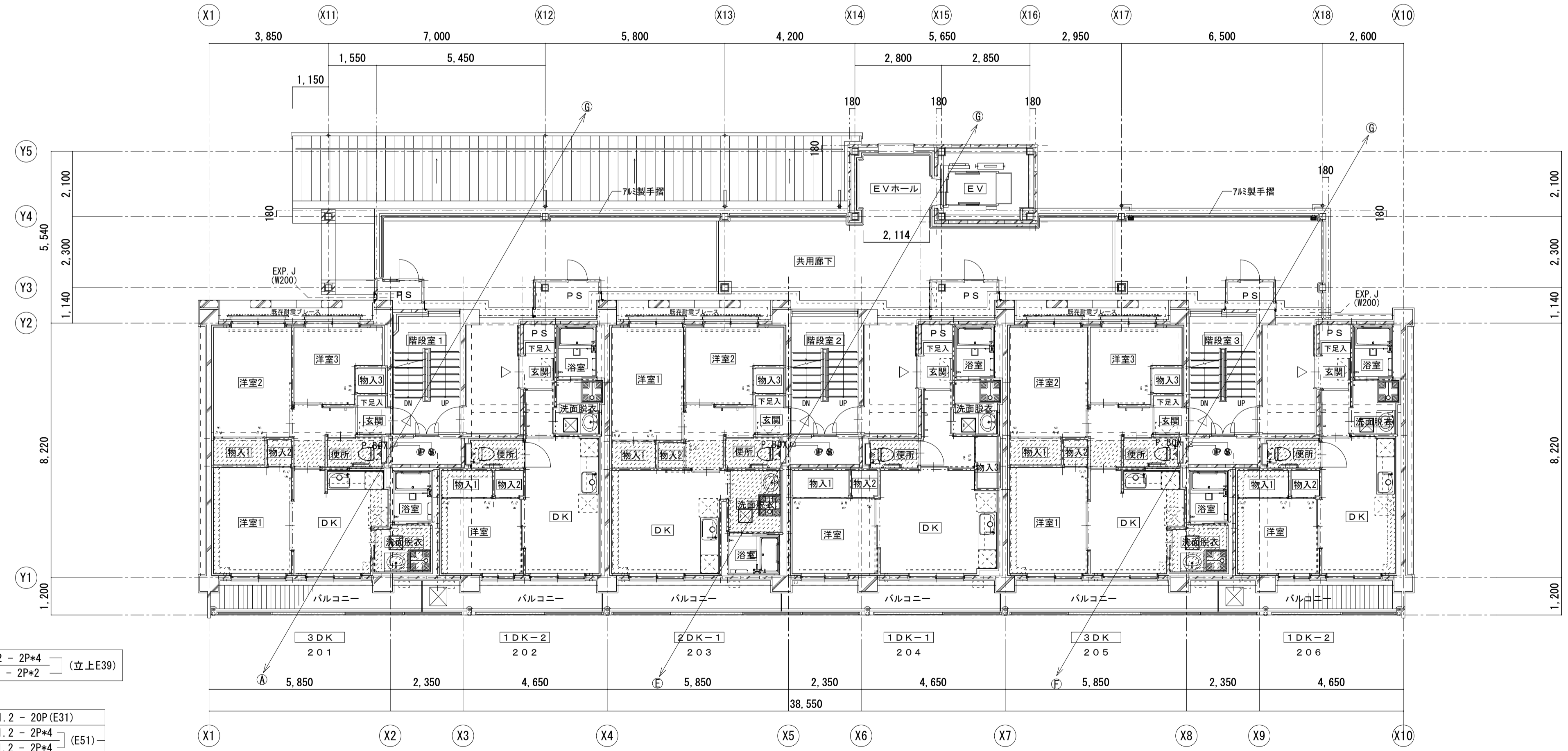
24-1(3)号棟



立上④  
CPEV1.2 - 2P\*4 (立上E31)

立下⑥  
CPEV1.2 - 2P\*4 (立下E39)  
CPEV1.2 - 2P\*2

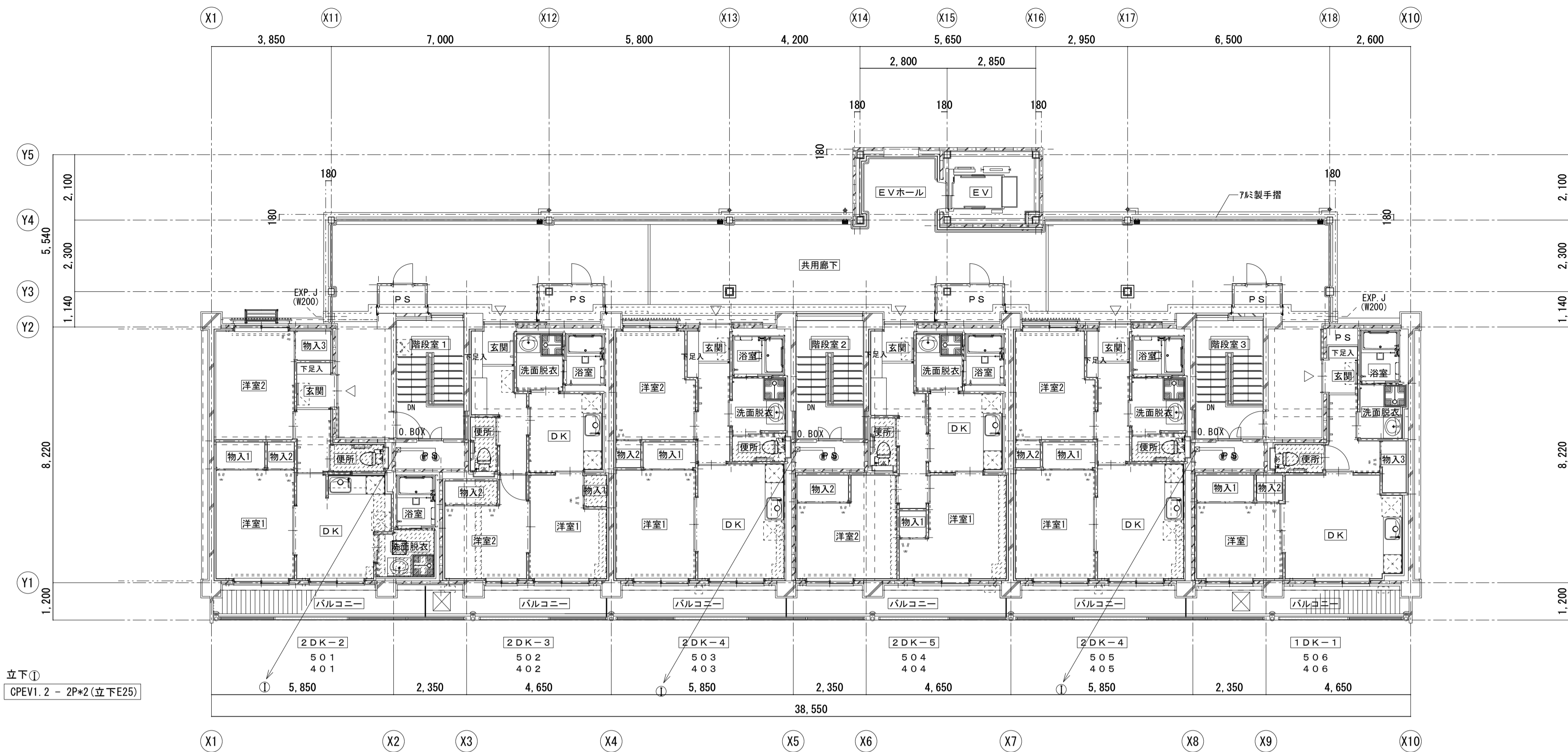
改善後3階平面図



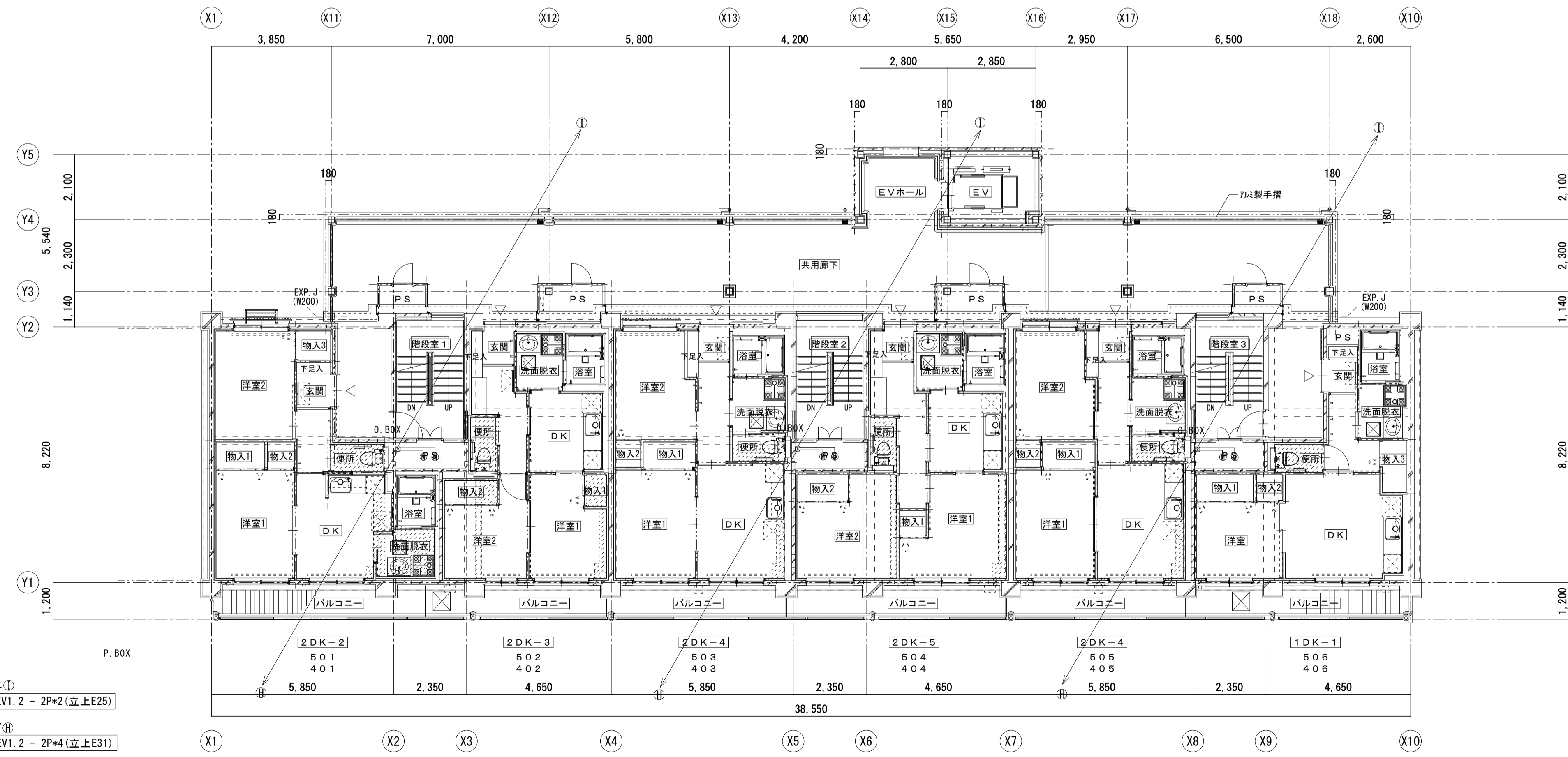
立上⑤  
CPEV1.2 - 2P\*4 (立上E39)  
CPEV1.2 - 2P\*2

立下  
① CPEV1.2 - 20P (E31)  
② CPEV1.2 - 2P\*4 (E51)  
③ CPEV1.2 - 2P\*4 (E51)  
④ CPEV1.2 - 2P\*4 (E51)  
⑤ CPEV1.2 - 2P\*4 (E51)

改善後2階平面図



改善5F平面図



改善後4階平面図

エレベーター仕様			
号機名 (台数)	No. 1 (1台)		
用途 (形式)	乗用 トランク付 車いす仕様		
積載量 (定員)	600 kg (9人)		
速度	45 m/min		
制御方式	交流インバータ制御方式 (回生無)		
操作方式	乗合全自動方式		
停止ヶ所・出入口方向	(1~5FL) 5ヶ所 1方向		
かご内法 (WxDxH)	1050 mm X 1520 mm X 2300 mm		
出入口寸法 (WxH)	800 mm X 2000 mm		
ドア方式	2枚戸片開き (電動式)		
電動機出力	AC-2.7 kW (ギヤレス)		
電源	動力	三相3線 200 V 60 Hz	
	照明	単相 100 V 60 Hz	
管制運転	地震時	有 (P波+S波感知器 (3段検知) リスタート機能付)	
	火災時	有	
	自家発時	無	
	浸水時/冠水時	有 全自動形 (ビット冠水時 (指定階))	
停電時自動着床装置	有		
耐震クラス	A14		
かご内連絡装置	2.4V同時通話インターホン		
基本仕様 及び 標準装備仕様	ローラーガイド (かご、おもり) 照明・換気装置自動休止機能 2D多光軸 (マルチビーム) ドアセフティ 反転時呼び一括キャンセル機能 戸開放時間自動設定 先行階取消し機能 気配リアナウンス機能 (非常時4ヶ国語対応) イオン発生装置 故障時最寄階自動着床運転 しきい開きまめレス 広角ミラー付操作盤		
乗場仕様	三方枠	全階 大枠・全傾斜 鋼板製単色塗装仕上	
	ドア	全階 鋼板製単色塗装仕上	
		防犯窓	全階 網入ガラス (t6.8) (JIS R3204) とフロートガラス (t3.0) (JIS R3202) を合わせたもの・[ドア面と面-]
		遮煙	全階 有
	敷居	全階 硬質アルミ製	
	乗場	ボタン 全階 抗菌凸字印ボタン (SIAA認証)	
インジケータ	全階 デジタル階床表示式		
ボタン	フェースプレート 全階 板曲げ ステンレス製ヘアライン仕上 (一部樹脂製)		
かし仕様	天井照明	[STD-11] アルミフレーム導光板LED照明	
	換気装置	ファン	
	リターンパネル	ステンレス製ヘアライン仕上	
	出入口柱	ステンレス製ヘアライン仕上	
	ドア	化粧鋼板	
		防犯窓	網入ガラス (t6.8) (JIS R3204) とフロートガラス (t3.0) (JIS R3202) を合わせたもの・[ドア面と面-]
	幕板	化粧鋼板	
	側板	化粧鋼板	
	幅木	化粧鋼板	
	床	ビニタイル (t2)	
	敷居	硬質アルミ製	
	操作盤	ボタン	抗菌凸文字ボタン (SIAA認証)
		インジケータ	液晶 (カラーユニバーサルデザイン認証)
フェースプレート		標準 (広角ミラー付) ステンレス製ヘアライン仕上	
特記事項	非常呼びボタンカバー (透明樹脂製) お知らせドアセンサー お知らせドアビーム 磁石式保護マット (分割形、3面、H1800mm) 床マット 床下防食対策 (ステンレス化) 荷籠 (ステンレス製 t1.5、一体形ビス止め、H300mm) 防犯カメラ (記録装置内蔵カメラ (映像信号渡し)、映像確認装置付) 車いす仕様 かご内専用 (主・副) 操作盤 かご内鏡 (ステンレス製鏡面、3分割) 専用乗場ボタン かご側面手摺 (ステンレス製ユニバーサル手摺 (φ38)、2方向) 視覚障害者対策 音声案内装置 (方向、階床、戸閉、管制運転、戸開案内) 点字銘板 (乗場ボタン・かご操作盤に貼付け) 乗場点字注意銘板 警報盤 (壁埋込形、ステンレス製、ブザー・ベル無) 警報回路 高調波対策 トーガード延長		
積込み荷重制限	荷重条件	250kg (4輪台車を使用するものとし、台車の重量を含む)	
		重量物の積込みは、一回当り荷重条件以下で積込み下さい。 ※フォークリフトの使用はできません。	

分類	No.	工事項目	昇降路構造		建築		
			RC	S	建築	電気	設備
昇降路	1	昇降路の築造工事及び躯体・オーバーヘッド・ビット寸法が昇降機承諾図と異なる場合は是正工事 オーバーヘッド: 昇降機承諾図寸法に対し20mm以上低い場合 (ただし、必要寸法を確保のこと) ビット: 昇降機承諾図寸法に対し浅い場合又は30mm以上深い場合 (防水面から確保のこと)	○	○	○		
	2	天井フック又はトローリービーム設置工事 (荷重に対し安全率5を確保のこと) (オーバーヘッド高さが4000mmを超える場合、トローリービーム設置は必須のこと)	○	○	○		
	3	中間ビーム・セパレータビーム設置・インサート埋め込み工事	○	○	○		
	4	ガイドレール支持用ファスナー及び立柱設置・インサート埋め込み工事	○	○	○		
	5	溶接レスの場合のガイドレール支持用ファスナー及び立柱・三方枠取付用アングルへの穴加工	○	○	○		
	6	フェッシャプレート取付材設置工事 (フェッシャプレート本体は昇降機工事)		○	○		
	7	昇降路内鉄骨材の耐火処理工事		○	○		
	8	ビット内防水工事	○	○	○		
	9	ビット下を使用する場合の建築躯体処置工事	○	○	○		
	10	併設されたエレベーターのビットに段差がある場合の間仕切り工事	○	○	○		
	11	急行ゾーンがある場合の昇降路救出口設置工事	○	○	○		
	12	昇降路内建築工事仮設床用 (水平養生) の金網、デッキプレート等の撤去工事	○	○	○		
	13	昇降機承諾図に記載のない突出物や不要物の撤去切断等工事	○	○	○		
	14	昇降路内温度が40°Cを超える場合の換気設備工事又は空調設備工事	○	○			○
乗場	1	乗場出入口の敷居取付用欠き込み・敷居受け持ち出し工事及び敷居取付後のモルタル充填工事	○	○	○		
	2	乗場出入口壁穴あけ・乗場出入口用品取付材設置工事及びインサート埋め込み工事 (三方枠・バックアングル・ドア・扉扉・押しボタン・インジケータ・モニター等)	○	○	○		
	3	乗場出入口用品取付後の壁並びに床・天井等の仕上工事	○	○	○		
	4	三方枠・インジケータ等と壁間のモルタル又はロックウール充填工事	○	○	○		
	5	三方枠・インジケータ等と壁間の寒ざねによる隙間塞ぎ工事	○	○	○		○
	6	開放廊下及び屋上等直接外気と接する乗場における雨水対策工事 (排水溝・水勾配・庇等)	○	○	○		
電気	1	昇降路頂部の煙感知器設備の設置工事 (外部より点検可能な点検口の設置を含む)	○	○			○
	2	昇降路内配管工事に伴う区画貫通部の耐火処理工事 (昇降機工事による押しボタン・警報盤等の配線工事は除く)	○	○			○
	3	昇降路内受電端子までの動力用電源・照明用電源・接地線の引込・立上工事及び一次側端子への接続工事	○	○			○
	4	昇降路内受電端子までのインターホン・その他機器の配管配線工事並びに引込・立上工事 (放送・遠隔監視・防犯カメラ・故障信号・非常呼信号・火災信号・セキュリティ運動信号・監視盤等)	○	○			○
	5	遮煙のりばドア適用時の建屋火災信号の供給	○	○			○
	6	ビット内点検用コンセントの設置工事 (単独回路)	○	○			○
その他	1	エレベーター工事着工前までの各階出入口開口部の養生作業	○	○	○		
	2	エレベーター工事着工後の昇降路内への浸水防止工事、出入口先行着工時の止水工事	○	○	○		
	3	居室側防音及び防振工事	○	○	○		
	4	搬入用仮設開口及び搬入経路の段差解消・搬入後の復旧工事	○	○	○		
	5	エレベーターを工事用として使用する場合の各種養生手配及び設置工事	○	○	○		
	6	その他建築・電気・設備に関する工事	○	○	○	○	○

電源設備		
号機名		No. 1
電源設備容量	動力	200 V 3 kVA
	照明	100 V 1.5 kVA
最大電流	18.7 A	
動力線サイズ (mm <sup>2</sup> )	5.5	8 14
最大引込み距離 (m)	87	134 234
建屋側MCCB	20 A	
接地線最小サイズ	2 mm <sup>2</sup>	
インターホン用配線	φ 0.9 × 10 本	
電話用配管・配線	φ 19 配管・電話線 1 P	
ビットコンセント容量	1 kVA/台	
火災管制用配管・配線	HPφ1.2x1P	

**【エレベーター遠隔監視メンテナンス】**  
 ※ このエレベーターは、遠隔監視メンテナンス契約可能対応機種です。  
 ※ 遠隔監視メンテナンスでは、エレベーターの遠隔診断・遠隔監視が可能です。  
 ※ 上記サービスに必要な機器は、保守会社との遠隔監視メンテナンス契約時に貸与されます。

No. 1		
遮煙のりばドア (Smokeproof)		
適用階	1~5FL	認定番号 CAS-1072 (1)

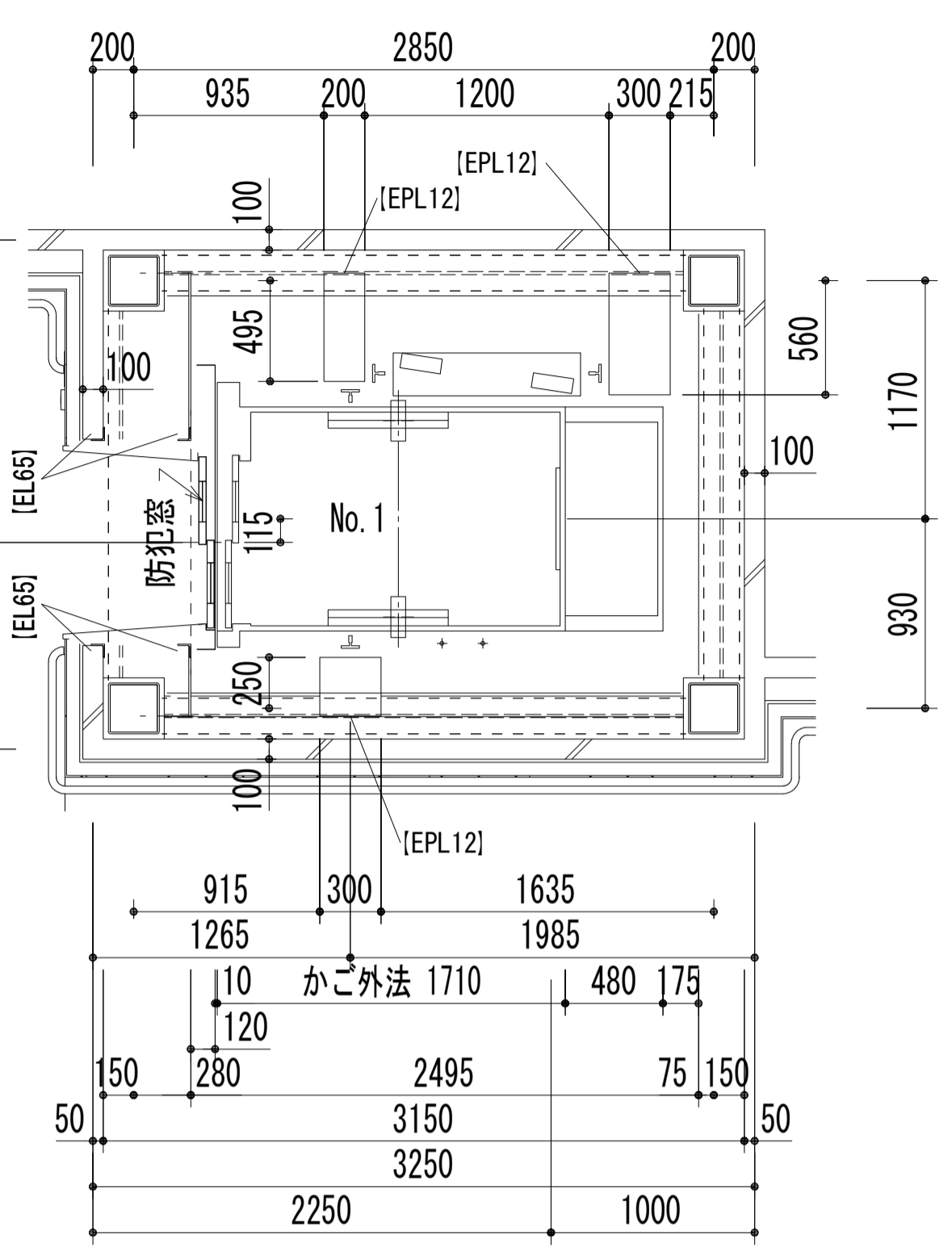
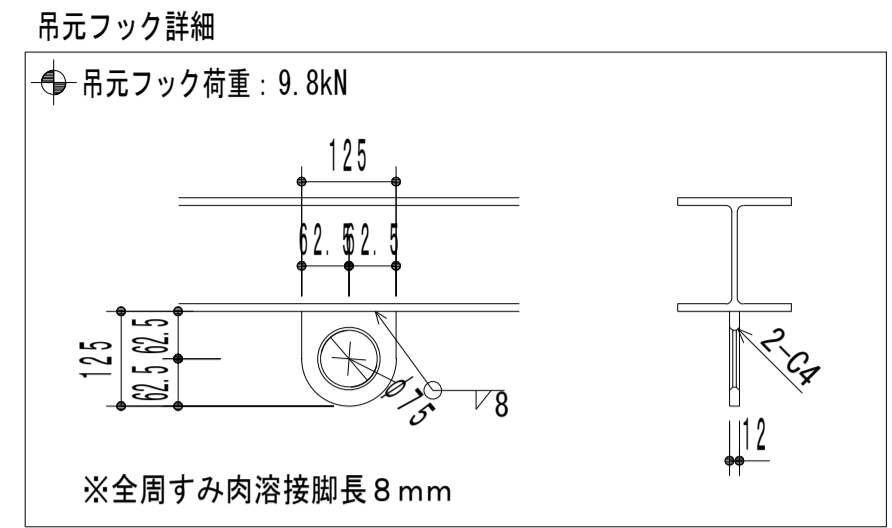
**煙感知器詳細**

施設設置付点検扉  
 1.5mm以上の鋼板製（電気工事）  
 リミットスイッチ付（エレベーター工事）

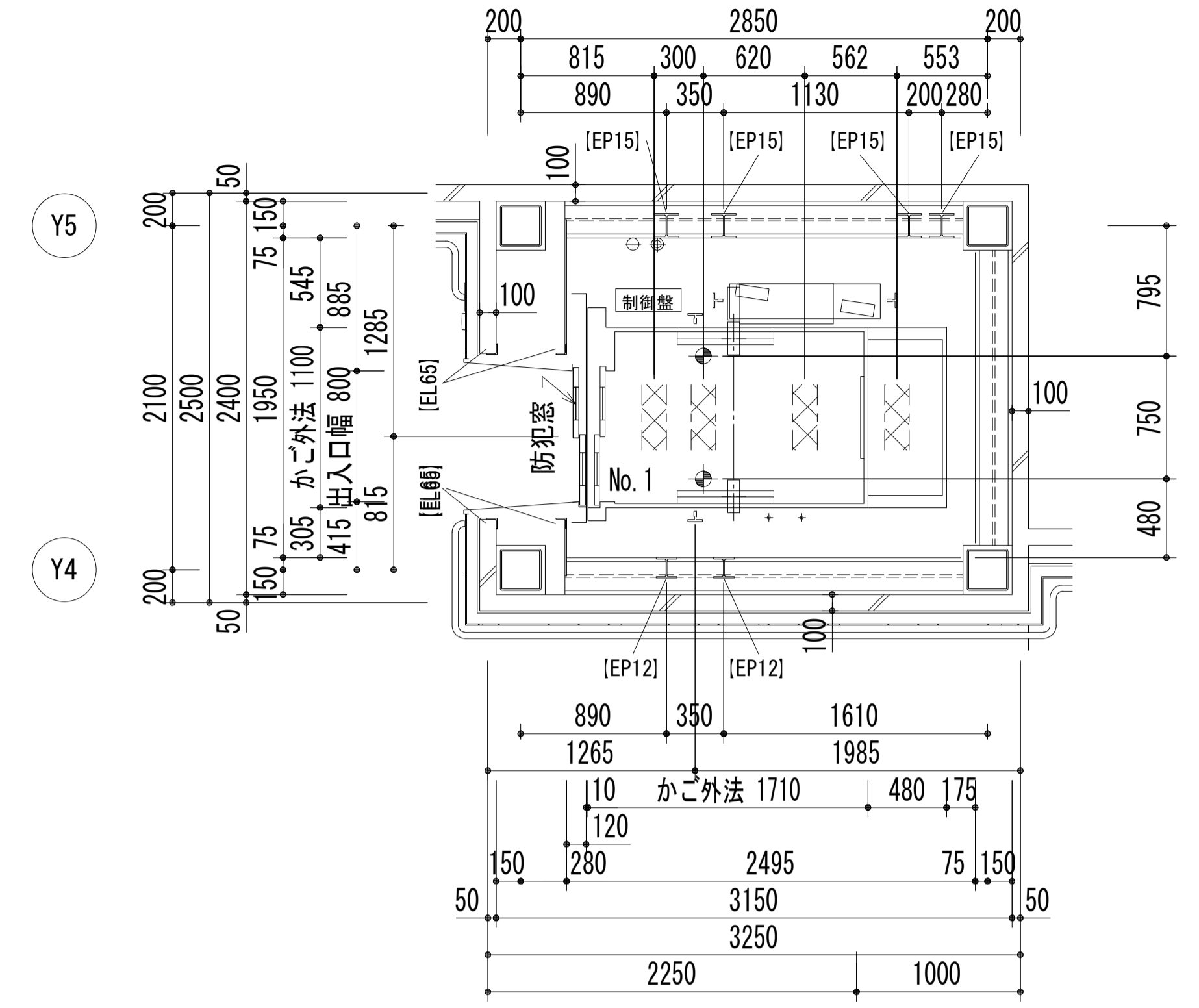
昇降路頂部に煙感知器を設置する場合は外部に引き出した状態で点検可能な構造とする。  
 屋外の場合は、防水形点検扉とする。

点検ボックスは下記エレベーター昇降路専用部品として下さい。

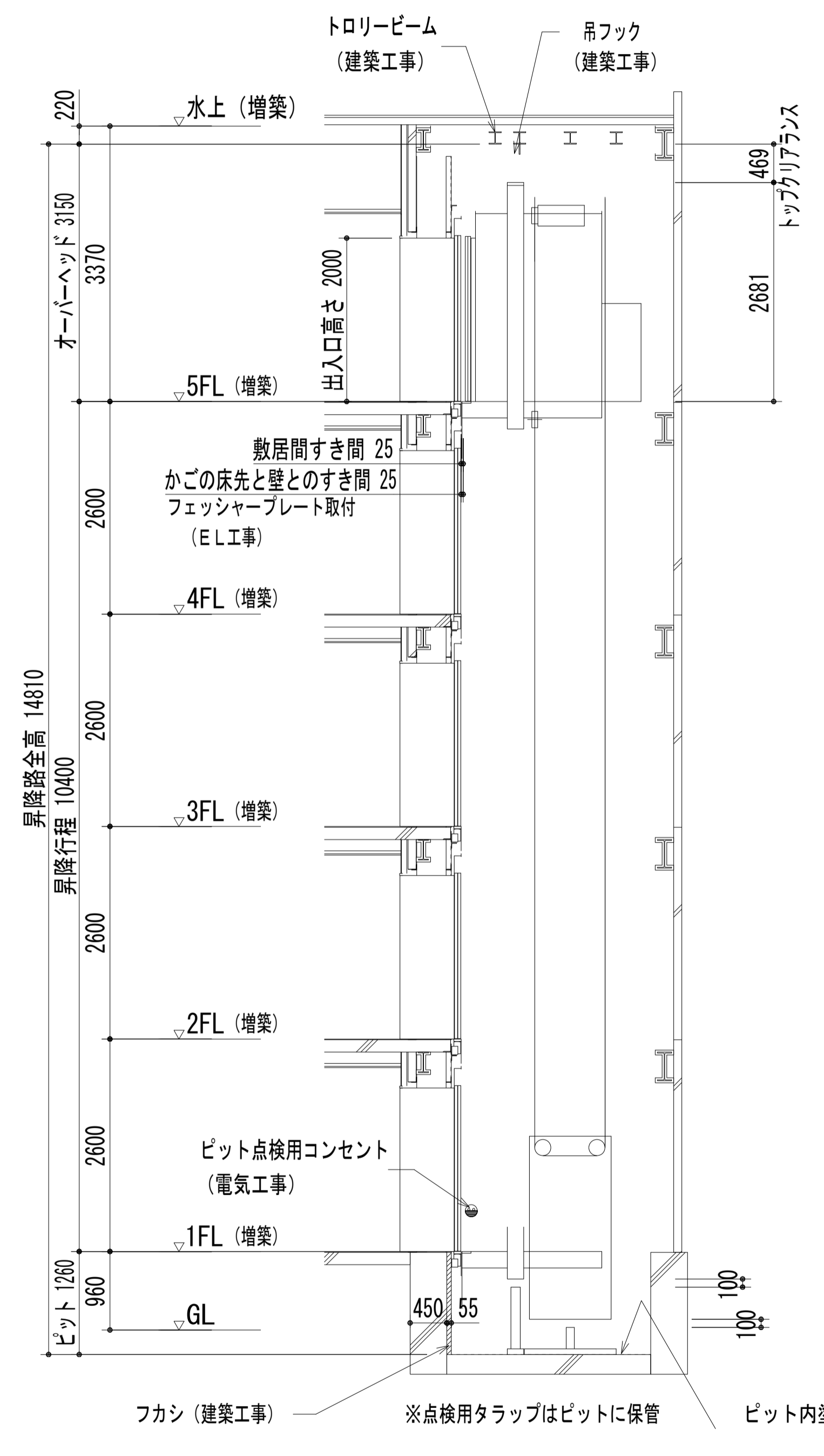
- ・ホーチキ (KUS-1C(W))
- ・能美防災 (FXS J001A-HU)
- ・ニッタン (NID-T-G)
- ・パナソニック (BV95351+BV95381H)



昇降路平面図（2～4F）  
 1 : 30



昇降路平面図（5F）  
 1 : 30



昇降路縦断面図  
 1 : 50

No. 1	
ピット反力	64.00 kN
ピット衝撃荷重	かご側 53.60 kN
	C/W側 43.40 kN

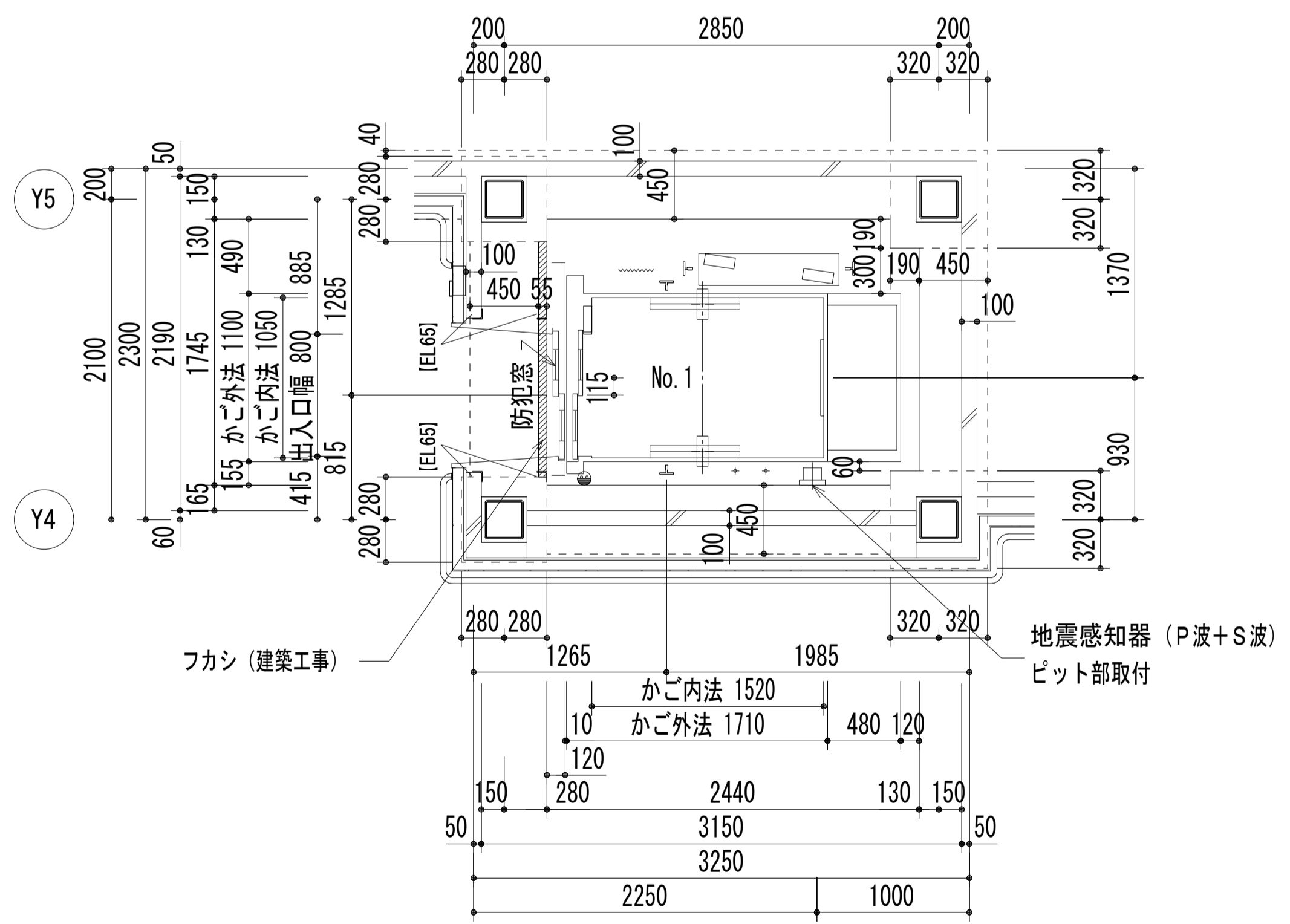
●	ピット点検用コンセント	（電気工事）
○	T、C保護金網	（エレベーター工事）

レール反力リスト（地震時作用荷重）		
		No. 1
かご側	Px	3.70 kN
一般階	Py	1.90 kN
かご側	Px	3.60 kN
最上階	Py	2.30 kN
おもり側	Px	5.70 kN
一般階	Py	2.90 kN
おもり側	Px	8.30 kN
最上階	Py	5.40 kN

上記 荷重による柱及び梁のたわみは5mm以下となるよう選定下さい。

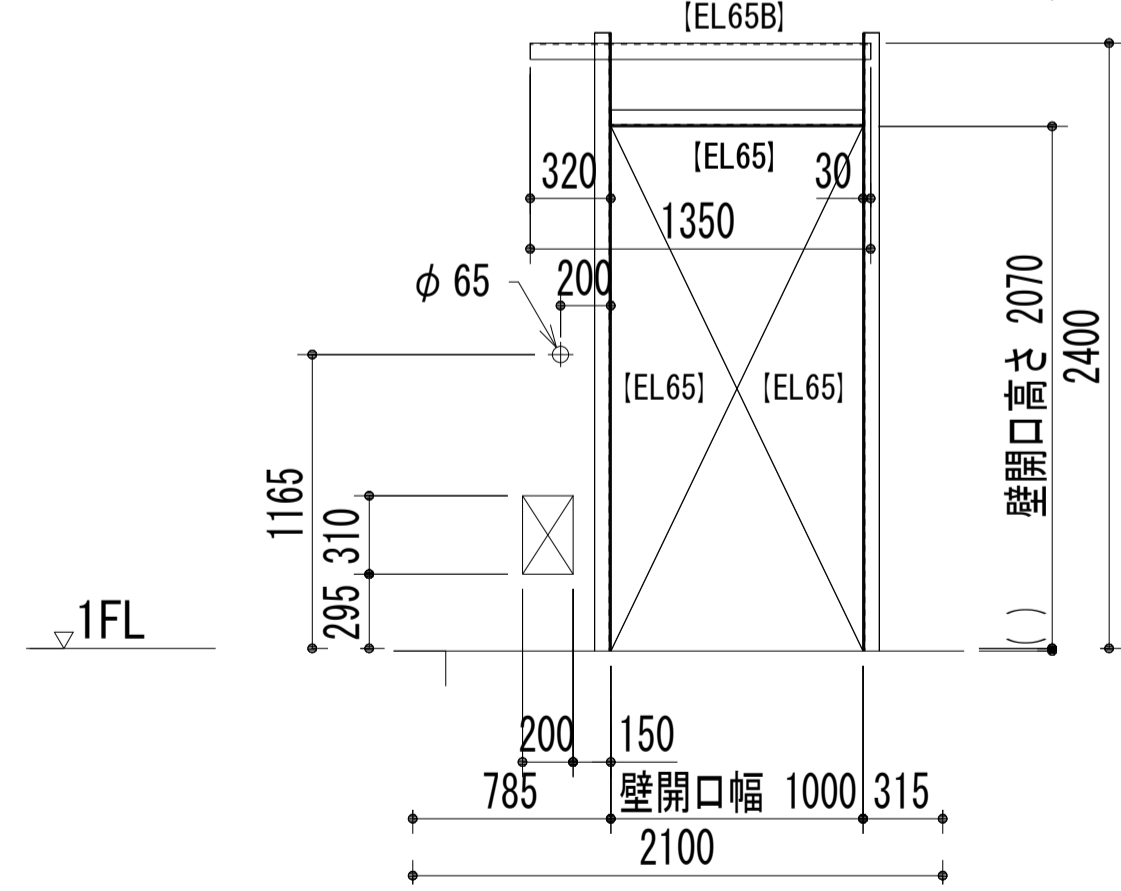
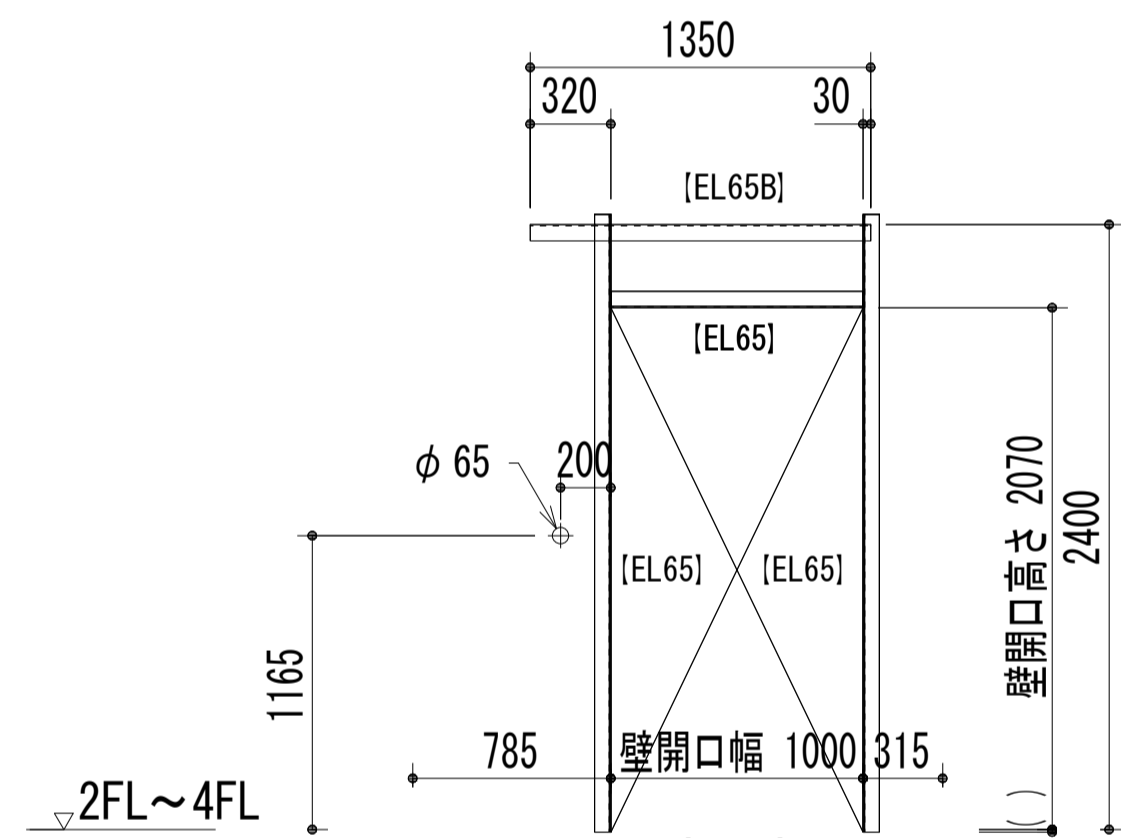
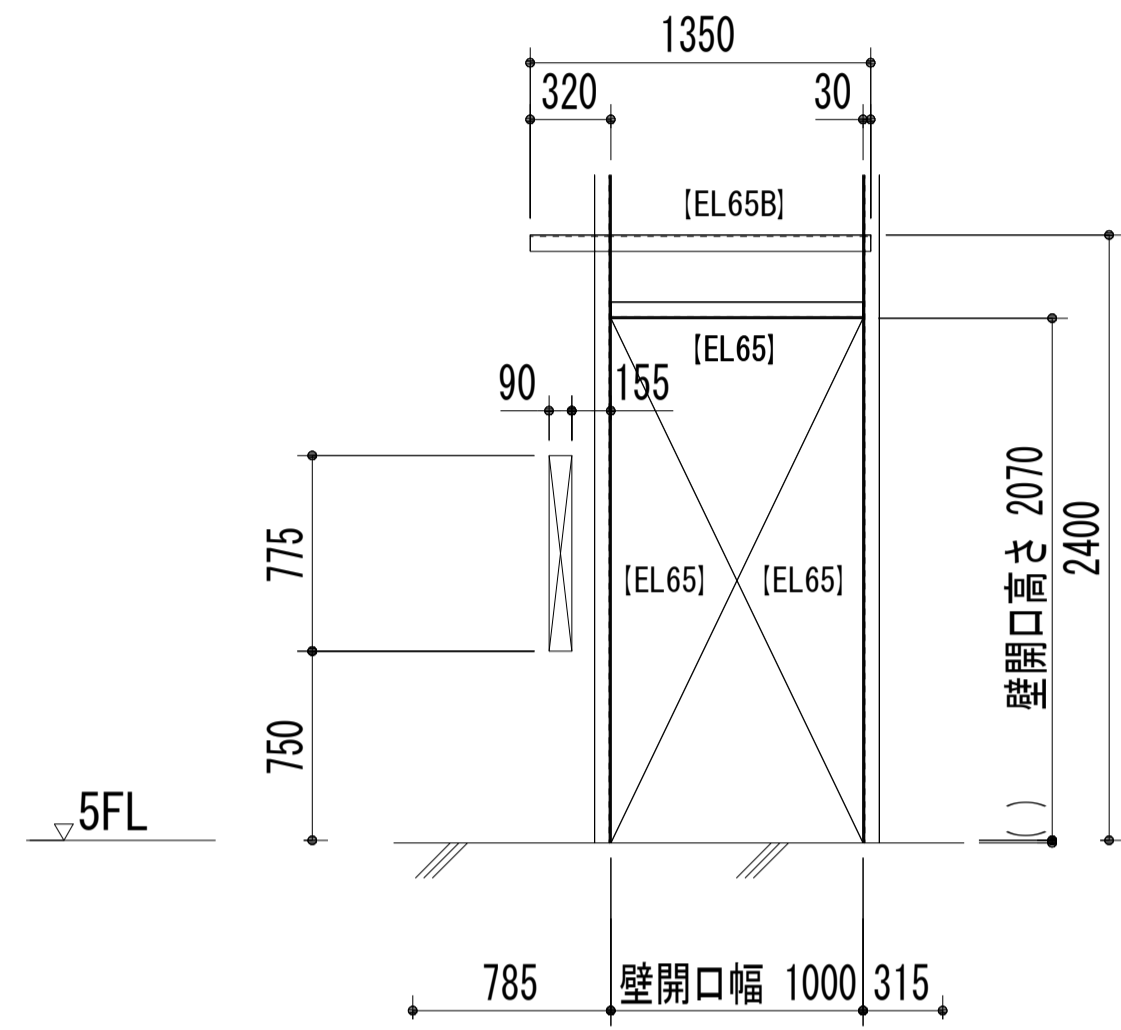
⊕	吊元フック	（建築工事）
	・荷重： 9.8 kN	
⊕	電源引込み（受電盤への接続）	（電気工事）
	・動力・照明、接地線	
	最上停止階 F L - 1350 mm 引出長さ 3 m	
⊕	配線引込み	（電気工事）
	・インターホン配線、電話線	
	最上停止階 F L - 650 mm 引出長さ 3 m	

鉄骨部材記号表（建築工事）		
部材記号	部材用途	部材サイズ
EPL12	ファスナープレート	PL-12
EP15	レール支持柱	H-150x150x7x10
EP12	レール支持柱	H-125x125x6.5x9
EL65B	バックアングル取付材	L-65x65x6
EL65	三方栓取付材	L-65x65x6
EL10S	敷居取付材	L-100x100x10
EHST9	吊元（荷重9.8kN用）	t12（φ75穴付）
EB15T	トロリービーム	H-150x150x7x10



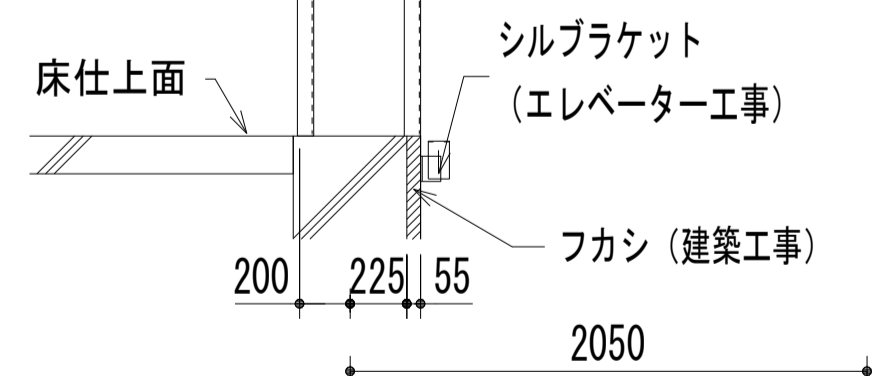
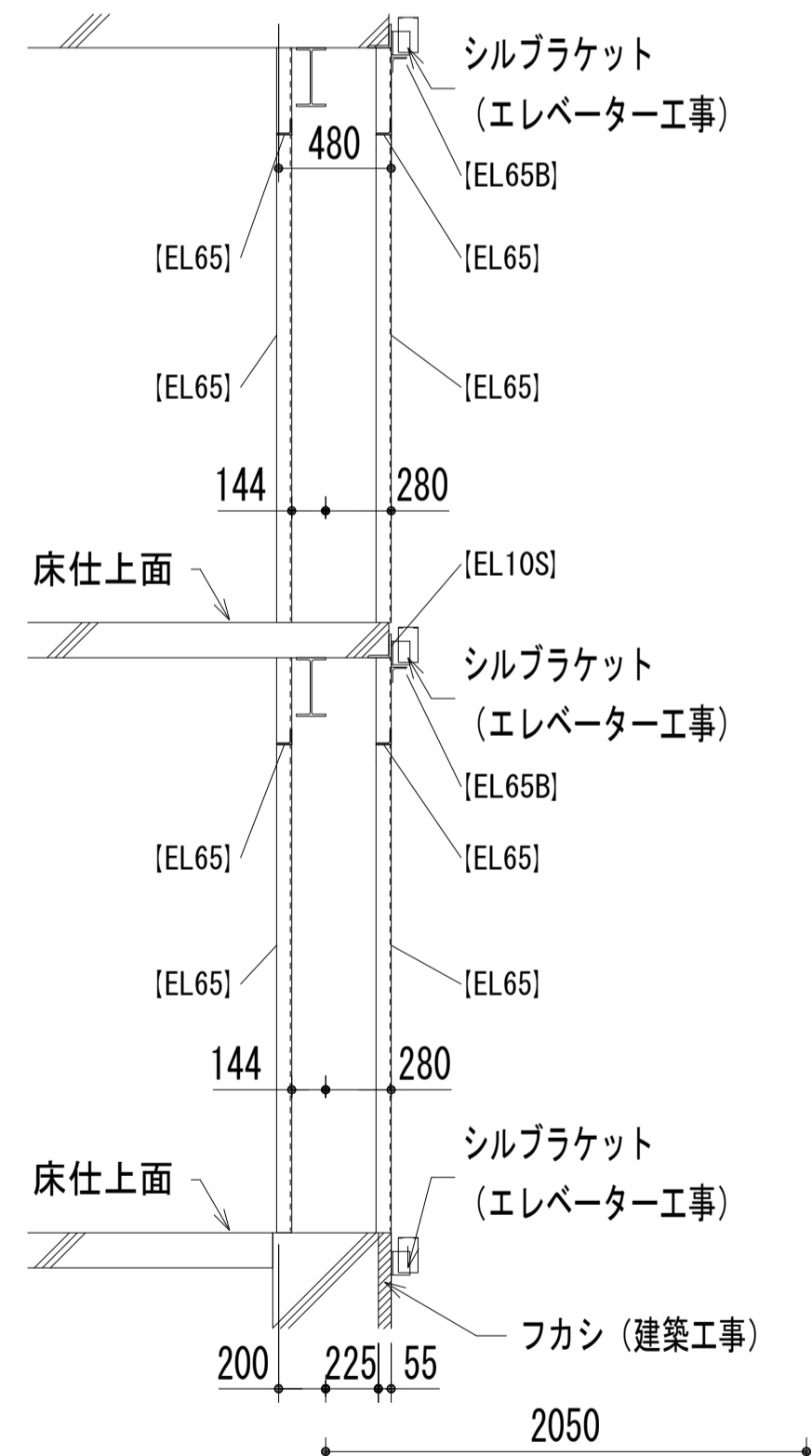
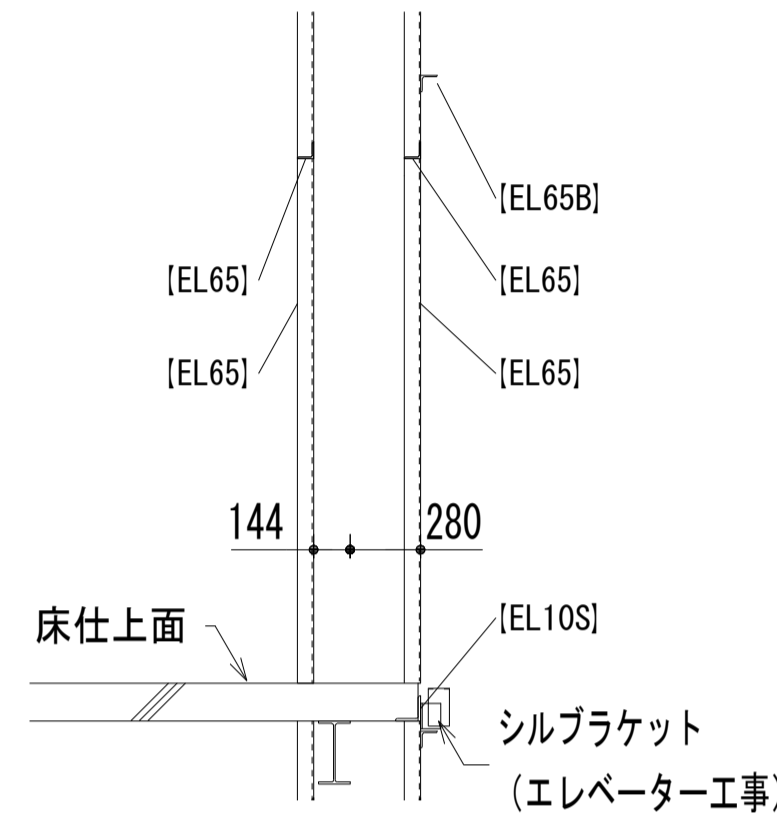
昇降路平面図（1F）  
 1 : 30





出入口壁穴明図

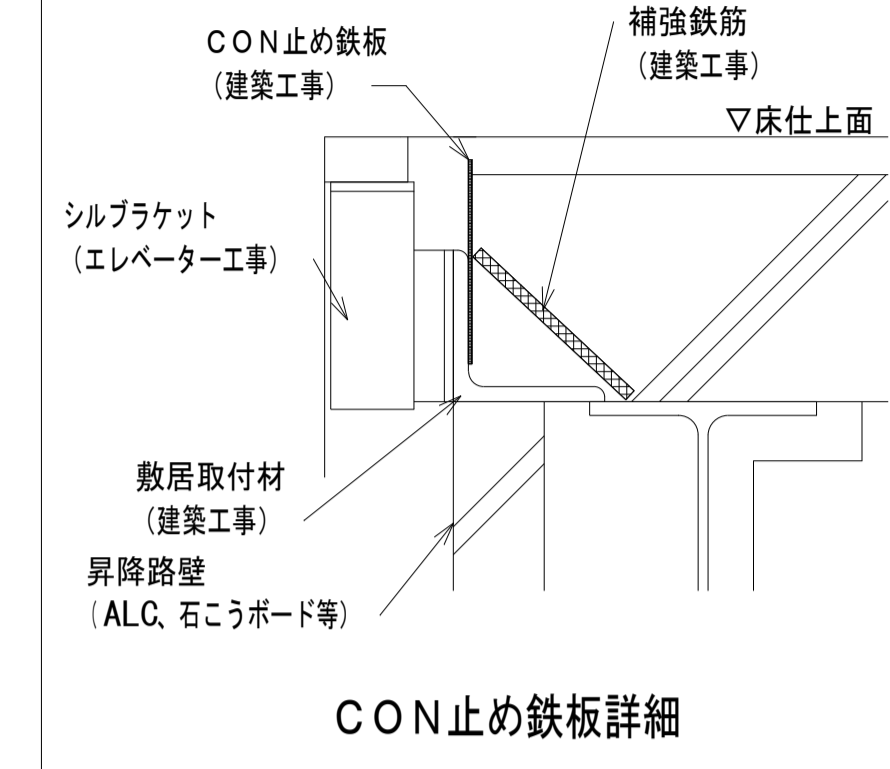
1 : 30 (建築工事)



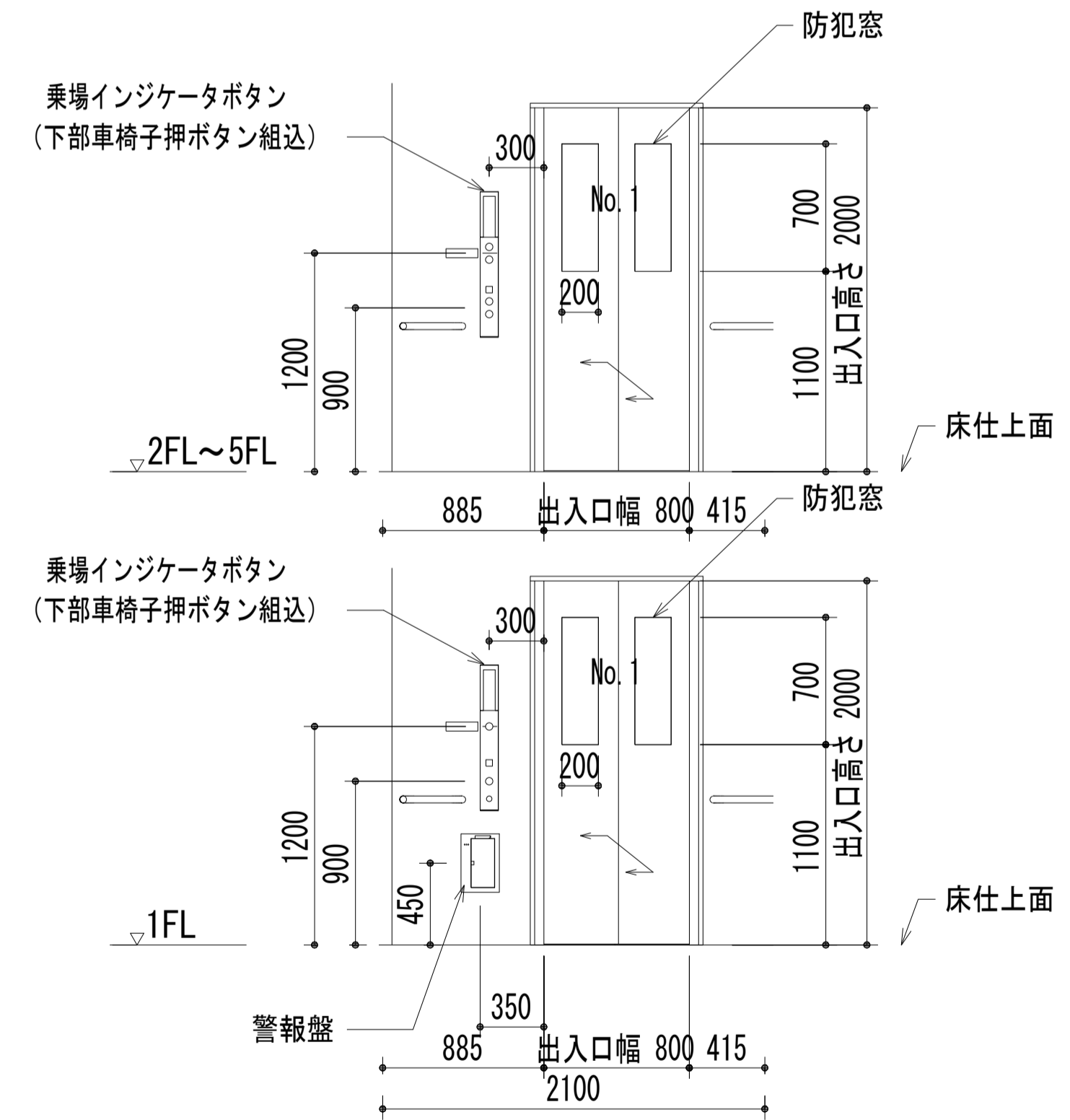
断面図

1 : 30

エレベーター出入口部の敷居取付材に取付けるCON止め鉄板については、下記のように取付材の内側へ施工ください。



鉄骨部材記号表 (建築工事) 意匠図用		
部材記号	部材用途	部材サイズ
EL65B	バックアングル取付材	L-65x65x6
EL65	三方枠取付材	L-65x65x6
EL10S	敷居取付材	L-100x100x10



出入口正面図

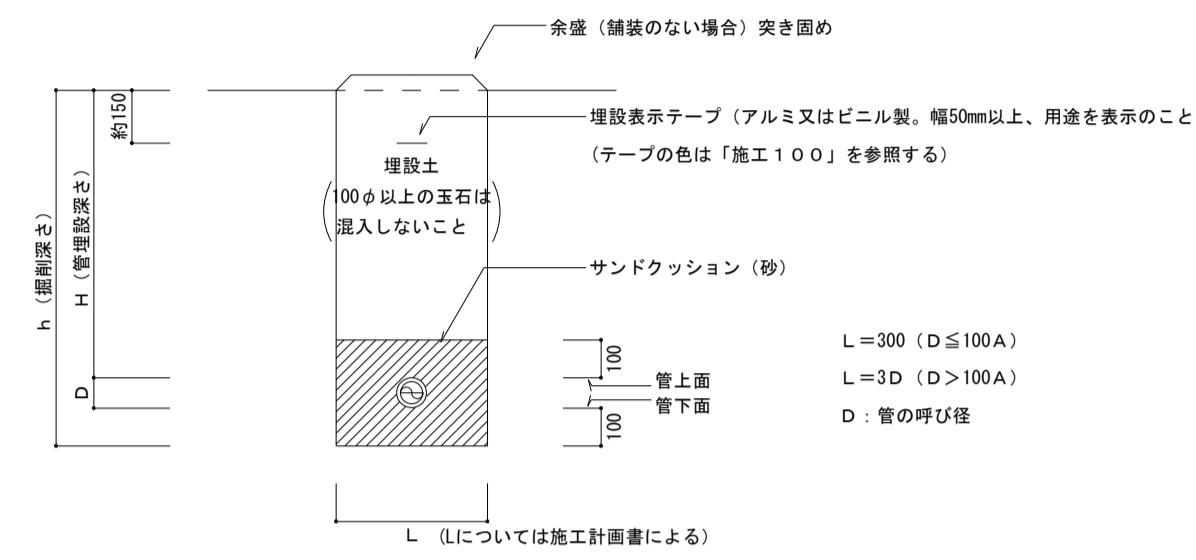
1 : 30



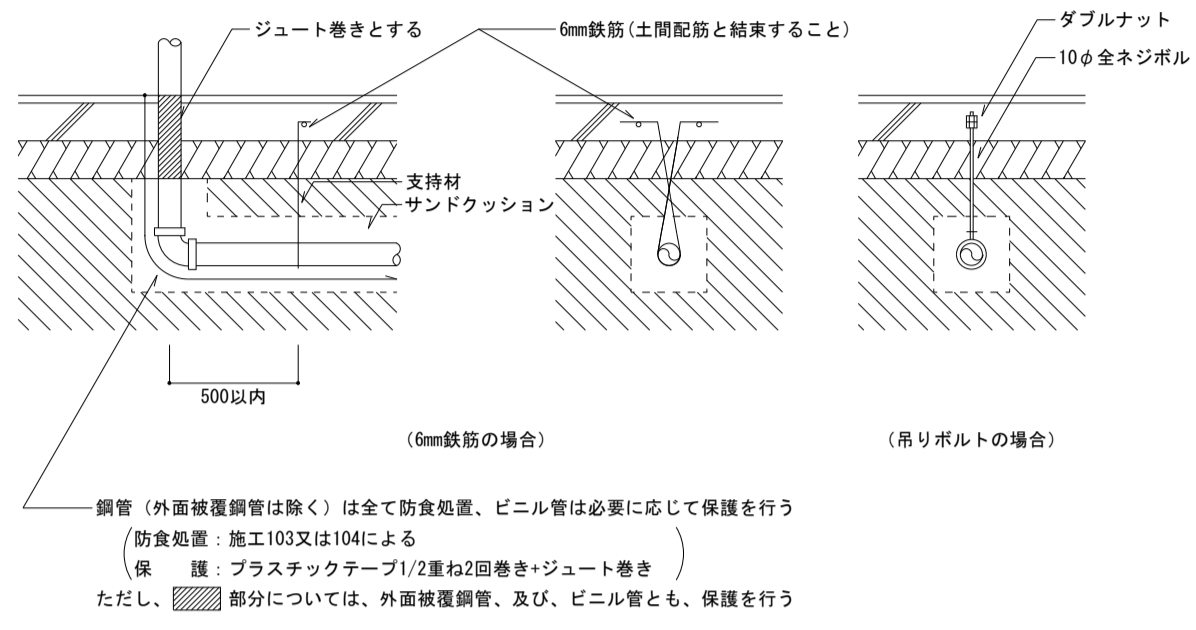
工 事 区 分 表

項 目	海	防	防	防	備 考	項 目	海	防	防	防	備 考	項 目	海	防	防	防	備 考	項 目	海	防	防	防	備 考									
躯体関係																																
1. RC造(梁・壁・床)の貫通孔・開口部(基礎部)	貫通スリーブ材及び取付け	○	○	○		仕上げ関係	軽鉄天井・壁下地						1. 雨水	屋外雨水排水設備	○				電気配線配管	1. 配管配線					機器附属の制御盤以降の配管配線(接地線共)				2次側			
	補強を要する型枠材及び取付け	○					補強を要しないボードの切り込み	○	○					樹及び樹ふた	○						機器附属の制御盤への電源供給配管配線								1次側			
	補強を要しない型枠材及び取付け	○	○	○			開口部の差出し	○	○					雨水タテ樋	○							自動制御と動力源との電源供給の送り配管配線										
	貫通孔・開口部の差出し	○	○	○			軽量鉄骨壁のボックス取付金具及びその取付	○						屋外雑排水及び屋外汚水排水設備		○						機器と附属操作スイッチの送り配管配線		○	○							
	貫通孔・開口部の補強	○					点検口設置の下の補強	○						樹及び樹ふた			○					小便器用排水装置の制御盤以降の配管配線										
	スリーブ・型枠の穴埋め	○	○	○	防火区画・防煙区画		埋込形壁類及び、箱形の型枠	○						化粧マンホールふたの表面仕上げ	○							注油口内アース端子まりのアース用配管配線										
2.SSRC造の貫通孔	S-SRC造貫通管スリーブ補強					3. 吊りボルト及びインサート	設置機器・器具・配管・配線・ダクト用	○	○			3. 植栽	植栽及び寄土	○						機器類(実機台などへの接続(直接接続するもの))	○											
	使用されたスリーブの穴埋め						4. 外壁まわり	外壁ガラリ及びダクト接続用フランジ	○					4.ユニット浄化槽の躯体	ビッド形の躯体及び砂充填						天井昇り形F-CU及び全熱交換形換気扇と操作スイッチとの送り配管及び位置ボックス											
	予備スリーブの穴埋め							ウェザーカバー、ベントキャップ		○						上記以外のユニット浄化槽本体・配管及び据付等							天井昇り形F-CU及び全熱交換形換気扇と操作スイッチとの送り配線									
	貫通孔・開口部のスミ出し							換気扇		○						ビッド形以外								電極棒								
3. 設備機器の基礎	建築設計図に記入あるもの	○				5. 流し台まわり		流し台・つり戸棚・水切り槽・バルブ・ガスコンロ	○				5. 屋外オイルタンク		タンク室の躯体及び砂充填							工事用電力・水道・下水・燃料	○	○	○							
	室内の基礎(建築設計図に記入のないもの)			○			レンジフード		○					上記以外のオイルタンク本体・配管及び据付等							受電後の電力料金を	○	○	○					(引渡しまでの間)			
	屋外・屋上の基礎 AC・受水槽・キュービクル	○					換気機器		○					タンク室以外								各種申請手続き等(建築基準法、労働基準法、消防法)	○	○	○					(電気・機械の単独工事分は各々設置撤去)		
							6. 浴室まわり	ユニットバス・シャワールームユニット	○		照明共												仮設の設置撤去(仮囲い、内外部足場)	○								
								既設浴槽(ふたを含む)																								
								洗濯機パン			○																					
					浴室及び便所の床排水金物				○																							
					7. 便所まわり	洗面カウンター						6. その他	換気扇類スイッチ		○																	
						洗面化粧台				○				換気扇類スイッチ設置・配線		○																
						衛生器具			○																							
						便用手すり			○																							
						衛生器具、手すり補強下地			○																							
						8. 事務室ほか	ファンコイルカバー						7. 空調設備	空調機 室外機電源																		
					E L V 据付後の出入口壁及び床仕上げ							空調機 室内機電源			○																	
					昇降路がRC造の時、軌条・中間ビーム・ブラケット他昇降路内の鉄製部材一式							室内機～室内機制御配線																				
					昇降路頂部への吊フック、吊ビーム設置							室内機～リモコン制御配線																				
					ホール押入れ・インジケータ・網棚などの壁開口							空調室外機基礎																				
					機械室換気設備							機器用架台類																				
4. 昇降機関連	昇降機の築造	○				9. フロアアクセスフロア	複合アウトレット用開口																									
	機械室の床開口						予備開口及びプレート																									
	機械室の床配管ビッド・蓋・防油堤						2重ビッド及びトレンチのマンホールふた																									
	機械室の上げ床コンクリート打設・仕上						機器搬入用フック・ビーム																									
	昇降路内ビッド防水・点検用タラップ	○		○			チェーンブロック																									
	各階出入口穴あけ・同補強	○					化粧マンホールふたの表面仕上げ																									
	出入口扉・三方枠及び取付			○			点検口(天井・床下)			○																						
	E L V 据付後の出入口壁及び床仕上げ	○					排煙口等の天井仕上材の取付け																									
	昇降路がRC造の時、軌条・中間ビーム・ブラケット他昇降路内の鉄製部材一式						自動閉鎖装置を取りつける防火戸の切り込み補強及びドアチェックフロアベンジ																									
	昇降路頂部への吊フック、吊ビーム設置	○					消火器BOX設置工事																									
	ホール押入れ・インジケータ・網棚などの壁開口	○					消火器				○																					
	機械室換気設備						洗面器取付の下の補強																									
昇降路がS造の時の中間ビームブラケット受けベース	○				誘導標識				○																							
インターホンならびにその他機器、信号用配管配線工事	○				A L C 板・石の設備機器取付穴明け				○																							
モーター機補室からインターホンまでの配管工事					一般用手すり				○																							
昇降路頂部の煙感知器の設置工事			○		防火戸				○																							
昇降路頂部の煙感知器点検口、E L V 連動SW取付				○	防火シャッター																											
昇降路出入口側内壁、かご前壁125mm以上の場合のフェッシャープレート設置				○	ガスもれ					○																						
5. その他	トラフ・ビッド類(ふたを含む)	○				10. その他	2重ビッド及びトレンチのマンホールふた																									
	湧水・汚水ビッド・RC造各種水槽	○					機器搬入用フック・ビーム																									
	同上用防水・マンホール・タラップ式	○					チェーンブロック																									
	避雷設備・同接地工事						化粧マンホールふたの表面仕上げ																									
	A L C 板の壁開口部・補強	○					点検口(天井・床下)				○																					
	厨房排水溝						排煙口等の天井仕上材の取付け																									
	厨房グリス収集器						自動閉鎖装置を取りつける防火戸の切り込み補強及びドアチェックフロアベンジ																									
	オイルサービスタンクの防油堤						消火器BOX設置工事																									
	フロアアクセスフロア内の防水堤						消火器																									
							洗面器取付の下の補強																									
					誘導標識																											

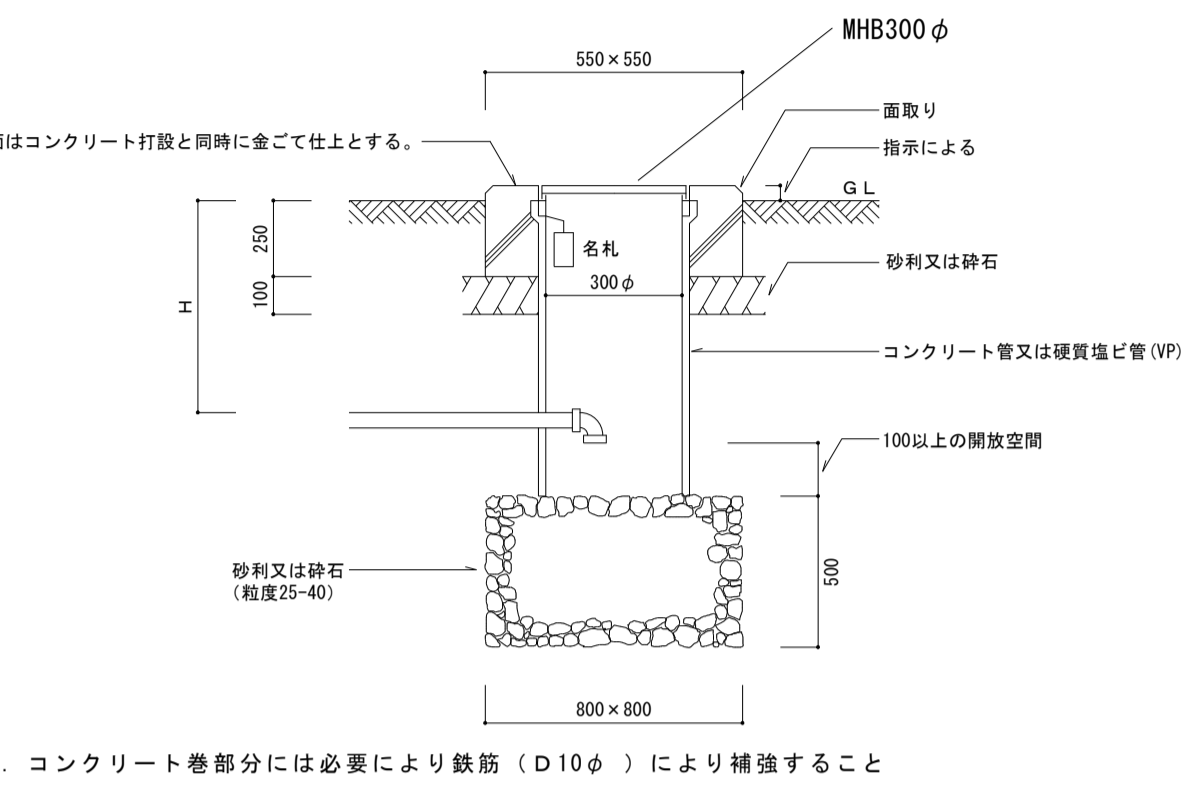
土中埋設管の布設



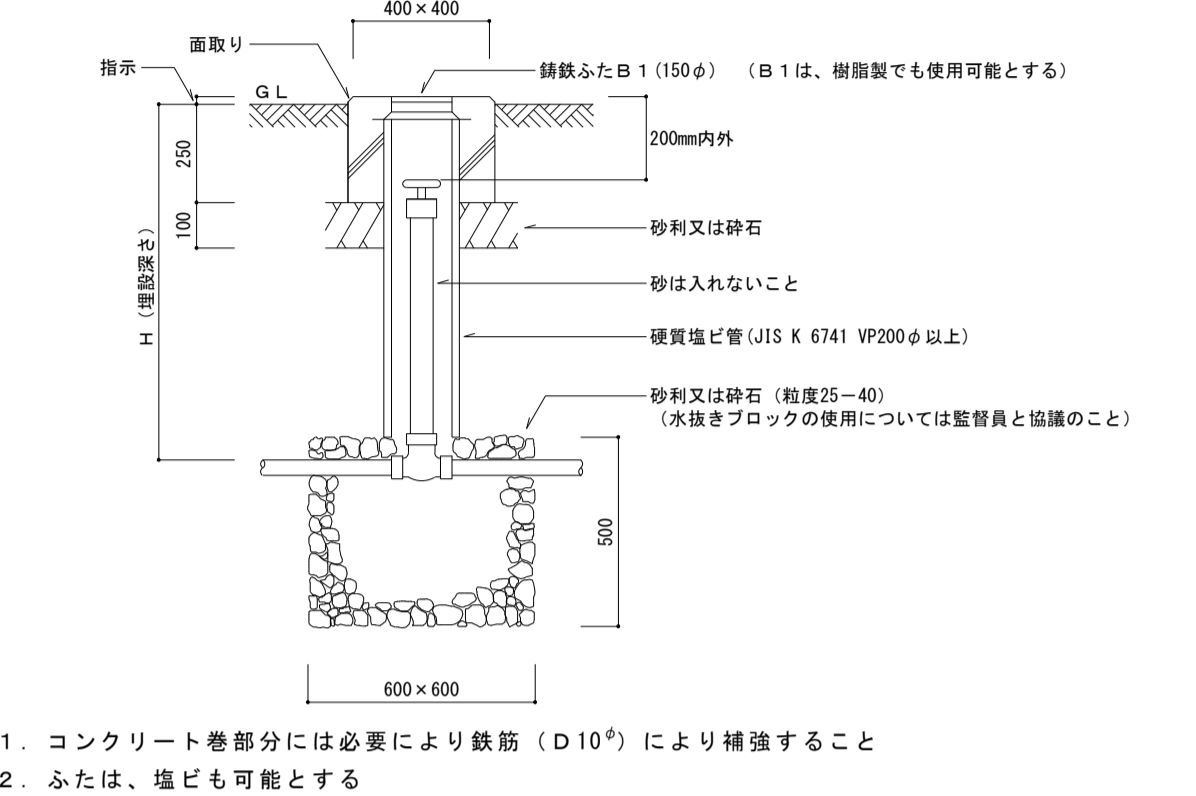
土間配管の防食及び損傷防止



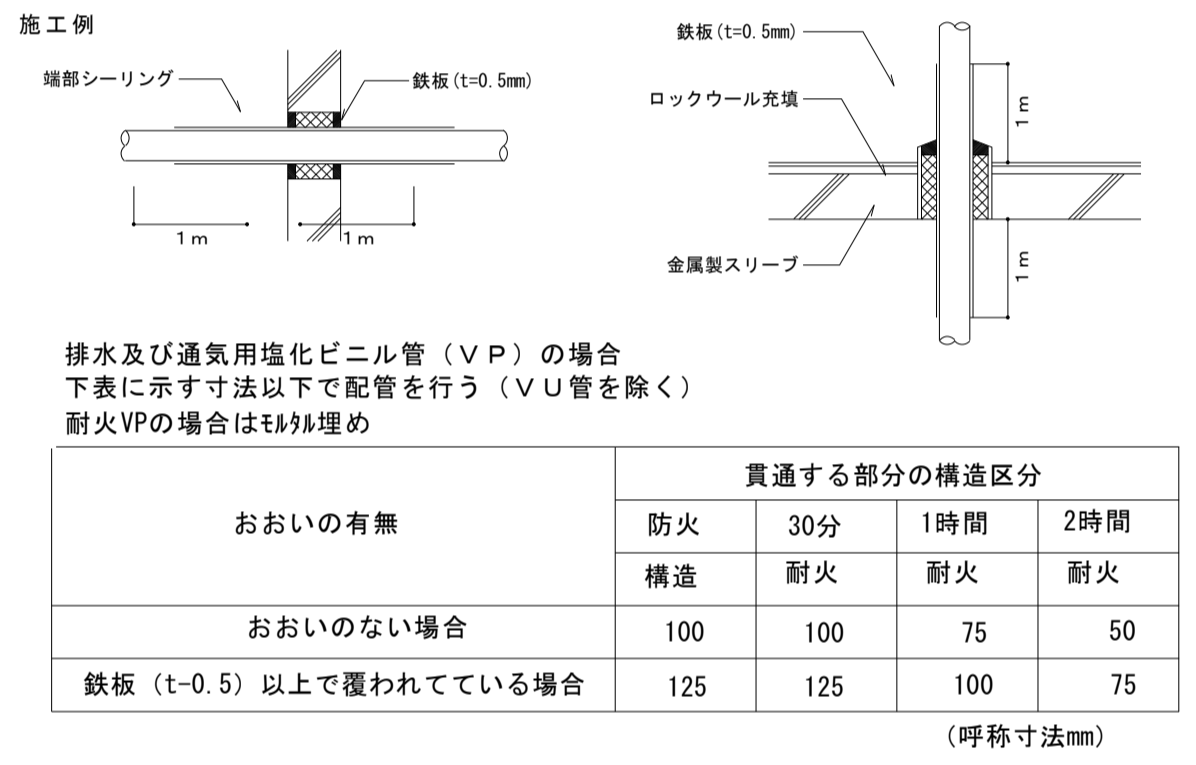
水抜用浸透柵



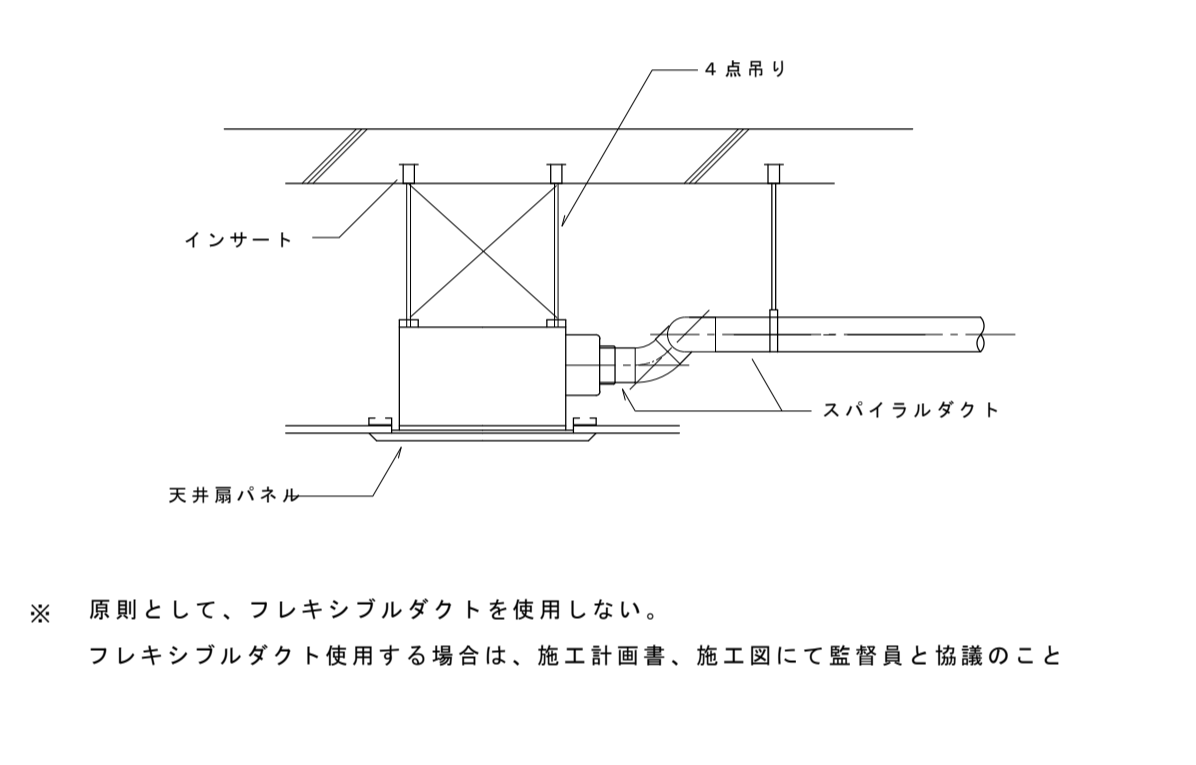
不凍栓ボックス



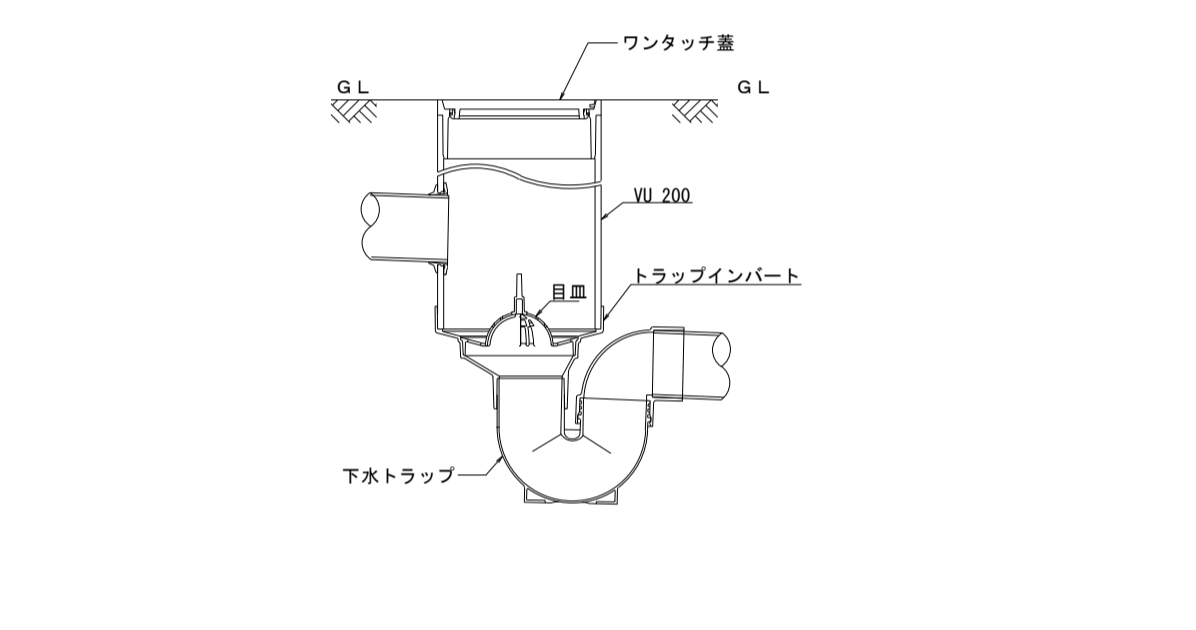
防火区画貫通部の処理



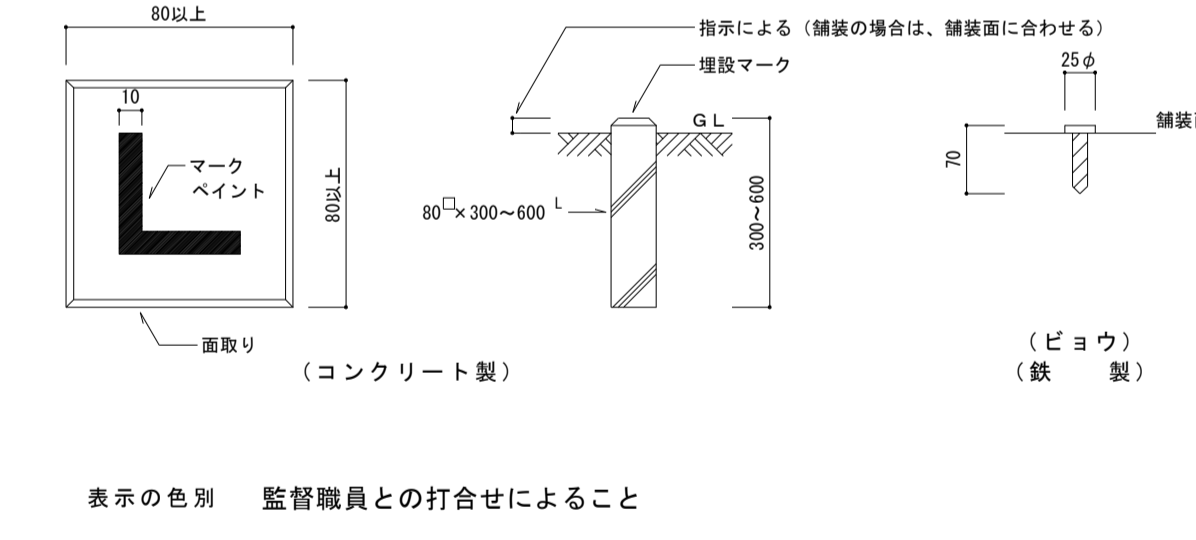
天井換気扇の取付要領



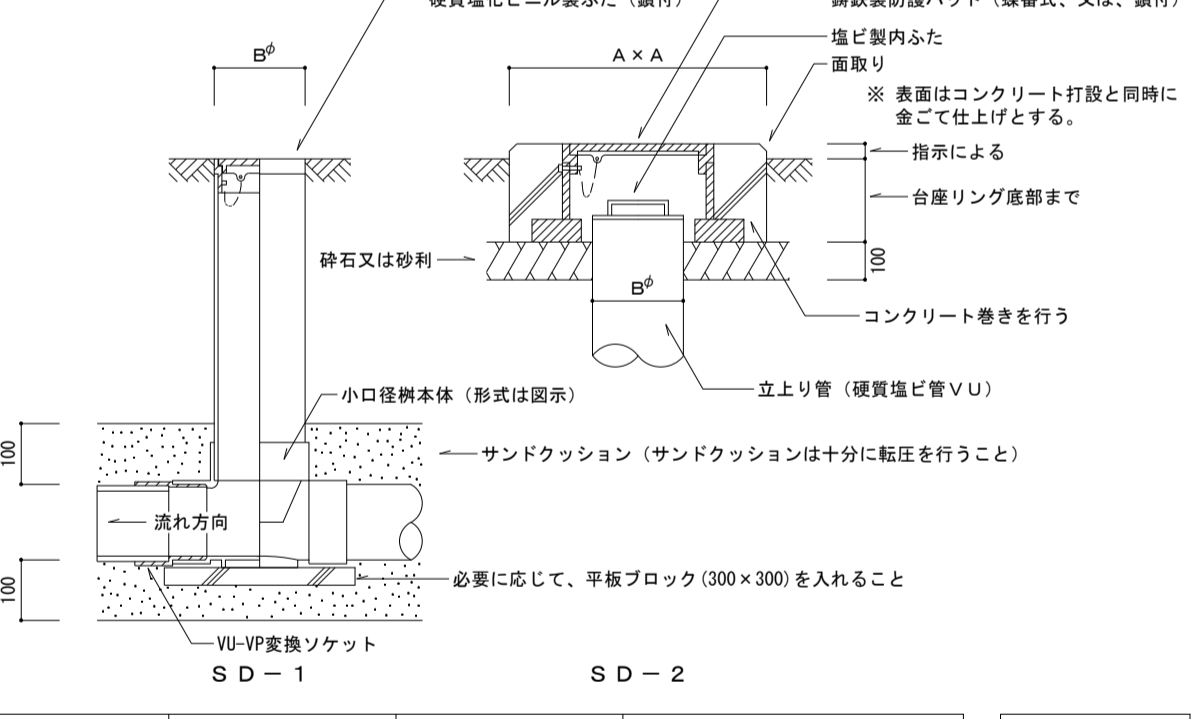
屋外トラップ柵(2)



地中埋設標



小口径塩ビ柵



記号	管底	高さ		ふた	防護ハット種類
		H ≤ 1200	1200 < H ≤ 2500		
SD-1	A	-	-	硬質塩化ビニル製ふた	T-8
	B	150	200	塩ビ製内ふた	T-14
SD-2	A	350	400	塩ビ製内ふた+防護ハット (耐荷重は図示)	T-25
	B	150	200		